

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 00
TOYOYANE TOSHIWA
27 Shinanomachi, Yotsuya P.O., Tokyo, Japan



No. 1

33 CLUBS - 1350 MEMBERS

JULY 17 1950

2-911-0の友 殿 密 贈

昭和二十五年七月十七日

ロータリー・インタナショナル第六〇地区

ガヴァナー 手 島 知 彦

第六〇地区ロータリー・クラブ

會 長、 幹 事 殿

拜 啓

この度一九五〇―五一年度のガヴァナーに正式に就任いたしましたに就て御挨拶を申し上げます。何とぞ皆様のご協力と御後援によりまして更にこの一年間を無事に勤め上げることの出来ませうと希望いたします。

去る六月六日パンアメリカン機で羽田空港を出發、一一日より一七日迄シカゴで行われたインタナショナル・アツセンブリーに、又同一八日より二二日までデトロイトで催されたコンベンションに出席して、七月一〇日同じ途を羽田に歸着いたしました。今度の第四一回年次大會には大澤善夫夫妻（京都）、本田親男（大阪）、村上正二郎（神戸）、岩下一（廣島）、小林雅一、磯部計蔵、手島知彦（東京）の八人の外に、本田氏隨行の毎日新聞の高田通信員もプレス代表として合計九名の日本人が出席したことは、極めて注目し値する事柄でありました。滞米中の御報告は来る七月二一、二二兩日東京で



開演するアッセンブリーで精しく申し上げます。

一、五つの目標

お馴染のパーシー・ホジソン会長の後を享けて就任されたRI会長アーサー・ラグー氏は今年度のロータリー活動の「五つの目標」を定めて、七月三日付のフォルダーで各會長に呼びかけていることは已に御承知のことと思えます。(一)第二會員及びシニア會員の制度を充分に利用して若い會員を殖やすこと。(二)「四ツのテスト」を用いて不正と闘うこと。(三)所在都市の最も欠けている社会奉仕に全力を盡ぐこと。(四)クラブ・プログラムとインターナイティ討論會を利用して國際問題の理解と知識を涵養すること。(五)一日一箇所即ち年間三六五の姉クラブ結成に努力することでありませぬ。新會長の目標實現に對し各クラブの御協力を希望して止みませぬ。

二、我等の責任

日本のロータリー復興第一年は皆様の御盡力によつて復活新設を加えて二六クラブが出来合計三三クラブとなり、獨乙の第一年が二五クラブの復活であつたのと併せて世界の驚異の的となつたのであります。勿論クラブの數や會員の頭數が最後の目標ではないのであります。實がよければかりでは力が足りません、實の伴つた量を必要とする譯であります。ラグー新會長の目標に對し協力の實を示し、同時に我邦に於けるロータリーの健全なる發達を期すべきことは我等の責任であると考へます。

三、クラブ委員

ロータリー・クラブの活動は結局その委員の活動如何によるもので、委員が強力であり活潑であり實際に仕事をする委員でなければなりません。會員全部が夫々適當な委員の割當をうけられることが望ましい次第であります。各會長は本部からクラブに送付された「COMMITTEE SUGGESTIONS FOR 1950 - 51」(PAMPHLET NO. 20)をそれぞれ委員

に配布して下さい。

四、會計

會長はクラブ會計帳簿の査査を受けられ又支拂傳票及び會員に對する定期會計報告も同様査査を受けて其正確を期せられることが望ましい譯であります。

五、地区協議會 (DISTRICT ASSEMBLY)

據て御案内した通り七月二一日(金)二二日(土)兩日東京都千代田区丸ノ内日本工業俱樂部に於て ディストリクト・クラブ・会議 を開催いたします。この會合はロータリー會合の内でも最も重要なものの一つでありますから、各クラブ會長及び幹事は是非出席して頂くことが必要であります。出來れば副會長及び各委員長が出席出來れば更に有効であると考えます。

六、クラブ・プログラム

各クラブのプログラムは第一に綜合企畫委員 (AIMS AND OBJECTS COMMITTEE) がその年度全体の計畫を立て、第二にプログラム委員がその日割及び實行方法を定め、第三に會長が之れによつて司會をして行くことが必要なのであります。本部より送付される「PROGRAM IDEAS」を利用して「間に合せ」のプログラムで「お茶をにひす」ようなことのない様に計畫されることを希望します。

七、半期報告及會員分擔金納入報告 (SEMI-ANNUAL REPORT OF MEMBERSHIP AND PER CAPITA TAX)

本部から受取られた書式により報告書を確認本部に發送すると同時にその寫をガザアットに一通送つて頂きたい。尙一通は所載の金額に對する送金小切手を添えて FISCAL AGENT 御ま

東京都中央区銀座西三丁目五番地

内外編物株式会社 小林 雅一

氏宛に送つて頂きたい。既に報告を頂戴した向もありますが、報告丈けで送金が未だという向もあるそうです。至急御手配を願います。

八、出席報告 (ATTENDANCE REPORT)

所定の書式により毎月分を翌月十日迄に必ずガヴァナーの手許に到着するよう送つて下さい。シカゴへ直接の報告は不要であります。若し所定のカードがない場合には普通のハガキでもよろしい。毎月最後の例会直後に發送されれば間違ないと思えます。メモキアツプ等のために数字に変更を來した場合には翌月十日以前に到着するよう郵便又は電報で訂正して下さい。百分率は小数點下一位で四捨五入して下さい。例会以外の會合(例えばチャーター・ナイト、家族會等)はメモキアツプにはなりません、出席報告には例会丈けが記入される譯であります。

九、ガヴァナーの公式訪問 (GOVERNORS OFFICIAL VISIT)

年度内に一回は必ずガヴァナーが各クラブを公式訪問いたします。その時日は追ってお打合せいたします。この公式訪問は例会に出席してガヴァナーが一場の挨拶をするだけですが目的ではないので、之に先立ちクラブ協議會 (CLUB ASSEMBLY) を開いて頂き皆様と共に少くとも二、三時間緩くりと懇談をすることが主たる目的でありますから、左様な機會を作つて頂くよう豫め願ひして置きます。

各委員長からは書面で事業報告乃至計畫報告の提出を願ひ、それを一通ガヴァナーが頂戴すると同時に會長より CLUB REVIEW FOR GOVERNOR'S VISIT という書類を少くとも訪問の二週間前に御提出を願います。又會長、幹事及び各委員長はガヴァナー公式訪問の當日は是非アツセンブリーに出席されることが要請されております。

なるべく例会日を目繰りして伺うように努力しますが、止むを得ぬ都合上例会日又は會合時間を變更して頂く場合もありますから豫め御承知おき下さい。

一〇、クラブ刊行物

クラブ會報 (CLUB PUBLICATIONS) を始めとして各クラブの刊行物は凡てガヴァナーに一部ずつ送つて頂くこと。シカゴ本部にも一部送ること。日本語の儘で差支ありませんが若し英譯が添付出来ればそれに超したことはありません。

一一、一般情報 (PUBLIC INFORMATION)

各クラブ所在地の新聞その他の刊行物になるべく度々ロータリーに關する記事が掲載されることは、それだけロータリーの存在を一般に認識させる意味に於て徳惠されたいのであります。その切抜は必ずガヴァナーにお送り下さい。

一二、ロータリー財團 (ROTARY FOUNDATION)

ロータリー財團は全世界の各會員からの米貨一〇弗相當の贈金で成立つていゝるもので、全員の總出を完成したクラブを一〇〇%クラブと稱しております。我六〇地区でも岡山、東京、廣島、大阪、神戸、名古屋、横濱、函館、西宮、京都の一〇クラブは己に一〇〇%クラブとなつて居ります。之れに福岡、小樽クラブの總出を加えて合計二、二六四、四〇〇圓即ち米貨六、二九〇弗が今日迄の當地区の寄附であります。

この財團の最大事業とされている大學卒業生に一年前外國で研究を續けさせると同時にロータリー使節となつてその兩國間の理解を増し友情を深めるための奨學金は、己に過去四年間に一九六人の二〇才より二八才までの男女學生に給與せられています。今年より三年間毎年二五万弗支出されることになつて居り、今年度の八五名の給費生の内には東京ロータリー・クラブの推薦による清水長一君もその一人に選ばれる光榮を擔い、來る八月上旬渡米の予定であります。

次年度の候補者推薦に付ては、各クラブにてはシカゴ本部より七月一日付で

“SELECTING A CANDIDATE FOR A ROTARY FOUNDATION
FELLOWSHIP FOR ADVANCED STUDY”
“INFORMATION FOR CANDIDATE”

という二通の書類を受取つて居られる筈であります。早速これを研究して頂きたい。何れ詳しいことは更めて申し上げますが推薦は来る十一月十五日が期限になつていきます。

尙一九四九、五〇年度一年間の寄附金は合計一六四、五〇〇弗。この制度の始まつて以来の寄附金総額は三、四九七、五〇〇弗に上つています。

一三、第六〇地区のロータリー・クラブ

前狀申上げた長崎クラブは、私がシカゴに到着した六月九日に承認されましたので、一九四九、五〇年度に於ける第六〇地区のロータリー・クラブは三三、會員数は一、三五〇ということで新年度に移ることになりました。

○長崎ロータリー・クラブ（チャイター番號四〇五六）六月九日付承認

スポンサー 福岡ロータリー・クラブ

チャイター・メンバー 二十八人

會長 松田 一三 幹事 山口 勝

事務所 長崎市築町株式会社十八銀行内（電四四五〇）

例 會 長崎市外浦町五 ^{ホカウラマチ} 観光ホテル（電四七九〇、九一）

木曜日 一二・三〇

追て福岡ロータリー・クラブ事務所は福岡市天神町一七岩田屋デパート

庶務課（電 西 〇一三〇、四〇七〇）に、横濱ロータリー・クラブ事務

所は横濱市神奈川区三澤東町四五伊藤多度作方にそれぞれ移轉しました。

又神戸ロータリー・クラブ例會場は七月六日以降神戸市生田区海岸通一ノ

一六神戸商工會議所（三階會議室）に移りました

一四、五、六月中の出席記録

クラブ名	例會數	會員數	五月出席率	席例會數	前月出席率
濱松	四	二五	九八・四%	三	九〇・五%
小椋	五	三一	九五・五%	一	九二・八%
岡山	四	二五	九〇・二%	〇	八七・五%
姫路	五	三〇	九〇・一%	〇	七八・六%
札幌	四	四九	八九・九%	〇	八七・六%
徳島	四	三九	八九・七%	〇	八七・一%
新潟	五	二八	八七・九%	一	八四・八%
横濱	五	四三	八七・九%	〇	八九・八%
京都	四	七〇	八七・六%	〇	九一・〇%
函館	四	二六	八六・六%	〇	八二・七%
西宮	五	二五	八六・四%	〇	八九・〇%
高知	五	二四	八五・八%	〇	八三・三%
今治	四	三五	八五・七%	〇	九六・四%
仙台	五	四一	八四・七%	〇	八四・九%
一宮	四	二二	八四・一%	〇	九三・二%
廣島	五	四三	八三・九%	〇	七五・四%
神戸	四	六四	八三・九%	〇	八八・一%
小倉	四	二九	八三・八%	〇	七六・〇%
高松	四	三三	八三・八%	〇	八八・一%
第六〇地区五月平均率			八三・三%		
大阪	三	九〇	八二・四%	〇	八四・九%
甲府	三	二六	八二・〇%	〇	
金澤	五	三六	七九・四%	〇	七八・一%
東京	四	一八九	七九・一%	〇	八一・八%
名古屋	五	五七	七八・九%	〇	八〇・八%
旭川	三	三三	七八・七%	〇	八三・三%

岐阜	三	二五	七八・七%	〇	八一・〇%
静岡	五	二八	七七・八%	〇	
熊本	四	三九	七七・〇%	〇	七六・四%
津	三	二八	七五・〇%	〇	六六・四%
門司	四	三一	七三・一%	〇	七一・四%
福岡	四	五一	七〇・〇%	〇	七三・〇%
四日市	四	二一	六七・九%	〇	八九・九%
合計		一、三六	八三・三%	五	

六月分

クラブ名 例會數 會員數 六月出席率 席例會數 前月出席率

小樽	四	三一	九六・〇%	〇	九五・五%
岡山	四	二四	九三・七%	〇	九〇・二%
京都	四	六八	九二・五%	〇	八七・六%
濱松	四	二八	九一・九%	一	九八・四%
西宮	四	二六	九一・四%	〇	八六・四%
横濱	四	四三	九一・三%	〇	八七・九%
仙台	四	四〇	八八・八%	〇	八四・七%
新潟	四	二八	八八・四%	〇	八七・九%
姫路	四	三〇	八八・二%	〇	九〇・一%
今治	五	三五	八八・〇%	〇	八五・七%
徳島	四	二九	八七・九%	〇	八九・七%
函館	五	二五	八七・六%	〇	八六・六%
一宮	四	二二	八七・五%	〇	八四・一%
岐阜	五	二五	八七・二%	〇	七八・七%
廣島	四	四一	八四・七%	〇	八三・九%

第六〇地区六月平均率 八四・二%

甲府	五	二六	八三・九%	〇	八二・〇%
神戶	五	六八	八三・五%	〇	八三・九%
高知	四	二四	八三・三%	〇	八五・八%
名古屋	四	五八	八三・二%	〇	七八・九%
札幌	四	四八	八三・一%	〇	八九・九%
旭川	五	三三	八二・四%	〇	七八・七%
大阪	五	九三	八二・四%	〇	八二・四%
高松	五	三一	八二・一%	〇	八三・八%
津	五	二八	八〇・〇%	〇	七五・〇%
小倉	四	二八	七九・八%	〇	八三・八%
熊本	五	三六	七九・三%	〇	七七・〇%
福岡	四	四七	七九・二%	〇	七〇・〇%
静岡	四	二八	七八・六%	〇	七七・八%
門司	五	三三	七八・三%	〇	七三・一%
東京	四	一九〇	七六・三%	〇	七九・一%
金澤	四	三五	七五・七%	〇	七九・四%
長崎	三	二八	七三・八%	〇	
四日市	五	二一	六八・〇%	〇	六七・九%
合計		一、三五〇	八四・二%	一	

一五、世界のロータリー・クラブ

六月三〇日現在に於ける世界のロータリー・クラブは七、一一三、會員
 總数は三四二、〇〇〇、その内一九四九―五〇年に本部が承認したのは二
 九四クラブでありました。

匆々

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 60
TOMOTAKE TESHIMA
27 Shinanomachi, Yotsuya P.O., Tokyo, Japan



No.

2

37 CLUBS-1450 MEMBERS

AUGUST 22, 1950

昭和二五年八月二二日 (第二信)

ロータリー・インタナショナル第六〇地区

ガヴァナー 手島 知 健

第六〇地区

ロータリークラブ会長、幹事 殿

拜啓

一、一九五〇年地区協議會 (1950 DISTRICT ASSEMBLY)

去る七月二一、二二兩日に亙り、東京で開催しましたディストリクト・アッセンブリーには、御多用中を差繰り第六〇地区内三三クラブより全部代表者を出して頂き、折柄の炎暑にも不拘、終始熱心に討議に参加して下さい。出席者は會長二四名、幹事三〇名、その他のロータリアンの外に盛岡、山形、東京北、東京南の假クラブよりオブザーヴァーとして列席された代表、豊橋假クラブよりの傍聴者等合計一〇〇人の参加者がありました。非常に盛況でありました。

報告および討議の重なる事項は

一、京都大會に於ける第六〇地区の決議文は "SECRETARYS LETTER FOR R.I. OFFICIALS" を通じて世界各國に公表の機会を與えられたること。

一、アーサー・ラグリー會長の「五つの目標」の實現に熱心に協力すること。

- 一、パーシニ。ホジソン前会長長の強調する大都市に於ける地域の割譲により第二クラブの結成を實現しロータリーの發展を期すること。
- 一、ロータリアンは忙しい人たもなるが故に特に入會に際し新會員のロータリー教育につき万全を期すること。
- 一、ロータリー財團の崇高なる目的達成に對し引續き協力すること。
- 一、出席規定、職業分類規定、會員資格規定等を嚴守すること。
- 一、ガヴァナ！公式訪問の意義とその準備に關すること。

等々でありました。

小林前東京ロータリークラブ會長より、デトロイトに於ける國際大會の模様および其際行われた規程審議會 (COUNCIL ON REGISTRATION) の審議の模様を詳しく報告して頂いたこと、更に時間外に同氏よりアメリカに於ける小クラブ運営に關する見聞を發表して頂いたこと、非常に有益でありました。同氏に深く感謝いたします。

尙このアツセンブリに終始協力された主催地クラブ吉田會長、柏原副會長、各役員、委員および事務員の方々、會場日本工業俱樂部の中村常務理事以下従業員各位の心からなる努力に對し深く感謝いたします。

二、第六〇地區デイストリクト。フアンド

デイストリクト。フアンド委員は東京の柏原孫左衛門、京都の大澤善夫、大阪の露口四郎の三氏に願してあり、毎年一人改選のことになつていますが、露口氏の改選期に當りますので、引續き同委員を御委囑いたします。たから御承知を願います。デイストリクト。アツセンブリに於て申上げる機會を失いましたことをお詫いたします。

三、ロータリアン誌の豫約購讀

七月一日の會員分擔金納付と同時にロータリアン誌豫約購讀の御申込を受けたのでありますが、一〇〇%購讀のクラブが二つ、門司(三三部)と一宮(二二部)の兩クラブであります。その熱心な御協力に對して厚く

御禮を申し上げます。その他、新潟（二一部）七五%、京都（四〇部）六〇%、東京（一〇七部）五六%、津（一二部）四三%、福岡（一五部）三二%等であり、全然無購読者のないクラブが三二の内六クラブあります。今少しく購読者ができますように各クラブの御協力を切望します。

四、朝鮮動亂について

朝鮮に勃發した動亂については御同様深い關心を持つていたのでありますが、神戸ロータリー・クラブでは七月二七日の理事會で

「六〇地區ロータリークラブ員として今回朝鮮動亂に際し同地に派遣せられたる國達軍將兵に對し感謝の意を表明し併せて慰問文及慰問品を贈呈したし」

という決議をいたしました。他クラブの意向も取組め實現したいという通信がありました。福岡ロータリー・クラブでは七月二八日山脇會長と中井醫師奉仕委員長が親しく同地の病院を訪ね、花束を贈つてそこに收容されてゐる傷兵を慰問したという報告がありました。又京都ロータリー・クラブでは八月一日クラブ・アッセンブリーの席上、傷兵慰問の問題が取上げられ、目下實行方法を議じているとのことでありました。こゝにも各クラブの國際奉仕委員に奉仕の機會がある譯であります。

五、ロータリー財團奨學生候補者銓衡について

來る十一月一五日限り各クラブより一人ずつ推薦される一九五一―五二年度奨學生候補者銓衡については、本部より各クラブに直送された

“SELECTING A CANDIDATE FOR A ROTARY FOUNDATION FELLOWSHIP FOR ADVANCED STUDY” 及び “INFORMATION FOR CANDIDATE” を研究してその差圖に従うこと、申込書類は十一月一五日までにガヴァナーの手許に到着する必要があるので、遅れたものは絶対に受けられないことを特に御注意下さい。

六、一九五一年インタナショナル・アツセンブリーと國際大會

一九五一年インタナショナル・アツセンブリー（國際協議會）は五月一日より同二五日まで米國ニューヨーク州レーキ・プラシッドで開催のことに決定されました。その指定参加者は全會議を通じて出席するもの限りRIが費用を支拂う。又ガヴァナーが再選された場合に曩にRIの費用でインタナショナル・アツセンブリーに出席したことがある者に對しては、RIは再び参加の費用を負担しないことを併せて決定しました。

第四二回インタナショナル・コンベンション（國際大會）は米國ニューヨーク州アトランティック・シテイにて、一九五一年五月二七日より同三一日まで開催されます。この大會はデトロイトの本年度大會と異なり、ロータリアンである限り誰でも、家族友人同伴自由に参加出来るのでありますから、奮つて出席され大に「國際友情」を温めて頂きたいと思ひます。お願いいたします。

七、新會員の推薦及び選舉手續に於ける一四段階

本年一月のRI理事會に於て、クラブ細則第一一條會員選出の方法第一項の第二段以下を改正しました結果、「新會員の推薦及び選舉手續に於ける一四段階」（「會員資格と職業分類」三〇―三一頁参照）の内左の通り改正になりました。

7、推薦者は候補者にロータリー・クラブ會員としての特權及び義務を詳細に説明し、且つ本人より口頭又は書面でその氏名をクラブに公表するにつき承諾をとる。

8、幹事は各會員に書面又は印刷した書式により通知する。

11、幹事は選舉の結果を推薦者及び新會員に通告する。

12、新會員は入會申込書に署名し、入會金を支拂う。

その他は従來の通りであります。

八、第六〇地區の新クラブ

新ロータリー一年度始め即ち七月一日以降RIの承認を得て正式に結成され

たクラブは左の通りであります。これで地区内のクラブは合計三七となり
解散前と同数の勢力を挽回した譯であります。誠に御同慶に堪えません
○盛岡ロータリー・クラブ（復活チャーター番號四九七八）七月二五日

承認 スポンサー 東京及び仙台ロータリー・クラブ。チャーター・メ
ンバー 二一人

會長 小泉多三郎 幹 事 板倉晴一
事務所 盛岡市肴町川徳デパート内（電一、五一〇）

例 會 同所 木曜日 一二・三〇

○山形ロータリー・クラブ（チャーター番號七五八七）八月五日承認
スポンサー 東京及び仙台ロータリー・クラブ。チャーター・メンバ
ー 二二人

會長 鈴木重屹^{シゲタカ} 幹 事 岩淵増藏
事務所 山形市旅籠町一〇四六 山形商工會議所内（電二、一〇一・
二、一〇二）

例 會 山形市花小路 千歳館（電二、〇〇六）水曜日 一二・三〇

○東京北ロータリー・クラブ（チャーター番號七五九〇）八月一二日承認
スポンサー 東京ロータリー・クラブ。チャーター・メンバ
ー 二六人

會長 兒王桂三 幹 事 塚本峰吉 副幹事 須賀利雄
事務所 東京都台東区上野廣小路 松坂屋東京本部内

（電下谷^コ一、一二六）

例 會 同所 木曜日 一二・三〇
○東京南ロータリー・クラブ（チャーター番號七五九一）八月一二日承認

スポンサー 東京ロータリー・クラブ。チャーター・メンバ
ー 二六人
會長 金森徳次郎 幹 事 中谷 保 副幹事 梁瀬次郎
事務所 東京都港区赤坂溜池三一 安全ビル内

（電赤坂^カ一、一三七。一、一三八）

例 會 東京都港区赤坂山王下 山王會館（電銀座^コ〇六五二）
金曜日 一二・三〇

東京北クラブは都内文京、台東、墨田、江東、豊島、北、荒川、板橋、足立、葛飾、江戸川の一區、又東京南クラブは都内練馬、中野、杉並、新宿、大田、世田谷、澁谷、目黒、港、品川の一〇區を夫々地域としています。従つて東京ロータリー・クラブの地域は以上二一區以外の東京都と
いうことになつた譯であります。

尙、昭和一五年解散の際、現在の日本領土内に存在したクラブ三七の内、今日未だ復活していないのは都山、釧路、松山、室蘭、野付牛（北見）、帯廣、宇和島、和歌山の八クラブであります。これらのクラブが速に復活される日を期待します。

九、世界のロータリー・クラブ

六月三〇日現在、世界八四ヶ國に在るロータリー・クラブは七、一一二、會員數三四二、〇〇〇でありましたが、その内USCB（アメリカ、カナダ及びバミューダー）に在るクラブは四、四一〇その會員數二四二、七三〇でありますから、残りの八一ヶ國に二、七〇〇のクラブと約一〇〇、〇〇〇の會員がある譯であります。

七月一日から八月一日までにRIで承認したクラブの數は二二でそのうちには上記の盛岡と山形の兩クラブが含まれています。

一〇、チャーターナイトと公式訪問

七月二五日岐阜ロータリー・クラブのチャーターナイトの参加者は主客併せて約二七〇人で近頃稀に見る盛典でありました、その夜の長良川の鶴飼は折柄の天候に恵まれ非常な成功であつた。八月七日旭川ロータリー・クラブのチャーター・ナイトは遠く熊本、京都等のクラブより参加者を得て盛大に行われた。北海道開發博覽會および合同酒糟、園策バルブの工場見學、又層雲峽の観光に参加者を喜ばせた。

八月八日より一四日までの間、旭川、札幌、小樽、函館の四クラブを公式訪問しました。例會日の變更その他各クラブの熱心な協力を得たことに

深く感謝の意を表します。爾餘のクラブの公式訪問は順次行います。精々前廣に御案内する積であります。クラブ、レビューの準備は出来ていますか？

一一、七月中の出席記録

クラブ名	例会日数	会員数	七月出席率	出席例會數	六月出席率
✓ 濱松	四	三〇	九四・八%	一	九一・九%
✓ 西宮	四	二四	九四・八%	一	九一・四%
✓ 小樽	四	三一	九三・五%	〇	九六・〇%
✓ 札幌	四	四六	九二・五%	〇	八三・一%
✓ 函館	四	二五	九二・〇%	一	八七・六%
✓ 岐阜	五	二五	九〇・四%	一	八七・二%
✓ 仙台	四	四四	九〇・二%	〇	八八・八%
✓ 姫路	四	三一	九〇・一%	〇	八八・二%
✓ 一宮	四	二二	九〇・〇%	〇	八七・五%
✓ 名古屋	四	五八	八九・七%	一	八三・二%
✓ 甲府	四	二六	八九・四%	〇	八三・九%
岡山	四	二六	八八・四%	〇	九三・七%
✓ 今治	四	三四	八七・五%	〇	八八・〇%
✓ 高知	四	二五	八七・五%	〇	八三・三%
✓ 四日市	四	一八	八七・五%	〇	六八・〇%
✓ 京都	四	七一	八七・二%	〇	九二・五%
✓ 徳島	四	二九	八七・一%	〇	八七・九%
✓ 横濱	四	四〇	八六・九%	〇	九一・三%
✓ 静岡	五	二八	八六・四%	〇	七八・六%

第六〇地区七月平均率 八五・八%

✓ 神戸	四	六六	八五・五%	〇	八三・五%
✓ 廣島	四	四三	八四・九%	〇	八四・七%

✓新	✓金	✓大	✓高	✓東	✓熊	✓小	✓津	✓門	✓長	✓福	✓旭	合
瀨	澤	阪	松	京	本	倉		司	崎	岡	川	計
四	四	四	四	四	四	五	四	四	四	四	四	一
二七	三五	九三	三〇	一九〇	三六	三〇	二七	三三	二八	五一	三三	一、三五五
八三・四%	八二・九%	八二・三%	八〇・八%	八〇・八%	七九・二%	七八・七%	七七・八%	七七・八%	七七・七%	七七・四%	七五・〇%	八五・八%
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五
八八・四%	七五・七%	八二・四%	八二・一%	七六・二%	七九・三%	七九・八%	八〇・〇%	七八・三%	七三・八%	七九・二%	八二・四%	一

五月八三・三%、六月八四・二%、七月八五・八%と尻上りの成績は御同慶に堪えませんが七〇%台のクラブはもう一息です、一段の奮起を望みます。

(完)

ROTARY INTERNATIONAL
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 60
TOMOTAKE TESHIMA
27 Shinanomachi, Yotsuya P.O., Tokyo, Japan



No. 3 58 CLUBS + 1499 MEMBERS SEPTEMBER 19, 1950

昭和二五年九月一九日（第三信）

ロータリー・インタナショナル第六〇地區

ガザアナー 手 島 知 健

第六〇地區

ロータリークラブ會長、幹事 殿

拜 啓

一、國際連合週刊 (UNITED NATIONS WEEK)

國際連合記念日 (UNITED NATIONS DAY) は一〇月二四日と極つて
いますが、本年は例年のその日とは全く趣を異にし、鐵火の試練を受けつ
つある現下の情勢に於て、國際連合の眞義を闡明し、一般の理解を深めんがた
めに、その日に先立つ一〇月一六日乃至二四日の一週間を、國際連合週刊と
宣言したアイサー・ラザリー RI 會長の懇請に答えて、各クラブはそれぞれ、適
切なる行事を企てて、一つ一つのロータリークラブに覺められたる責任を果
されるよう、希望してやまない次第であります。同時に受取られた PAPER
NO. 705 『THEIR SHOULD BE PEACE』は好個の参考文献でありまし
よう。

二、ロータリー財團寄附金および奨學生候補者推薦について

今月はロータリー財團寄附金を左の通り四クラブより頂戴しました。

✓ 今治ロータリークラブ (一〇〇%) 二四名 一〇〇 弗 一四〇 弗 一二二、四〇〇 圓

濱松ロータリークラブ (一〇〇%) 二八名 一〇〇 弗 二八〇 弗 一〇〇、八〇〇 圓

四日市ロータリークラブ (第一回分) 二一名 一〇〇 圓 五八弗三〇仙 二一、〇〇〇 圓

一宮ロータリークラブ (一〇〇%) 二二名 一〇〇 弗 二二〇 弗 七九、二〇〇 圓

合計 八九八弗三〇仙 三二三、四〇〇 圓

今日までの第六〇地区の寄附金総額は二、五八七、八〇〇圓、その米貨七、一八八弗三〇仙。一〇〇%クラブは上記今治、濱松、一宮を加えて一三となりました。引續き皆様の絶大なる御支援に對して深甚の謝意を表します。

奨學生候補者は推薦せられるクラブの所在地又はその隣接地域に住居を有する者であることが必要であります。偶々クラブ所在地の學校に通學中であることの故を以て推薦することは出来ません。この點お間違のないようお願いいたします。

三、第六〇地区のロータリークラブ

第二信で御報告しました以后に承認された新クラブは左の通り

○豊橋ロータリークラブ (チャーター番號七、五九九) 八月二六日承認。

スポンサー 名古屋ロータリークラブ。チャーターメムバー 二二名
會長 神野太郎 幹事 白井順一郎

事務所 豊橋市花田町石塚四二 豊橋商工會議所内 (電三、二一三、二二三)
例 會 同所豊橋貿易商工館 (電三、二二四) 木曜日 二二、三〇

これで第六〇地区のクラブは三八となり會員數は一、四九九となりました。ファイル・ラヂジョイ R.I 幹事の報告によれば、ニュージランドでは人口五六〇人に對し一人のロータリアンがあるという。誠に我邦の狀態を見ますと五五、〇〇〇人に一人のロータリアンということになります。

尚、京都ロータリークラブの事務所は京都市中京區三條通烏丸西入株式会社
 社千總内に、例會場は一〇月一日以後京都驛前ラクヨー。ホテルに変更。又、
 岡山ロータリークラブは九月一三日以后事務所、例會場とも岡山市下之町天
 満屋百貨店（四階）（電六、六一一）に移りました。

四、チャーターナイトと公式訪問

九月五日濱松ロータリークラブのチャーターナイトは頗る盛大に行われ、
 ロータリー財團への一〇〇%寄附をガヴァナーに手交し、式後濱名湖上の舟
 遊と名物「ねこんぞ」の見物に歡を盡した。今のところ決定しているチャ
 ーターナイトは一〇月一二日甲府、同一五日津、十一月三日長崎、同一五日東
 京南および東京北、同一八日静岡等である。

公式訪問は九月六―七日四日市、七―八日津、八―九日一宮、一―一―二
 日名古屋の各クラブに行われ、何れも熱心に参加されたことを感謝いたしま
 す。尚新クラブである豊橋ロータリークラブを一三―一四日訪問して正しき
 發足のお手傳をしました。四日市と一宮ではそれぞれ公式訪問の機會にロー
 タリー財團に對する寄附金の手交を受けガヴァナーを驚喜させました。
 今後の公式訪問は大体左の通りにいたします。

九月一八―一九日	横濱
〃 二五―二六日	仙台
一〇月 二―三日	西宮
〃 三―四日	京都
〃 四―五日	神戸
〃 五―六日	大阪
〃 九―一〇日	姫路
〃 二六―二七日	門司
〃 二七―二八日	小倉
〃 三〇―三一日	熊本
一〇月三十一―一日	福岡
十一月 一―二日	長崎

一月	六―七日	廣島
〃	八―九日	今治
〃	九―一〇日	岡山
〃	二七―二八日	高知
〃	二八―二九日	徳島
〃	二九―三〇日	高松

その他のクラブには順次お伺いたします。どうか CLUB REVIEW FOR GOVERNOR'S WISHES の提出をお忘れなきよう。又委員長の報告は公式訪問の際頂戴出来るよう御用意を願います。

五、クラブ・プレテインの發刊について

西宮ロータリークラブは週刊會報を發行してあります。相當骨の折れる仕事と思いますがその効果は顯著なるものがあることを期待して、その英断に敬意を表します。今治、四日市兩クラブの端書週報は最も能率的な方法と感心してあります。

未だプレテインに手の付いていないクラブ。又折角始められたが中絶しているクラブもあるようですが、是非この際少くとも月刊會報を發行され、追々週刊に發展するよう御盡力を希望します。

六、「四つのテスト」(THE FOUR-WAY TEST)

去る六月五日付ガザアナーヌター第一二信で發表した「四つのテスト」邦譯試案を念のためこゝに再録します。

- 一、眞實か、嘘はないか？
 - 二、當事者の誰にも公正か、誰かに不公平ではないか？
 - 三、好意と友情を増すか、敵意と増悪を招かないか？
 - 四、當事者全部のためになるか、誰かの不利にはならないか？
- この企については SECRETARY'S LETTER にもコメントが載せられていましたし、「四つのテスト」の版權所有者であるテイラー氏からも意見が寄せられています。肝心の皆様の御意見が未だ参つていません。

「京都ロータリアン」には

- 一、それは眞實なりや
- 二、それは公明正大なりや
- 三、それが好意と友愛を増進するや
- 四、それがすべての人に對して有益なりや
とありました。

原文の眞意を伝え、机上の塵右銘に適するような名案を考えて下さい。

七、ENERGIEY FORUMS (都市連合討論會)

ロータリー情報普及のためENERGIEY FORUMSの開催が盛に感懐され
ていることは御承知の通りであります。最近シカゴ本部より届きました
MANDAL FOR LEADERS OF ENERGIEY GENERAL FORUMS FOR
1950-1951 はこの種の企てに對し参考となると思ひますから一部會長
宛の本狀に添付しておきました。御研究下さつてこの種の催の計劃を希望し
ます。

八、八月中の出席記録

クラブ名	例會數	會員數	八月中出席率	例會數	七月出席率
岡山	四	二九	九二・三%	〇	八八・四%
濱松	五	三一	九二・一%	〇	九四・八%
豊橋	一	二二	九〇・九%	〇	—
西宮	五	二四	九〇・八%	〇	九四・八%
函館	五	二四	九〇・〇%	一	九二・〇%
静岡	四	三二	九〇・〇%	一	八六・四%
小樽	五	三三	八九・九%	〇	九三・五%
東京北	三	二六	八九・八%	〇	—
横濱	五	四二	八九・四%	〇	八六・九%
名古屋	五	六三	八九・三%	〇	八九・七%

地区	出席人数	平均率	折角	奮起率
神戶	六六	八三・三%	〇	八五・五%
一宮	二二	八三・〇%	〇	九〇・〇%
旭川	三三	八二・六%	〇	七五・〇%
山形	二二	八二・一%	〇	八七・五%
四日市	一一	八一・〇%	一	八七・五%
盛岡	二一	八一・〇%	〇	八七・五%
福岡	五二	八〇・六%	〇	七七・四%
金澤	三七	八〇・〇%	〇	八二・九%
岐阜	二七	七九・七%	〇	九〇・四%
東京	一九〇	七九・七%	〇	八〇・八%
東京南	二六	七八・九%	〇	八三・四%
新潟	二七	七八・五%	〇	七八・七%
小倉	三〇	七七・五%	〇	七八・七%
熊本	三六	七六・七%	〇	七九・二%
高松	三〇	七六・七%	〇	八〇・八%
門司	三三	七六・四%	〇	七七・八%
甲府	二六	七三・九%	〇	八九・四%
長崎	二八	七二・八%	〇	七七・七%
合計	一、四九九	八三・九%	三	八五・八%

第六〇地区八月出席平均率

この成績は夏枯れといふところですか？ 折角の奮起を期待します。

敬具

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 60

TOMOTAKE FESHIMA

27 Shinanomachi, Yotsuya P.O., Tokyo, Japan

會長 殿



No. 4

40 CLUBS - 1559 MEMBERS

OCTOBER 24, 1950

昭和二十五年一月二四日 (第四信)

ロータリー・インタナショナル第六〇地区

ガヴァナー 手 島 知 健

第六〇地区

ロータリー・クラブ会長・幹事 殿

拜啓

一、第六〇地区のロータリー・クラブ

第六〇地区のロータリー・クラブは四〇となり、會員数は一、五九九名となりました。誠に御同慶に堪えません。エキステンション 擴 張 に協力された方々に厚く御禮を申し上げます。尚この上とも引續き御盡力を切望します。その後承認されたクラブは

○釧路ロータリー・クラブ (チャーター番號四、〇九二) 一〇月二日承認。

スポンサー札幌ロータリー・クラブ。チャーター・メンバー二五名
會長 ^{オサナイ} 内 丑 右 衛 門 幹 事 三 原 正 二

事務所 釧路市大川町三 釧路商工会議所内
例 會 向所常盤グランド 木曜日一・二・三〇

○倉敷ロータリー・クラブ (チャーター番號七、六一八) 一〇月七日承認。

スポンサー京都及岡山ロータリー・クラブ。
チャーター・メンバー二二名

會長 山崎 直治 幹事 青本^{モト} 虎夫
 事務所 倉敷市旭町六九〇 二三會館内(常二七〇番)
 例會 同 所 本曜日一二・三〇

の二つでありまして、引續き郡山、明石、松山の各クラブが結成される筈であります。

昭和一五年解散前に實在したクラブの復活に對しては從來、^{チャーター}加^{タリ}盟^イ金^イが免除されて來たのでありますが、最早時日も相當経過したことであり勞々、復活クラブも新設クラブ同様一〇〇弗の加盟金を徴收されることになりました。なるべく本年一杯徴收免除を要請してはいますが、加盟申請の都度決定を見ることと思ひます。十二月三十一日以後は絶体に新設クラブ並の扱ひになりますから御承知置き下さい。

二、世界のロータリー・クラブ

一〇月一六日現在、世界に七、一六六のクラブと三四二、〇〇〇名の會員があります。七月一日以降承認せられたクラブは五七で、その内譯は

- ア ジ ア 一〇
 - 濠洲、ニュージラント、南阿其他 一一
 - 歐洲大陸、北阿及東地中海地方 一一
 - 英國及アイルランド 七
 - 南米、中米、メキシコ及アンテイレス 八
 - 米國、カナダ及バミューダ 一〇
- であります。その内第六〇地區のものは七クラブで全体の一二%に當ります。

三、チャーターナイトと公式訪問とインタシテイ・フォーラム

一〇月一二日甲府ロータリークラブ、同一五日津ロータリークラブ、同一九日盛岡ロータリー・クラブ、同二一日山形ロータリー・クラブのチャーター傳達式が盛大に行われ、何れも郷土色豊かな見學、餘興など盛澤山のプログラムに會員、家族及び各地よりの來賓を喜ばせた。東康南北兩クラブ合

同のチャーター。ナイトは十一月一六日に決定、長崎と静岡は既報の通り、又十二月一日には倉敷のチャーター傳達式が行われる。

公式訪問は既報の通り横浜、仙臺、西宮、京都、神戸、大阪、姫路の各クラブに對して行われ、熱誠なる協力を受けたことに對して深く感謝の意を表します。岡山形クラブを九月二六、七日に訪問して新クラブ指導の御手傳をいたしました。

今後の豫定は前狀の通り、但し岡山クラブの公式訪問は都合により變更しました。その後決定の分は次の通りであります。

- 十一月二一―二十二日 東京
- 十一月三〇―十二月一日 岡山
- 十二月四―五日 新潟
- 〃 五―六日 金澤
- 〃 七―八日 岐阜
- 〃 一〇―十一日 静岡
- 〃 一一―一二日 濱松
- 〃 一三―一四日 甲府

度々申し上げますように、CLUB REVIEW FOR GOVERNOR'S VISITは英文でチャーターで記入して下さい。各委員長の報告は日本語で結構でありますから公式訪問の際頂戴できるよう準備しておいて下さい。

一〇月一六日名古屋ロータリー。クラブ主催で中部インターシティ。フォーラムを主催し濱松、豊橋、津、四日市、一宮、岐阜の各クラブの参加を得、ガヴァナーも出席し、折柄國連週間に際し、國際運合を主題とした講演を聴取した後、ロータリー一般の問題を熱心に討議し、非常に有意義な會合でありました。今後各地方でこの種の會合が度々催されることを希望します。

四、ロータリー財團

ロータリー財團に對するその後の寄附金は次の通りであります

徳島ロータリー (一〇〇%) 二九名 @ 一〇弗 二九〇弗 一〇四、四〇〇圓

小倉	クロータリー	(一〇〇%)	二九名	①	〇	幣	二九〇	幣	一〇四、四〇〇	圓
高知	〃	(一〇〇%)	二五名	①	〇	幣	二五〇	幣	九〇、〇〇〇	圓
高松	〃	(一〇〇%)	三〇名	①	〇	幣	三〇〇	幣	一〇八、〇〇〇	圓
岐阜	〃	(第一回分)	二七名	③	三	幣	三三三	幣	九〇	圓
合計							一、二二〇	幣	四三九、二〇〇	圓

今日までの第六〇地区の繰金合計三、〇二七、〇〇〇圓その米貨八、四〇八、三〇〇仙。一〇〇%クラブは上記の徳島、小倉、高知、高松を加えて一七〇、〇〇〇仙となりました。誠に難有く御協力に對して深く御禮を申し上げます。

奨學生候補者の推薦書類は十一月一五日までにガヴァナーの手許に到着する必要があります。同日以後は絶對に受け付けません。書式は部致に限りがありますので候補者の決定した向に限り御送りしますから電報で御申出下さい。

候補者の銓衡に對するこの年度の地区委員は京都、鳥養利三郎。大阪、北澤敬次郎。東京、徳積重蔵。東京、丘。W。ハケツト及びガヴァナーの五名で構成することにして夫々委命しました。

本年度の奨學生、清水長一君は九月中旬米國コネル大學に無事入学して、目下愉快に、元氣に、熱心に勉強しています。大學所在地イサカのロータリー。クラブに毎週出席しています。來る十一月一日には附近のオーロラ・ロータリー。クラブで話をする豫定だそうです。度々通信がありますが皆様に呉々もよろしく御傳えしてくれとのことでもあります。

五、一九五一年地区大會 (1951 DISTRICT CONFERENCE)

一九五一年第六〇地区大會は東京で明年四月七日(土曜日)および八日(日曜日)の兩日開催のことに決定しました。何れ詳しいことは追々開催地クラブから通信がありますと思いますが、家族御同伴、出來るだけ多數の御出席を希望いたします。只今よりこの兩日を書入れに願います。

六、九月中の出席記録

クラブ名	例會日數	會員數	九月出席率	出席例會數	八月出席率
横濱	四	四六	九七・三%	一	八九・四%
四日市	四	二一	九五・二%	一	八一・一%
濱松	四	三一	九四・三%	一	九二・一%
一宮	五	二四	九四・二%	二	八三・〇%
小樽	四	三三	九三・九%	〇	八九・九%
札幌	四	四八	九三・六%	〇	八六・三%
東京北	四	二六	九三・三%	一	八九・八%
名古屋	四	六三	九一・七%	〇	八九・三%
豊橋	四	二二	九〇・九%	〇	九〇・九%
京都	四	七二	九〇・七%	〇	八七・一%
仙台	四	四五	九〇・〇%	〇	八五・一%
静岡	四	三三	八九・四%	〇	九〇・〇%
函館	四	二一	八九・三%	〇	九〇・〇%
津	五	二五	八九・三%	〇	八五・二%
高知	四	二五	八九・〇%	〇	八六・四%
西ノ宮	四	二五	八九・〇%	〇	九〇・八%
山形	四	二六	八八・四%	〇	八二・一%
岡山	四	二九	八七・一%	〇	九二・三%
福岡	四	五二	八六・六%	〇	八〇・六%

第六〇地區九月出席平均率 八五・六%

新潟	四	二七	八五・二%	〇	七八・五%
廣島	四	四三	八五・〇%	〇	八六・七%
大阪	五	九二	八五・〇%	〇	八四・七%
神戸	四	六六	八三・九%	〇	八三・八%
徳島	四	三一	八三・九%	〇	八六・五%

金澤	小倉	岐阜	姫路	東京南	旭川	熊本	甲府	盛岡	高松	東京	今治	長崎	門司
四	四	五	四	五	五	四	四	四	四	四	四	四	四
三七	三〇	二七	三一	二六	二九	四〇	二六	二二	三〇	一九三	三四	二八	三三
八三・八%	八三・六%	八一・五%	八〇・〇%	七九・二%	七八・五%	七八・一%	七七・九%	七七・八%	七七・五%	七七・四%	七五・〇%	七四・一%	七二・〇%
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
八〇・〇%	七七・五%	七九・七%	八四・五%	七八・九%	八二・六%	七六・七%	七三・九%	八一・〇%	七六・七%	七九・七%	八五・九%	七二・八%	七六・四%

合計

一、五一二

八五・六%

六

八三・九%

七〇%台のクラブは特別な奮起を希望します。アツランダンス・コミッテイに一段の工夫を要請したいと思ひます。

以上

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 60
TOMOTAKE TESHIMA
27 Shinanomachi, Yotsuya P.O., Tokyo, Japan



No. 5

41 CLUBS - 1606 MEMBERS

NOVEMBER 22 1950

昭和二十五年十一月二十二日（第五信）

ロータリー・インターナショナル第六〇地区

ガヴァナー 手島知健

第六〇地区

ロータリー・クラブ会長・幹事 殿

拜 護

一、ロータリー財團寄附金

ロータリー財團に對する各クラブの熱意は愈々深く、この嵩高は國際奉仕に對する具体的な御協力には誠に御禮の言葉もない位であります。その後寄附を受けましたのは次の通りであります。

旭川	ロータリー(一〇〇%)	二八名@	一〇弗	二八〇弗	一〇〇、八〇〇圓
門司	(第一回分)	一〇名@	一〇弗	一〇〇弗	三六、〇〇〇圓
札幌	(一〇〇%)	四七名@	一〇弗	四七〇弗	一六九、二〇〇圓
東京北	(一〇〇%)	二九名@	一〇弗	二九〇弗	一〇四、四〇〇圓
東京南	(一〇〇%)	三〇名@	一〇弗	三〇〇弗	一〇八、〇〇〇圓
静岡	(一〇〇%)	三六名@	一〇弗	三六〇弗	一二九、六〇〇圓
合計				一、八〇〇弗	六四八、〇〇〇圓

新たに加わつた札幌、東京北、東京南、静岡の四つの一〇〇%クラブを併せて二三の一〇〇%クラブとその他の四クラブを合せ今日迄の第六〇地区の總金は三、六六五、〇〇〇圓で米貨にして一〇、二〇八弗三〇仙とな

りました。一〇、〇〇〇弗を超過したことは特筆に値すると思ひます。
ところで、己に一應一〇〇%クラブとされてもその後會員の増加により遙かに一〇〇%を下廻つてゐる向もあります。就てはそれらのクラブは適當の時期に追加の御寄附を願ひたい。フェイスカル。エジエントは別に纏まらなくても、即ち一人分でも二人分でも取扱は厭わぬといふことであります。

中にはクラブ細則の改正を行い、入會金に一〇弗即ち三、六〇〇圓を加えて一〇〇%クラブを持続する海外クラブの前例に倣うといふクラブもあります。一〇〇%クラブとされた向は考慮されて可然だと思ひます。

二、ロータリー財團奨學生候補者

各クラブの御協力の結果推薦された優秀な候補者に就ては一月二〇日地區委員が銓衡をいたしました結果、東京、東京北及び東京南ロータリー。クラブの共同推薦にかゝる聖心女子大學一九五一年度卒業豫定の中村貞子さんを第六〇地區の代表候補者として選出し本部に推薦することに極りました。この上は皆様と御一緒に貞子さんが明年一月行われるR.I.委員會で榮冠をかち得らるゝことを念願するばかりであります。

三、第六〇地區のロータリー。クラブ

その後の新クラブは

○郡山ロータリー。クラブ（チャーター番號三九九二）一〇月三〇日承認

スポンサー 東京ロータリー。クラブ

チャーター・メンバー 二八名

會長 橋本萬右衛門 幹事 渡邊樂吉

事務所 郡山市大町一〇九 橋本合名會社内

例會 郡山市^{ヒウチ}遂田^ダ町 郡山商工會議所 金曜日一二・三〇

尚奈良縣の郡山町と間違わぬよう、英語の場合は ROTARY CLUB OF KORIYAMA CITY と稱することにしました。

第六〇地區のロータリー・クラブはこれで四一となり會員數は一、六〇六となりました。一月三日現在、世界のロータリー・クラブは七、一七八、會員數三四二、〇〇〇名、七月一日以降の新クラブは六九といふことでありますが、その期間當地區内では新設復活を合せて八クラブが結成承認されました、一一%強に富ります。

尙明石、松山、福井の三クラブは己に結成され目下國際ロータリーに加盟の手續中又は普類の整理中であります。その他和歌山のクラブも不遠復活の豫定であります。

四、チャーター・ナイトと公式訪問とインターンター・ミーティング

一月三日の文化の日には長崎ロータリー・クラブが、同一六日には東京北、東京南ロータリー・クラブ合同で、又同一八日には静岡ロータリー・クラブが、それぞれチャーター傳達式を賑々しく舉行され、全國各地よりのロータリアンおよび家族の参加を得て、和やかに而も勢よく發足されました。東京北、東京南および静岡の各クラブはチャーター・ナイトの機会にロータリー財團に對する一〇〇%寄附金をなされましたことは誠に感激の極であります。

既報の通り、門司、小倉、熊本、福岡、長崎、廣島、今治の各クラブに對する公式訪問を行い、例會日の變更、日曜日のアツセンブリーなどにも熱心に協力されたことを各クラブに對して感謝しています。尙今後の公式訪問は既報の通りの日付で行いますがその内部合により變更したものは左の通り、

高松 一月二五日及び三〇日
静岡 一月一七日―一八日
濱松 一月一八日―一九日

CLUB REVIEWSと委員長報告書の準備は出来ていますか？

一月八日今治ロータリー・クラブ主催で四國インターンター・シテイー・フォーラムを開催、高知、高松、徳島及び松山（假）クラブの参加を得て、

ガヴァナーも出席し有益な討議をしました。又一一月一日の平和記念日には京都ロータリー・クラブ主催の近畿インター・シティー家族會が開かれ、修學院離宮や三千院、寂光院など洛北の秋色を訪ねたる後洛陽ホテルにて少時間（繰延延のため）インター・シティー・アツセンブリを催し、來春早々大阪クラブ主催でインター・シティー・フォーラム開催を決議した。その後で和やかな晩餐會が催された。参加者を京都、大阪、西宮、神戸、明石（假）及び姫路の各クラブより二五〇名、まことにロータリーにふさわしき楽しい集いであつた。主催クラブも骨の折り甲斐があつたこと
と思ふ

五、第六〇地區名簿

京都ロータリー・クラブ理事森田二郎氏の御好意と犠牲的努力によつて第六〇地區の名簿が完成しました。八月末現在であります。その後承認された釧路、倉敷の兩クラブの名簿も追加されています。各クラブ漏付用として一部は寄贈。その他會員數に應じて夫れ夫れお送りしました。實費一部二〇〇圓。まだ多少殘部がありますから御注文に應じられます。直接京都市中京區麩屋町二條下ル森田二郎氏へ御連絡下さい。

六、「四つのテスト」

仙台のロータリー・クラブでは「四つの反省」として次のような案が寄せられました。

- 一、眞實か。虚偽はなきや
 - 二、其誰にも公正なりや
 - 三、好意と友情とに欠くるところなきや
 - 四、其誰もが利するところありや
- 尙シカゴ本部より机上用の「四つのテスト」の**小牌**は目下品切れであるが明年一月には御注文に應じられる。材料騰貴のため一―九個@四五仙、一〇―四九個@四〇仙、五〇―九九個@三七仙、一〇〇個以上三四仙等と

變更される旨通知がありました。

七、ガヴァナー公式訪問の際のクラブ・アツセンブリー

最近の R.I. エー・エム・ズ・アンド・オブジェクト・コミTEE にてガヴァナー公式訪問の際の

前夜のクラブ・アツセンブリーの利益に就き討議の結果、少くとも二時間のクラブ・アツセンブリーが必要で而も夕刻緩談の機を得ることが望ましく、且つその結果は頗る有益であるとの結論に達した。尙多くのガヴァナーはかゝるクラブ・アツセンブリーは二時間では寧ろ不足であり且つ日中よりは夕刻の會合に多くを期待できる旨報告している。

右は本部よりの通信でありますが第六〇地區に於ては、クラブ側及びガヴァナーの時間が許す限り午后遅く、例へば三、四時頃から二、三時間夕食までのアツセンブリーを開いて頂いています。今後もこの本部の指示通り續けて行きましょう。

八、一〇月中の出席記録

クラブ名	例會數	會員數	一〇月出席率	一〇〇% 例會	九月出席率
山形	四	三〇	九九・二%	三	八八・四%
津	四	二七	九四・一%	一	八九・三%
濱松	五	三二	九三・八%	〇	九四・三%
静岡	五	三六	九二・一%	〇	八九・四%
東京北	四	二八	九二・〇%	〇	九三・三%
京都	四	七三	九一・八%	〇	九〇・七%
岡山	四	二九	九一・四%	〇	八七・一%
西宮	五	二六	九〇・八%	〇	八九・〇%
今治	四	三二	九〇・七%	一	七五・〇%
釧路	四	二六	九〇・六%	一	—
小樽	五	三五	九〇・三%	〇	九三・九%
札幌	四	四八	八九・六%	〇	九三・六%
横濱	五	四六	八九・六%	〇	九七・三%

大	豊	廣	新	四	德	函	仙	姫	一	名	神	福	甲	高	小	熊	門	長	金	東	旭	岐	高	倉	盛	京	南	計
阪	橋	島	潟	日	島	館	台	路	宮	古屋	戸	岡	府	知	倉	本	司	崎	澤	京	川	阜	松	敷	岡	南	計	
四	四	五	五	四	四	四	五	五	四	五	四	四	四	五	四	四	四	四	四	四	四	四	四	三	四	四	四	
九	二	四	二	二	三	二	四	三	二	六	六	五	二	二	三	四	三	二	三	一	二	二	二	二	二	二	一	
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	
八	八	七	七	六	六	五	四	三	三	三	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
八	九	八	八	五	三	九	〇	〇	九	一	三	六	七	九	三	八	二	四	三	七	八	一	七	七	七	七	八	
五	〇	五	五	二	三	三	〇	〇	二	七	九	六	九	〇	六	一	〇	一	八	七	五	五	八	八	九	六	六	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
八	九	八	八	五	三	九	〇	〇	九	一	三	六	七	九	三	八	二	四	三	七	八	一	七	七	七	七	八	
五	〇	五	五	二	三	三	〇	〇	二	七	九	六	九	〇	六	一	〇	一	八	七	五	五	八	八	九	六	六	

第六〇地區一〇月出府平均率 八五・三%

(終)

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 60

TOMOTAKE TESHIMA

27 Shinanomachi, Yotsuya P.O., Tokyo, Japan



No. 6 47 CLUBS - 1812 MEMBERS

DECEMBER 29, 1950

昭和三五年十二月二十九日 (第六信)

ロータリー・インタナショナル第六〇地区

ガブアナー 手島 知 健

第六〇地区

ロータリー・クラブ會長・幹事 殿

拜啓

一、敬 弔

函館ロータリー・クラブ幹事渡邊孝平氏は十二月七日に長逝されました。その訃に對し涙干かざるに又一二月二七日郡山ロータリー・クラブ會長岡本萬右衛門氏急死の報をうけ誠に惋惜痛悼に堪えません。歐際ロータリーに復歸後日なお遠き今日これら饒運の士を失うことは其クラブの損失なる而已ならず第六〇地区の莫大なる損失であります。謹で弔意を表します。

二、第六〇地区大會 (DISTRICT CONFERENCE)

茲に御通知しておきました第六〇地区大會は東京、東京北、東京南の三ロータリー・クラブが主^{ホスト} 催^{クラブ} 者となつて明年四月七日(土)および八日(日)の兩日東京で開催されます。詳しいことはホスト・クラブより御通知があります。石曜日の外四月六日(金)には前夜懇談會が催され、各クラブの會長、幹事および有恙の方の出席を奨励する次第であります。又

大會後の四月九日(月)にはホスト・クラブとして観光見學等に弊庭の勞を取られ、各地より御出席の會員および家族の方々の御便宜を計るることになつていきます。

就ては本部の勸奨に基き、出席者の登録會費の外に第六〇地區内總てのクラブにその會費數に應じ一人一券五〇仙即ち金五四〇圓の割合で右大會費用の分擔を願うことにいたしましたから御承知願います。尙この大會費用一歳員増金は來る三月三十一日現在會員數に對し御納付を願うのでありまして、宛先は本部會費(PER CAPITA TAX)同様

東京部中央區銀座西五丁目三番地

内外編物株式會社 小林雅一^{イサカズ}氏

に願います。尤も不取取一月一日現在會員數に對し出來る丈け速かに納付して頂き、あとは追て追加納入を願うことにしたいと思います。一月一日以後に成立したクラブに就てはそのチャーター・メンバー數に應じて國際ロータリー加盟承認と同時に御納付を願うことに致します。

この大會は皆様の大會であり、一九五一/五二年度ガヴァナーの選挙その他重要なる議事の御審議を願うのでありますから進んで御出席下さるようお願い諸君およびその御家族にお奨め下さい。この爲め各クラブでは至急東京大會行委員(CONTO TOKYO CONFERENCE COMMITTEE)を御極め願います。

尙又、右大會の内には一九五一/五二年度の各クラブ會長、幹事となられる方々丈けの會合もありますので、大會前に各クラブの次年度役員選挙が済んでいることを必要とします。然るに各クラブの定款は既に四月第一例會日に總會を催されることになつていきますので、それぞれ總會を繰上げ三月一杯に次年度役員が決定するように前以て御手配を願います。

明年は國際ロータリー大會(ANNUAL CONVENTION)が四年より早く、五月二七/三一日米國ニュー・ジャージー州アトランティック・シティで開催されますと同時に、國際ガヴァナーズ・アソシエーションもそれに先立つ五月一九日/二六日にニュー・ヨーク州レーキ・ブランチッドで開か

れます。従つて次年度ガヴァナーを早く決定して前記會合に出席の準備が出来るようにする必要がある譯であります。

三、第六〇地区のロータリー・クラブ

その後函縣ロータリーに加盟したクラブは左の六クラブであります。

○明石ロータリー・クラブ

(チャーター番号七、六四一) 十一月二七日承認

スポンサー 神戸ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 二三名

會長 矢野松三郎 幹事 米澤由次郎

事務所 明石市大藏町一ノ一二七 米澤醤油合名會社内 (電四一七)

例會 明石市東本町四八 神戸銀行明石支店 (電五六)

水曜日一二・三〇

○福井ロータリー・クラブ

(チャーター番号七、六四七) 二月四日承認

スポンサー 大塚及京都ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 二八名

會長 市橋保治郎 幹事 酒井伊三男

事務所 福井市佐佳^{サカ}中^{エナカ}町三四 福井人絹會館内

例會 同 所 本館 一二・三〇

○松山ロータリー・クラブ

(チャーター番号四、三六二) 二月八日承認

スポンサー 今治ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 三〇名

會長 末光千代太郎 幹事 松野一郎

事務所 松山市三番町 愛媛縣銀行協會内 (電六〇七)

例會 同 所 火曜日一二・三〇

○室蘭ロータリー・クラブ

(チャーター番號四、〇七〇) 一二月一五日承認

スポンサー 札幌ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 三二名

會長 香春三樹次 幹事 水田 正

事務所 室蘭市大町 ニュー・プラザ内(電六〇五)

例會 同 所 本曜日一二・三〇

○和歌山ロータリー・クラブ

(チャーター番號四、二八九) 一二月二八日承認

スポンサー 神戸ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 三三名

會長 前田辰之助 幹事 島村安彦

事務所 和歌山市西^{ミギワ}汀町一 和歌山商工會議所内

例會 同 所 火曜日一二・三〇

○帯廣ロータリー・クラブ

(チャーター番號三八二〇) 一二月二八日承認

スポンサー 札幌ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 三三名

事務所 帯廣市西三^{イザン}坂南十一丁目三三 平原莊^{ホテ}ホテル内

例會 同 所 水曜日一二・三〇

期限内に復活せず従つて^{チャーター}加^フ盟^金免除の特典を得られなかつたのは北見(野付牛)と宇和島であります。これらのクラブも適當の時期に新クラブとして満足されることを希望します。尤もチャーター・フィーが免除されない丈けで従前のチャーター・ナンバー再指定は可能と思う。

以上で第六〇地区内のクラブは四七となり、七月一日以來承認されたクラブは合計一四となります。この外大津隈ロータリー・クラブが一二月一

九日結成され唯今手續中であります。

右の通りその發展辰りは誠に目眩ましいものがあります。スポンサー。クラブの各位に對し深く感謝の意を表します。どうか今後もこの足並で進みたいものと思ひます。

尚、京都ロータリー。クラブの事務所は左京區田中大塚町九 應用科學研究所内(電吉田(7)三二六、一〇三六)に移轉、横濱ロータリー。クラブは例會場を本町二丁目第一銀行横濱支店三階に又甲府ロータリー。クラブは例會場を事務所同様、柳町七三山梨縣商工會議所内に何れも變更。

四、チャーター・ナイトと公式訪問

京成ロータリー。クラブは一二月一日と二日に盛大なチャーター・ナイトを舉行され、同時にロータリー財團に對する一〇〇%の寄附金をなされ先づ國際奉仕に重大なる第一歩を印せられた譯であります。

既報の議定により東京、高松、徳島、岡山、新潟、金澤、岐阜、甲府、静岡、浜松の各クラブに對する公式訪問をそれぞれ熱心なる御協力を得て有意義に濟ませました。特に各役員および委員長諸君の努力に對し御禮を申し上げます。尚今回の公式訪問に際し岐阜、甲府および新潟の各クラブは何れもロータリー財團寄附金の一〇〇%クラブになられました。これで七月一日以前に承認せられた三三クラブの公式訪問を年内に完了した譯であります。その後結成のクラブには順次伺います、差當り明年一月の予定は左の通りであります。

一月二四 / 二五日 東京北ロータリー。クラブ

一月二五 / 二六日 東京南ロータリー。クラブ

CLUB REVIEW と各委員長報告書を御用意下さい。

尚又、京都ロータリー。クラブは創立二五週年記念會を二月二〇日に催されました。市長、商工會議所會頭、舊會員その他の來賓を交え眞素に而も内容の充實した會合でありました。

五、一九五一年一月一日の半期會員報告 (SEMIANNUAL REPORT OF CLUB MEMBERSHIP)

本年一月一日以前に加盟承認を受けたクラブは、(一)一月一日付で半期會員報告書を所定の書式により、會長、幹事署名の上本部へ提出すること、(二)同時にフィスカル・エジエントたる東京郡中央區銀座西五丁目三番地内外編物株式會社小林雅一氏あてにその寫を送ること、更に一月一日より六月三〇日迄半期分の ^バ割 ^キ當 ^ビ負 ^タ金 ^タツ ^クス (本部會費) 會員一人に付八一〇圓並にロータリアン誌一月/六月分予約購読料一人に付四五〇圓を送金すること、(三)右報告書の寫をガザアナーに送ることをお願いいたします。

右は重要な報告でありますから失念なく送付して下さい。書式はそれぞれ本部から直送されている筈であります。當方に誤謬がありますから御用の向は御申感下さい。

尚、一月一六日以降に加盟承認されたクラブ(明石、福井、松山、室蘭、和歌山、帯廣)は明年七月一日まで上記 PER CAPITAL TAX の納付は必要ありませんがロータリアン誌の購読料はこの際御申込になつた方が便利と思ひます。購読者の住所姓名は直接本部へ、代金は前述の通り小林フィスカル・エジエントに御送金下さればよろしいのであります。

六、トマス・エヂソン誕生日行事

トマス・アルヴァ・エヂソン氏は生前ニュー・ジャージー州ウエスト・オレンジ。ロータリー・クラブの名譽會員であり芳々その發明家として人類に與された功績を稱えるため、二月一日その誕生日を記念する行事が各地のロータリー・クラブで催されています。御希望の向は講演材料、プログラム用針等をお送りしますから

EDISON'S BIRTHDAY COMMITTEE, 10 DOWNING STREET,

NEW YORK 14, N.Y., U.S.A.

に御接洽せよ SERVICE CLUB COMMITTEE の委員長

WALTER D. HEAD 氏から來状がありました。直接上記へ御通信下さい

向、アトランティック・シティの國際大會に御出席の方はその途次ウエスト・オランダに於けるエヂソン氏の試験室および警察を御覽に入れますからお越下さいとのことであります。

七、「四ツのテスト」(THE FOUR WAY TEST)

門司ロータリー・クラブが印刷に附して、會員を通し市内各學校、停車場、病院、工場などに寄贈して多大の反響があつた「四ツのテスト」のポスターは一月五日付本部より全世界に送られた「THE SECRETARIES LETTER FOR I. O. OFFICIALS」にその寫真を掲げて報告されていますが、そのポスターは次の通り

奉仕をモットウとする

SERVICE IS MY BUSINESS

皆様に次の事を行はざる様におすゝめします

- 一、嘘を云はず眞實であるやうに
- 二、誰にも公正で不公平のないやうに
- 三、人に對し好意と友情を増すやうに
つとめ決して嫉妬と憎悪を積かないやうに
- 四、全体の爲になるやうに働き誰人の不利にも
ならないやうに

門司ロータリー・クラブ

ちなみに、このポスターの原稿を見た印刷所の主人はロータリアンではないがその内容に連も感服して「己はこの仕事はロータリー精神でやる」と只のような態度で決く引受けたという。

尙、前信御紹介しました仙台ロータリー・クラブの「四ツの反省」はその後更に推致の結果次の通りその月報に出ています。

- 一、眞實か、嘘はなきや
- 二、誰にも公正なりや

三、好意と友情に欠けるところなきや
 四、誰もが益するところありや

八、ロータリー財団寄附金

第五回以后ロータリー財団に對する御寄附を頂いたクラブは

岐阜 (第二回分)、門司 (第二回分)、甲府 (一〇〇%)、
 新潟 (一〇〇%)、仙台 (一〇〇%)、東京 (一〇〇%)
 (追加分)

寺で合計五六四、四〇〇圓 (一、五六七弗七八仙) であります。各クラブの熱誠に對しては誠に感謝に耐えませんが。本日現在の各クラブよりの御寄附を一表 (A B C 順) に左の通り御覽と御報告をいたします。

クラブ名	寄附當時 會員數	金	額
旭川 ロータリー クラブ	(一〇〇%)	二八名	二八〇弗
福岡	(一〇〇%)	三三名	三三〇弗
岐阜	(一〇〇%)	二六名	二六〇弗
函館	(一〇〇%)	二五名	二五〇弗
浜松	(一〇〇%)	二八名	二八〇弗
廣島	(一〇〇%)	三六名	三六〇弗
一宮	(一〇〇%)	二二名	二二〇弗
今治	(一〇〇%)	三四名	三四〇弗
神戸	(一〇〇%)	五七名	五七〇弗
高知	(一〇〇%)	二五名	二五〇弗
甲府	(一〇〇%)	二六名	二七七・七八
小倉	(一〇〇%)	二九名	二九〇弗
倉敷	(一〇〇%)	二三名	二三〇弗
京都	(一〇〇%)	六七名	六七〇弗
門司	(第一、二回分)	三四名	二二〇弗
名古屋	(一〇〇%)	五六名	五六〇弗
新潟	(一〇〇%)	二八名	二八〇弗

西宮	クロタリ(一〇〇%)	二四名	二四〇弗	八六、四〇〇圓
岡山	"(一〇〇%)	二六名	二六〇弗	九三、六〇〇圓
大阪	"(一〇〇%)	八一名	八一〇弗	二九一、六〇〇圓
小樽	"(一〇〇%)	三六名	三六〇弗	一二九、六〇〇圓
札幌	"(一〇〇%)	四七名	四七〇弗	一六九、二〇〇圓
仙台	"(一〇〇%)	四七名	四七〇弗	一六九、二〇〇圓
静岡	"(一〇〇%)	三六名	三六〇弗	一二九、六〇〇圓
高松	"(一〇〇%)	三〇名	三〇〇弗	一〇八、〇〇〇圓
徳島	"(一〇〇%)	二九名	二九〇弗	一〇四、四〇〇圓
東京	"(一〇〇%)	一九七名	一九七〇弗	七〇九、二〇〇圓
東京北	"(一〇〇%)	二九名	二九〇弗	一〇四、四〇〇圓
東京南	"(一〇〇%)	三〇名	三〇〇弗	一〇八、〇〇〇圓
四日市	"(第一四分)	二一名	五八・三三	二一、〇〇〇圓
横濱	"(一〇〇%)	三八名	三八〇弗	一三六、八〇〇圓
合計		一二、三六	一一四、四〇一	四〇〇圓

外に札幌(クロタリ)一〇〇% 追加 一名 一〇弗 (米貞にて本部へ直接寄附)

右の通り一〇〇%クラブは二九の多きの上つています重ねて御禮を申し上げます。尚この上の御協力を懇願いたします。

九、クラブ・プレティンに就て

クラブ・プレティン即ち會社に付ては度々申上げますように、クラブの活動状況が相互にわかるようにとその發行を懇願して來つたので、近頃大部分のクラブから月報、週報又は隔週報として發行されるようになりましたことは誠に心強いことであります。未だその發行にまで至つていないクラブも是非この際 プレティン・コミティ員 を指名して早急に手配を得たいものと思ひます。

月報の場合には別に ポスト・カード・ウィークリー の方法によりそのクラブ會員間に速報を出されることが望ましい。この方法も段々諸方のクラブで採用さ

れていることは喜ばしい次第です。

父、月報としては東京、高知、その他の場合の如き随想や寄稿を載せることは結構でありますし、仙台の「ロータリー茶話」で佐々木幹事の勉強の結果を発表されているようなのは頗る有益だと思います。例會の記事だけでは記録文獻としては結構でありますが見に一段の工夫を要するように思います。

一〇、第六〇地區一月中旬の出席記録

クラブ名	例會數	會員數	一月中旬出席率	一〇〇%	例會數	一〇月中出席率
今治	四	三二	九四・五%	二	二	九〇・七%
劍路	五	二二	九三・一%	二	二	九〇・六%
山形	五	三〇	九二・七%	一	一	九九・二%
濱松	四	三二	九一・四%	一	一	九三・八%
静岡	四	三六	九一・〇%	〇	〇	九二・一%
一宮	四	二四	九〇・六%	〇	〇	八三・三%
岡山	四	三一	九〇・三%	〇	〇	九一・四%
横濱	四	四六	九〇・二%	〇	〇	八九・六%
札幌	五	四五	九〇・一%	〇	〇	八九・六%
岐阜	五	二六	八九・九%	〇	〇	七八・七%
西宮	四	二六	八九・五%	〇	〇	九〇・八%
東京北	四	三〇	八八・三%	〇	〇	九二・〇%
廣島	四	四四	八八・一%	〇	〇	八七・六%
京都	五	七九	八八・一%	〇	〇	九一・八%
四日市	四	二一	八八・一%	〇	〇	八六・九%
函館	四	二五	八七・九%	〇	〇	八五・四%
徳島	五	三三	八七・九%	〇	〇	八六・三%
大阪	三	九五	八六・八%	〇	〇	八八・一%
新潟	四	二八	八六・六%	〇	〇	八七・四%

姫路	四	三二	八六・〇%	〇	八三・九%
高知	四	二五	八五・〇%	〇	八一・六%
豊橋	四	二三	八四・八%	〇	八八・一%
小樽	四	三六	八四・七%	〇	九〇・三%
東京府	三	三〇	八四・四%	一	七九・二%
津	三	二五	八四・四%	〇	九四・一%

第六〇地區一二月出席平均率八四・二%

仙台	四	四五	八四・一%	〇	八四・九%
東京	五	一九七	八三・四%	〇	七九・五%
福岡	五	五二	八二・五%	〇	八二・二%
名古屋	四	六三	八二・二%	〇	八三・二%
神戸	四	六四	八〇・九%	〇	八二・八%
長崎	五	二八	七九・三%	〇	八〇・四%
旭川	三	三三	七八・八%	〇	七八・九%
倉敷	五	二三	七八・六%	〇	七五・八%
小倉	四	三〇	七七・五%	〇	八〇・八%
熊本	四	四一	七六・八%	〇	八〇・五%
高松	四	二八	七六・八%	〇	七七・〇%
岡山	四	二八	七六・一%	〇	！
門司	四	三四	七五・八%	〇	八〇・四%
金澤	五	三七	六九・二%	〇	七九・八%
甲府	四	二六	六九・二%	〇	八一・七%
盛岡	四	二二	六七・一%	〇	七五・〇%
合計	一、六三一	八四・二%	八五・三%		

九月の八五・六%から十月の八五・三%、十一月の八四・三%と順次氣
 盛と平行して出席率を下るのは心許ない。特に月平均六〇%台のクラブは
 大に馬力をかけられたい。ロスター。クラブは第一線に動く忙しい人は
 かりの寄合であります。忙しい中を奮力めて出席しているのであります。

ミーキアツプ
補頭の制度をフルに利用して下さい。出席なくしてロータリーの活動
はあり得ない結を特に力説勧奨せられたい。お願いします。

追て本言が大へん遅れましたことを深く御詫いたします。

(終)

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 60
TOMOTAKE TESHIMA
27 Shinanomachi, Yotsuya P.O., Tokyo, Japan



No. 7 48 CLUBS - 1847 MEMBERS JANUARY 16 1951

昭和二十六年一月十六日

ロータリー・インタナショナル第六〇地区

ガヴァナー 手 島 知 健

第六〇地区

ロータリー・クラブ会長・幹事 殿

謹 賀 新 年

我邦のロータリーは解散前一九四〇年の最盛期に於て滿洲、朝鮮、台湾を含む地域に四八のクラブと二、〇〇〇人の會員を擁していましたが、今は日本本土に限られたこの狭隘なる土地に而も復歸後一年九ヶ月に過ぎずして既に同数のクラブを有することとなり、戦前に會て見られざりし眞剣味を以てロータリー精神の普及發展に努力さるゝ一、八〇〇を超えるロータリアンを有することになつたのは、今日ロータリー運動が日本の現狀に最も適切で必要であることを立證するものであると意を強うする次第であります。爰に一九五一年を迎え皆様と共に新たなる決意と勇氣と信念を以て日本に於けるロータリーの眞の發達進展を期したいと思います。それには會員の一人一人がロータリーの正しき理解と氣紛れでない興味を持たれるよう指導育成することであり、この點に於て當事者たる會長、幹事、其他の役員および委員諸

君の昨年のそれに劣らざる工夫と協力と支授とを懇請する次第であります。日本に於けるロータリー・クラブは前述の通り四八に達しましたがまだ人口一〇萬以上の都市でロータリー・クラブのないところは川崎、横須賀、尼崎、堺、呉、八幡、下關、大牟田、佐世保、鹿兒島、富山、布施、高岡、千桑、川口、宇都、秋田、浦和、宇都宮、と一九もあり又この外に縣廳所在地でクラブのないところは青森、水戸、福島、前橋、長野、鳥取、松江、山口、佐賀、大分、宮崎、など一ありあります。市制を施しているところは全國で二五二もあるのですからまだまだ發展の餘地は充分あると思ひます。内容の充實と同時に新クラブの増設についても此上とも御協力をお願いする次第であります。

一、ローイ・パーマー記念獎學金

會長宛本信に添付した寫の通り國際ロータリー第二一三地區國際獎學計劃委員長ロイド・ホリスター氏より一二月一四日付で來狀がありました。それによれば本年度の同地區獎學金は日本の留學生に與へられるということです。之れは昨年五月三〇日任期中に飛行機事故の爲め不慮の死を遂げた第二一三地區ガヴァナーのロイ・パーマー博士の記念として企てられたもので、今回特に日本の留學生招聘と定められたのはローイ・パーマー博士が生前、日本のロータリー發展に異常の關心を持たれていたことに起因する。一九四九年六月レーキ・ブラシツドで私は始めてパーマー氏と知り合いになり爾來交通を續けていたのであるが、昨年六月再會の期待は裏切られ私がシカゴに到着する約一〇日前に不慮の災難によつて死去されたのであつた。而して友人達は故人の意思を付度してこの快舉となつたのであります。

第二一三地區のこの國際獎學計劃は已に過去五年間實行せられ國際親善に對するその特異性はロータリー關係者間に世界的に認識せられているものであり、従來この計劃の下にSEEDBENE QUESTSとして招待せられたるものはテラー、ブラジル、ウングワイおよび英國からで一九四五―五〇年度はペルーからであつた。この獎學制度により日本よりシカゴまでの往復旅費、シカ

ゴ市郊外のエダアンストンに在るノースウエスターン大學に一年間在學する學費並に生活費が支給される。このロイ・バーマー記念獎學生を受けると同時に第二一三地區内のロータリアンと交歓する日本人學生の選抜は第六〇地區ガヴァナーなる私に一任されたのであり、その資格および條件は左の通り

一、學生を男子二五歳以下の獨身者に限る。英語の讀話に優秀なる能力を有するものたることは絶対に必要にて、この點に付て最も嚴格なる試験を経たるものなることを要す。

二、GRADUATE STUDENT たる資格を有するもの即ち四年以上の大學課程を終了したるものにて、學業成績優秀なるものに限る。研究科目は經濟、歴史、教育、社會および政治の各學科に限る。一九五一年九月二

四日大學入學登録に間に合うよう到着することを要す

三、大學寄宿舎の一室に他のアメリカ人學生と同居生活することを要す

四、大學に於ける第一學期にて パンパツク・スピーキング の科目を取ることを要す

五、米國國務省の入國許可を得たるものなることを要す

六、在學中時間を見計らい必ず地區内六六のクラブを歴訪しその會員に口本に關する談話を行うことを必要とする

七、學生銓衡に當りてはノースウエスターン大學々生および第二一三地區のロータリアンに對する親善使節として日本を代表し得る人物を選抜する必要がある

八、大學科課程了直後日本に歸還し第六〇地區の各クラブを歴訪し、滯米中會得した事柄をその會員に報告することを要する。但しこのクラブ歴訪に對する費用は第六〇地區で賄ふこと

等であつて第二一三地區のロータリアンはこの獎學基金計劃が兩地區内のロータリアンの間の理解を深め親善を増すことの甚大なるべきことを期待している、といつてゐる。

さてこの選抜の方法に付ては上記の資格および條件以外は、御承知のロータリー財團獎學生銓衡の方法に準じます。但し提出書類は二通とし履歴書、

學業證明書、健康診断書その他いづれも和英兩文にて認め二通宛提出のこと。
各クラブより候補者一名宛御推薦を願ひその期日は三月三十一日限りとし、
四月五日東京に於て地區委員によつて決定のこと。候補者の旅費その他は推
薦クラブの負擔たるべきこと。地區銓衡委員は追て御返書申し上げますし場所
も御通知いたします。

どうぞロータリー使節として恥かしからぬ英語に堪能な、人格の高潔
な、好ましき若人を御推薦下さい。

尙御参考までに第二一三地區というのはシカゴ市を含むイリノイス州の北
部地域の六六クラブを統轄してしまして、そのガヴァナーはモリソン・ロー
タリークラブのオットー・シユワインペーガー氏であります。

二、第六〇地區會員名簿

過般京都クラブ理事森田二郎氏の御盡力を煩して完成した第六〇地區會
員名簿は大方の好評を博して利用されていますが最早殘部も少くなりました
ので若し御用がありましたらこの際至急御申出下さい。

同名簿編纂後の異動並にその後加盟された各クラブの名簿は右の追加とし
て刊行したいと思つておりますが、この種の書物の欠點として常に異動のあ
る會員を對象としている爲締切つても校正中に削除追録を必要とするに至る
難があつて困るのですが、不取敢來る二月一日現在で締切りますからその日
の現状を御通知下さい。右名簿に採録されていない新會員名（職業分類、住
所、電話、關係先名、アドレス及び電話）および退會者名を御通知願います。
昨年一〇月以后に加盟承認を受けた新クラブは二月一日現在の會員名簿をお
送り下さい。尙この件に付ての通信は凡て

京都市中京區麩屋町二條下ル 森田二郎氏
宛に願います。

尙又、誤植誤記に付て御氣付の結は右と同時に御申出下さい。出来るだけ
完全を期したいと思つています。御協力を希望します。

三、出席報告 (ATTENDANCE REPORT)

出席報告については従来毎々ガヴァナース・レターで申上げた通りであります。その後結成されたクラブもあり、勞々その要點をこゝに再録して御注意を促す次第であります。

各クラブが毎月定期的に發送する報告はガヴァナーに對する出席報告であり、毎月最終の例會後に速かに發送すべきことが規定されています。尤もメーキー・アツプなどもありますので翌月の十日迄には必ずガヴァナーの手に到達することを要求されている譯であります。殆んど毎月どのクラブかに電報で催促をしていますし、その返電が所要の數字を齎らさないために、再び往復をするような例も度々あります。

報告はなるべくシカゴ本部より受取られる MONTHLY ATTENDANCE REPORT のカードを用い、そうでない場合も、整理の都合上なるべく、ガキを使つて例會日、各例會日の會員數、出席者數および出席會員の百分率 (小數點下一位で四捨五入) を知らせて下さい。計算の方法は上記 MONTHLY ATTENDANCE REPORT の註にあります。(不相變小數以下二位まで出しているクラブもありますが是非一位でとめて頂きたい)

電信で報告する必要が生じたときは左の實例を真似て下さい。

『四ガツシュツセキ二七十一一九一二七一八九一二七一二六』
ヘイキン七五・九「コクラ」

即ち例會毎の會員數と出席者數、その月の平均百分率だけあれば、當方でチエツクすることが出来ます。なまじ電信料を節約して二重手間をかける結果にならないように希望します。

長期欠席 (LEAVE OR ABSENCE) の承認はクラブ細則第九條の註にある通り、會員資格喪失の條件とならない丈けで、出席と見做したり又は出席率の計算から除外したりするのは反則であります。

名譽會員はすべて出席の計算から除外すること

公式には個人で一〇〇%以上の出席はすべて一〇〇%とすること。一二〇%とか一五〇%とかいうことはあり得ないこと。ある例會日の出席率も一〇〇%以上はない譯であります。

例会以外は出席と見做さないこと。例へば船中にてロータリアンはかり集つてやつた會合、商工會議所とかロータリー以外の団体と合同でやつた會合等々。

出席報告は幹事の仕事であります。不在、病氣などの場合は適當の代理者が時期を違えず報告を出して下さい。

最善の方法は規定通り、毎月最終例会の翌日必ず發送すること。報告は所定のカード又はハガキを用いること。メーキ・アツプがあれば翌月十日までに着くように、電信又は速達で訂正することあります。これが一番安全で而も双方の手續と時間と費用を省くことになります。

尚、例会以外の會合でも一般に通告されているチャーター・ナイト、インタシナイ・ミーティング、家族會等の出席は必要の場合はメーキ・アツプに使つてもよろしいことにしていますが、出席報告には例会丈けが記入される譯であります。

四、ロータリー大要（一九五〇年版）

隨て御要求に應じ兼ねていました。『BRIEF FACT ABOUT ROTARY』の譯書「ロータリー大要（一九五〇年版）」が出来いたしました。何時でもお送り出来ます。代價は一部一五圓であります。御用の向は更めて御申聞け下さい。

五、ロータリー財團

ロータリー財團奨學給費生に關する委員會はシカゴ本部に於て一月二八日より三一日まで開催されます。今年度の候補者は一五七名だそうであります。將來國際大會に於て將學金の増額支出が決議されるかもしれないが、そうでない限り現在の豫算ではこの一五七名のうち九〇名前後しか給費をうけることが出来ません。

ロータリー財團でうけた寄附金は現在一、九〇二、〇〇〇弗で一、九三八年に建てられた目標には僅かに九八、〇〇〇弗不足するに過ぎない。昨年一

二月カリフォルニア州ペーカースフィールド・ロータリークラブ前会長ヘンリー・J・ブランド（HENRY J. BRANDT）氏は「ロータリーの事業の中でロータリー財団が実行している事柄ぐらゐ國際間の親善に貢献しているものは他にない」といつて單獨で二〇、〇〇〇弗を寄附された。續いて同月三〇日には同じクラブの會員フォレスト・フリック（FOREST FRICK）氏から一〇、〇〇〇弗の寄附を受けたということである。ペーカースフィールド・クラブは會員一六九名であるが、ロータリー財団への寄附金總額は三一、八六九弗五〇仙で會員一名一〇弗の割合にすると一、八八五％に當るそうである。このような大口の寄附が給女生の増員も左程六づかしくあるまいと思う。

第六〇地區ではその後名古屋ロータリー・クラブより一二名分即ち一二〇弗に當る四三、二〇〇圓の御寄附があり昨年二月の五六名分二〇一、六〇〇圓に加えて一月一日現在會員に對する一〇〇％クラブになられた譯であります。御協力に對し深く感謝の意を表します。本日現在寄附金總額は四、四四四、六〇〇圓となりました。

六、REPORT ON U. N.

國際連合情報を傳える REPORT ON U. N. は毎月シカゴ本部より各クラブ宛に送付されていますが最近某國のロータリー・クラブより送付の必要な旨の通信があつた由で問合せがありましたから、我々としてはこの REPORT ON U. N. によつて啓發されることゝ尠からず、特に小倉ロータリー・クラブの如きは別に一〇部購讀している位であるから引續き送付ありたき旨を返事しておきました。之れを國際奉仕のプログラムに利用して國運およびその活動について正しき輿論を喚起することに一層の努力を各クラブに御願いたします。

七、會員異動報告

本部通信（NEWS BROADCAST）に新會員、退會、職業分類變更、轉居等の會員異動報告が來る中に自分のクラブ名を書き洩しているのが往々あつ

て整理に因る。記入欄は完全に書込むようにとの注意がありました。幹事さんお忘れなく。

八、ロータリーの足どり

一二月一八日現在で世界のロータリー。クラブは七、二〇九、ロータリアンの数は三四三、〇〇〇名、七月一日以来の新クラブは一〇四ということである。その内には盛岡、山形、東京南、東京北、豊橋、釧路、倉敷、郡山、明石、福井、松山、室蘭の一二クラブが含まれていますから一一・五％は我々第六〇地区から出ている譯であります。

我々と時を同うして國際ロータリーに復帰した獨乙（と云つても西獨乙だけではありませんが）では昨年六月私がシカゴでそのガヴァナー、ロベント・ハッスマン氏に会いましたときクラブは二四、日本では三三でありました。一月一五日現在日本は四四、獨乙は三三であります。

九、中華民國に於けるロータリー・クラブ

第五九地區ガヴァナーの辭任により第五八、五九地區を合併して第五八地區ガヴァナーが兼辦することになりました。尙目下の同國に於ける實情に鑑み

厦門、長沙、廣東、成都、瀘江、重慶、福州、杭州、漢口、昆明、蘭州、柳州、奉天、寧波、西安、南昌、蘇州、汕頭、濟南、青島、梧州、その他二クラブ

合計二三クラブは廢止されました。従て第五七、第五八一―九地區に残存するものは

南京、北京、上海、上海西、台北、天津、香港、九龍、澳門の九クラブであります。

尙一九五一年七月一日以降は第五七地區および第五八一―九地區を廢止し、右九クラブは地區指定なきクラブとして會長の指名による ADMINISTRATIVE ADVISOR の支配下に處することゝなる筈。

一〇、RI副幹事ラッセル・ウイリアムズ氏

熱心に、忠實に、親切に、終始一貫我々のロータリーに對する仕事につき指導と、激励と、援助を與えてくれた副幹事ラッセル V、ウイリアムズ氏は一九二一年以來二九年間國際ロータリーに勤続した有能の士であるが、昨年一杯で國際ロータリーを退職せられたことは惜しみてもお餘りある次第で、過去一年有半ガヴァナーの仕事について多大の便宜を與えられたことは私の感謝に堪えないところであります。各クラブに於ても恐らく私と感と同じくせられることと思う。爰に感謝の言葉を記して同氏の長壽と健康と繁榮と幸福を祈るものである。

一二月二八月付を以て在職中最後の書翰を寄せられた中に「如何なることあるも不絶各クラブを激励してその會員にロータリー情報を提供する責任を怠らぬよう、會員のロータリーに對する興味を上記りでなく又氣まぐれでないように、又今日までの懸命の努力の九俣の巧を一簣にかくことなきよう呉々も頼む」と親切にして行届いた注意を寄贈されたことは誠に感謝に堪えない。

一一、地區大會 (DISTRICT CONFERENCE)

前信申上げた地區大會の前夜懇談會は四月六日(金)午後五時より日本工業俱樂部に於て開催します。出席を願う方は各クラブ會長、幹事および有志の方で會費は一人金四〇〇圓見當(會長、幹事の會費は各クラブ負擔が適當と思ひます)で議事は大會の運営に關する打合せと地區内の諸問題の討議であります。議題提出御希望の向は豫め大會委員に御申出下さい。なおこの懇談會は非常に有意義な會合でありますから各クラブの會長と幹事は洩れなく御出席下さるよう御願いたします。

一二、半期會員報告

(SEMIANNUAL REPORT OF CLUB MEMBERSHIP)

一月一日現在の會員數を報告する半期會員報告は前信でお願ひして置きました。但し私の手許に一七通到着いたしました。出来る丈け直に御送り下さる。

尙フィスカル・エジエントの小林雅一氏の御報告書には必ず記入された金額に對する送金小切手を一緒に御送り下さい。報告書だけであつたり、小切手だけであつたりする爲めに整理上困るといふお話ですからこの點御協力を願います。尙一月末には纏めて本部へ報告の必要がありますから今月中に御送金の完了を期待しています。

一三、第六〇地區のロータリー・クラブ

本年に入りまして國際ロータリーに加盟を承認せられたクラブは

○大津ロータリー・クラブ(チャーター番號七六六六)一月二日承認

スポンサー 京都ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 二七名

會長 北川昇 幹事 中村義一

事務所 大津市上小唐崎町二 カミコガラサキチヨウ 大津商工會議所内(電四一八六)

例會 同所火曜日 一二・三〇

追て前信御報告しました新クラブの内福井ロータリー・クラブの例會日は木曜日、又帶廣ロータリー・クラブの會長は官本來治氏、幹事は相澤正美氏であります。

一月五日現在の當地區内クラブ名簿は幹事宛の本書に添付いたします故御利用下さい。

一四、一二月中の出席記録

クラブ名	例會數	會員數	一二月中出席率	例會數	一〇〇%	一月中出席率
岡山	五	三一	九四・二%	〇	〇	九〇・三%
横濱	四	四七	九二・五%	〇	〇	九〇・二%
須路	四	二六	九二・四%	〇	〇	九三・一%
福岡	四	五二	九二・三%	〇	〇	八二・五%
京都	四	七八	九一・七%	〇	〇	八八・一%
濱松	四	三二	九一・四%	〇	〇	九一・四%

旭川	三	三三	九〇・九%	一	七八・八%
今治	四	三四	九〇・三%	〇	九四・五%
札幌	四	四八	八九・八%	〇	九〇・一%
山形	四	三一	八九・五%	二	九二・七%
名古屋	三	六五	八九・三%	〇	八二・二%
四日市	四	二二	八八・七%	〇	八八・一%
西宮	四	二六	八八・五%	〇	八九・五%
函館	四	二五	八七・八%	一	八七・九%
神戸	四	六七	八六・八%	〇	八〇・九%
門司	四	三四	八六・八%	一	七五・八%
仙台	四	四七	八五・九%	〇	八四・一%
小樽	四	三六	八四・八%	〇	八四・七%
倉敷	四	二三	八四・八%	一	七八・六%
岐阜	五	二六	八四・六%	〇	八九・九%
大阪	五	九五	八四・四%	〇	八六・八%
徳島	四	三一	八四・一%	〇	八七・九%
高知	四	二四	八四・〇%	〇	八五・〇%

第六〇地區一二月中出席平均率 八三・八%

豊橋	四	二三	八三・七%	〇	八四・八%
静岡	四	三六	八三・四%	〇	九一・〇%
一宮	四	二四	八三・三%	〇	九〇・六%
新潟	四	二八	八三・〇%	〇	八六・六%
明石	四	二三	八二・六%	〇	
廣島	四	四二	八二・三%	〇	八八・一%
高松	四	二八	八二・一%	〇	七六・八%
東京	四	一九四	八一・八%	〇	八三・四%
津	四	二七	八一・三%	〇	八四・四%

甲府	四	二六	六五・四%	〇	六九・二%
郡山	四	二八	七二・三%	〇	七六・一%
盛岡	四	二三	七二・九%	〇	六七・一%
室蘭	二	三二	七五・〇%	〇	1
金澤	四	三七	七六・四%	〇	六九・二%
松山	三	三〇	七六・七%	〇	1
小倉	四	二九	七七・三%	〇	七七・五%
長崎	四	二八	七七・七%	〇	七九・三%
東京南	五	三〇	七八・〇%	〇	八四・四%
福井	四	二八	八〇・三%	〇	1
東京北	四	三一	八〇・三%	〇	八八・三%
姫路	四	三一	八〇・七%	〇	八六・〇%
熊本	四	四一	八一・一%	〇	七六・八%
合計	一、七五二	八三・八%	六	八四・二%	

一一月の八四・二%より更に低い八三・八%であつたことは暮とは申作ら
遺憾であります。一陽來復と共に大に努力しましょう。

(終)

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

幹事殿



Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 60
TOMOTAKE TESHIMA
27 Shinanomachi, Yotsuya P.O., Tokyo, Japan



No. 8 48 CLUBS - 1880 MEMBERS FEBRUARY 17, 1951

昭和二六年二月一七日（第八信）

國際ロータリー第六〇地區

ガヴァナー 手島 知健

第六〇地區

ロータリー・クラブ會長・幹事 殿

拜啓

一、ローイ・パーマー記念奨學金

國際ロータリー第二一三地區より申出られたローイ・パーマー記念奨學金を受け、ノースウエスタン大學に一年間留學できることになる日本學生の候補者は、各クラブより三月三十一日限りガヴァナーへ推薦を願うことに申上げておきましたが、その銓衡は

四月五日（木曜日）午前一〇時より

東京都千代田區丸ノ内一ノ二（東京驛前）

日本工業俱樂部

にて行います。候補者の旅費その他は推薦クラブ負擔にて右日時に出頭させるようお願いいたします。

候補者の資格はガヴァナーズ・レター第七信（一月一六日付）に記載してある通りであります。尚詳しくは各會長宛同狀添付の來狀寫を御参照下さ

い。その際申上げた通り、ロータリー使節として恥かしからざる、英語に堪能な、人格高潔なる、好ましき若人であることを必要とします。

銓衡に當る地區委員は、ガヴァナーの他、左の七氏にお願いいたしました。

カール 且・ポーリンジャー氏（東京）

ハロルド W・ハックケット氏（東京）

北澤 敬二郎氏（大阪）

小林 雅一氏（東京）

松方 義三郎氏（東京）

大澤 善夫氏（京都）

東ヶ崎 潔氏（東京）

右各位は御多用中御迷惑でありますがこの大任をお引受け下さるよう重ねてお願いいたします。

二、クラブ役員改選について

去る一二月二十九日付ガヴァナーズ・レター第六信で申上げました通り、各クラブの次年度役員選挙は三月一杯に決定するよう既に御手配済みと思いますが、なお各クラブの定款第八條第三項と、細則第一條第一―三項の規定を御参照下さい。又細則第一條第一項の役員の数にクラブによつて異つています。第六〇地區内のクラブは(a)七名、(b)七名の外に直前会長が職権により(BEX OFFICHO)加はる、(c)八名、(d)八名に直前会長が加はる、の四種類であります。この内a又はcのクラブで、現會長に引續き理事をつとめて頂くことが望ましい場合は、その七名又は八名の一員として現會長を選挙することにいたします。幹事、會計が理事でない場合は職権により理事會の構成員となる。サージェント・アット・アームズは原則として理事でないことになっております。役員は原則として毎年交替することになっておりますが、幹事は重任する場合が盛々あります。新しく役員に選ばれた方は、クラブ定款及細則（パンフレット一二號）、會長必携（同八號）、幹事提要（同九號）および會員資格と職業分類（同一七號）を必ずもう一度よく読んで下さい。これらの

書物は何時でも御注文に感じます。

尙又、幹事に申し上げます。新役員決定の上は速かに本部に報告すると同時に必ずガヴァナーに御通知下さい。

三、ロータリー財団奨學生と寄附金

一九五一/二年度のロータリー財団奨學生候補者として東京、東京北、東京南の三ロータリークラブから共同推薦された聖心女子大學生中村貞子さんは、シカゴ本部に於ける銓衡の結果は出度くその選に入つたことが一月三一日付で公式に通知がありました。これは申す迄もなく中村さんの資格が充分あつた結果には相違ないのでありますが、第六〇地区のロータリアンの熱心な後援があつたことは争うべからざる大きな蔭の力となつたものと思ひます。一九五〇/五一年度に清水長一君を出し又こゝに中村貞子嬢をロータリー使節としてアメリカに送ることを得ることは、ロータリアンとしてのみならず日本の名譽であります。どうか中村さんが所定の條件を充たしてこの榮冠を得られ我々の期待に沿つて使命を全うされることを皆様と御一緒に祈ります。

カリフォルニア州メンローパークのロバートJ・O・ピュトー (ROBERT J. O. BUTOW) 氏は一九五〇/五一年度の日本留學ロータリー財団奨學生であります。渡航許可の問題などで非常に遅れていましたところ夫人同伴アンドリュウ・ジャクソン號で去る二月三日サン・フランシスコを出帆したそうですから一七、八日頃には横濱に着くことと思ひます。東京大學で研究する關係上東京三クラブの御世話になる場合が多いと思ひますが、兎にかくアメリカよりの最初のロータリー學生でありますから東京以外のロータリークラブでも出来るだけ親切に世話をされて、親善使節としての使命を達成する機会をお與え下さい。尚ブエトー氏の各クラブ訪問については東京ロータリークラブ国際奉仕委員とお打合せを願ひます。

前信御報告後に受取つたロータリー財団への寄附金は

東京ロータリー	新入員	六〇名	二一、六〇〇圓
四日市	第二回分	八〇名五六圓	二九、〇〇〇圓
門司	第一回分	一六〇名	五七、六〇〇圓
熊本	第一回分	一〇〇名	三九、〇〇〇圓
横松	新入員	四〇名	一四、四〇〇圓
合計		四四〇名五六仙	一五八、六〇〇圓

これで門司ロータリー・クラブは一〇〇%クラブとなりました。その結果三〇の一〇〇%クラブを含む三二クラブの寄附金合計四、六〇三、二〇〇圓即ち米貨に換算して一二、七八六弗六七仙であります。こゝに重ねて各クラブの御協力に對して感謝の意を表します。

會長宛本狀に添付して THE ROTARY FOUNDATION STORY (ロータリー財團の誌) 一部お送りします。ロータリー財團の仕事は数々ある内、その第一は何といつても奨學給費學生のことであり、一九四七年より今日まで已に一九五人の若き男女學生を自國以外の國に一年間留學せしめ、その兩國間の理解と親善に資與している次第であります。ロータリーの活動はその在實上主として各クラブ獨立して、又は一地方乃至一地區のクラブの合同で行はれる場合が多いのでありますが、このロータリー財團の仕事だけが國際ロータリー全体としての活動であつて又その仕事の國際性を生かす上に於てこの方法によつて著しき功績を示しているであります。

已に御寄附をなさつたクラブは勿論、未だその運びに至つていないクラブに於ては尙ほこの小冊子によつて「ロータリー財團は何をしているか？」を御承知願ひ、今後とも引續き一層の御協力を得たいと思ひます。御承知の通り會員一名米貨一〇弗即ち金三、六〇〇圓の割で全會員分を寄附されたクラブを一〇〇%クラブと稱えています。

四、公式訪問とチャーター・ナイトとインターシティー・フォーラム

予定の通り一月二四/五日には東京北ロータリー・クラブに、又一月二五/六日には東京南ロータリー・クラブに公式訪問をいたしました。何れも熱

心にロータリー・クラブの眞の在り方に付研究されたことを感謝いたします。
二月以後の公式訪問で決定している分は左の通り

二月二六/七日 倉敷ロータリー・クラブ

二月二八/三月一日 福井

三月八日 益岡

三月九/一〇日 山形

三月十一日 郡山

二月一七日は熱海にて横浜ロータリー・クラブ主催で東京七クラブ（甲府、静岡、東京、東京北、東京南、横浜）の、二月一九日は名古屋で名古屋ロータリー・クラブ主催にて中部七クラブ（岐阜、濱松、一宮、名古屋、豊橋、津、四日市）の、又二月二四日には大阪にて大阪ロータリー・クラブ主催で近畿九クラブ（明石、姫路、神戸、京都、西宮、大阪、大津、堺、和歌山）の何れもインターシタイ・フォーラムが催されます。その他の地域にてもこの種の催しが開かれることを切望します。

又三月一七日には豊橋ロータリー・クラブのチャーター・ナイト開催の予定であることは御承知の通りであります。

五、ロータリアン・マガジン予約購読について

一月一日現在半期會員報告（SEMI-ANNUAL REPORT OF CLUE MEMBERS）は皆様の御協力によつて全部提出済となりました。それと同時に申込みされたロータリアン・マガジンの契約購読者は合計六六四名に上り、會員數一、八八〇名に對して三分の一以上となりましたことは誠にうれしい事でありまして御協力に深く感謝する次第であります。一宮（二五）、門司（三八）の一〇〇%を先頭に一〇名以上の購読者のあるクラブは東京（一四四）、名古屋（四四）、京都（四三）、仙台（三一）、東京北（三〇）、横浜（二七）、東京南（二六）、新潟（二二）、神戸（二二）、姫路、津、小樽、函根、岡山、福松、福岡、明石、豊橋、今治等二一でその合計は五九二名でありますから、あと二七クラブの合計が僅かに七二名という譯で少し心

細いと思ひます。御發見を望みます。

ロータリーアン誌がロータリー情報に著しく役立つてゐることは公式訪問の際種々申し上げた通りであります。又その讀後後の利用についても御説明した通りであります。どうかこの「我々の雑誌」を愛讀して下さい。遠からざる將來に全部のクラブが一〇〇%購讀者を持つようになることを期待します。

六、國際大會委任狀 (CREDENTIAL CERTIFICATE) のこと

來る五月二七/三一ロアトランテイタ。シテイで開催される國際大會に代表として出席される會員のないクラブは、本部より受取られた委任狀に會員數を記入し、會長、幹事署名の上ガヴァナー手許へ御送り下さい。

出席會員のある場合はその氏名と出席予定日をお知らせ下さい。適當に委任狀をお願いするよう手配します。

七、第六〇地區會員名簿

一月一六日付ガヴァナーズ。レター第七信でお願しておきました二月一日現在の追加名簿に採録の材料は已に京都森田二郎氏宛にお送り下さいましたか。若しまだでしたら至急御發送を願ひます。御通知なければ異動(入會、退會その他)ないものとして編纂が進められます。

八、カトリック教とロータリー。クラブ

新聞記事に現れたカトリック教神父はロータリー。クラブと關係を持たぬようにというローマ法王の命令に對するR.I.會長アーサー。ラギー氏の聲明書は「THE ROMAN CATHOLIC CHURCH AND ROTARY INTERNATIONAL」なる書類で各クラブへ本部から直接送られましたから、それによつて事態は判明されたこと、と思ひます。

據て御承知の通りロータリーは秘密結社にあらず。従つて何等秘密の宣誓を強要しないし、その會合、活動および記録等はすべて公開される。ロータリーはメーソンとは全然無關係である。何れの宗教又は慈善團體にも干渉し

たり又はそれに取つて知らんとするものでもない、ロータリー會員の資格として人徳、宗教又は政黨關係の如何を問はない。

従つてカトリック教職者は兎も角として信徒がロータリー會員たることに何等關係なきものと思はれる。ラヂー會長自身カトリック教徒であり又最近ロータリー財團奨學生に採用された中村貞子さんはカトリック宗の聖心女子大學生であり又自身カトリック教信者であります、これを見ても國際ロータリーが宗教關係を越境していることが判つきり分ります。

九、評 音

札幌ロータリー・クラブ名譽會員小竹文治郎氏が一月五日御逝去になりましたことは誠に遺憾に堪えません。向氏は昨年春以來病氣のためクラブの出席率低下を氣遣われ自設的に退會を申出られました。クラブとしては過去の功績に於ゆるため名譽會員に推薦していた譯であります。一昨年クラブ復活に就て大に努力されたことを親しく知つてゐる私としては殊更痛悼の念を深くする次第であります。謹で弔意を表します。

一〇、第六〇地区のロータリー・クラブ

球に假ロータリー・クラブが一月三〇日に結成されましたが今日此狀を認める迄には本誌の電報を受取りませんでした。

郡山ロータリー・クラブの會長は福内和介氏（實家業）と稱りました。函館ロータリー・クラブの事務所は函館市相生町二、五島軒内に移りました。

一月二三日現在の世界のロータリー・クラブは七、二一九、ロータリアン数は三四四、〇〇〇であります。昨年七月一日以後同日までの新クラブは一三八、その内第六〇地区のは一五でありました。

一一、地區大會代表出席者は報告の責任あり

ライオンクラブ、アツペンクラブ、ライオンクラブ、コンフェレンス、又は、ニューアール、コンベンション

に出席する協會を幸にして得られた會員諸君は、出席出来なかつたクラブの

會員諸君に對し、その感思や情報を出来るだけ詳しく報告する義務があります。特に地區大會に付ては一人以上出席された場合は下記の諸項目を分擔することも結構でありましょう。

○大會記録

- 一、代表されたクラブ數
- 二、代表されなかつたクラブ數
- 三、登録出席者數（ロータリアン、家族、その他と分けて）
- 四、この年度に結成された新クラブ數
- 五、目下結成途上にあるクラブ數
- 六、地區内のロータリアンの數

○大會事務

- 一、地區財政
- 二、國際大會提出の規程改正案^{エナクトメント}及び決議案^{レゾリユーション}に付ての討議（エナクトメントとレゾリユーションの差異の説明も加えて）
- 三、その他の決議事項

○總會

- 一、ガヴァナー報告の要點
- 二、その他の講演の要領（その各に付一、二の主要な引句も）

○グループ討議

- 一、クラブ活動の内特記すべきもの及びその發表の方法
- 二、自分のクラブに應用出来るような新案（若し異りたる人が各グループ討議に出席したる場合はその各會員により二、三分ずつ別々に報告をうけること）

○除興等

- 一、宴會
- 二、大會展示
- 三、職業^{プロフェッショナル}的^{スピーチ}者^{スピーチ}又はその他の除興
- 四、遊樂

一二、ロータリー創立第四六年記念

御承知の通りこの二月二三日はロータリー發足の第四六年記念日に當ります。各クラブはそれぞれその日を祝う適當の行事をお考えになつてゐると思ひますが、その場合各クラブ自身の活動の情報に加えて左記事項を會員は勿論一讀公衆に發表されたい。

- 一、ロータリー・クラブが一九〇五年（明治三八年）二月二三日始めてシカゴに創設せられて以來友愛、慈親並に他人に奉仕するロータリー精神は殆んど全ての國民に、その政黨や信教の如何に拘らず受容れられた。
- 一、過去四六年間にロータリーは偉大なる發展を遂げ、シカゴに於ける唯一のロータリー・クラブより世界八三ヶ國に七、二〇〇を超えるロータリー・クラブと三四四、〇〇〇に上る實業家および專門家の會員を有するに至つた最近一二ヶ月間に三八ヶ國に三〇二の新クラブが結成された。
- 一、この諸國に於けるロータリー・クラブは目的とするところは全く同一である。即ちその都市の實業家及專門家の間に友情と理解を深めること。その都市をより住み易い場所とすること。商業および専門的職業階級徳の水準を高めること。少年少女を立派な市民に仕立てること及び國際間の理解と友情と平和を招來すること。
- 一、何れの國に於てもロータリー・クラブはその都市の主たる商業と専門的職業を代表する人物を網羅している。従つて現下の如き世界的非常時に於てその都市は勿論その國に對する奉仕には特に有利な立場にある。
- 一、國際間の理解と友情と平和の招來する目的の實際的表現として、過去四年間に三五ヶ國より一九五名の優秀なる大學卒業生に對し、自國以外の國に親善使節として赴き、各好むところの専門の研究を續けさせるためロータリー財團奨學金を給與した。この一年間の奨學金は一人一、八〇〇乃至三、四〇〇磅で、今日までに支出された總額は五〇〇、〇〇〇磅を超えている。
- 一、何れの國にもロータリー・クラブがあるため留學生は勉學の傍、ロータリアンの家庭を訪ね、ロータリー・クラブの集會に出席し、それらの

人々の間に理解を深める機会に恵まれている。この奨學生は留學した國および自國に於て、永く有效な親善使節たり得ることが實證されている。

一、國際運合およびその配下の専門機構の事業について輿論を正導せんとするロータリー・クラブの爲めに、國際ロータリーとしては國際憲章條文に適切なる解説を加へたる「FROM HERBON」と、國際および配下の専門機構の經濟および社會活動を詳説した「THE WORLD AT WORK」なる出版物を發行し、已に合計二二五、〇〇〇部を世界各國に頒布した。

一、更に國際の事業およびその目的について正しき理解を持つ輿論を喚起せんがために國際ロータリーは「REPORT ON D. N.」を英、佛、西三語にて解説を編輯發行し、毎月五〇、〇〇〇部を世界各國のロータリー・クラブに配布している。この「REPORT」並にその他のロータリー刊行物は各國の圖書館、高等學校、大學、新聞社、放送局等に廣く用いられている。

一、國際ロータリーは DIESCO 及 ECOSCO の顧問となつてゐる。又國際が一九四五年結成せられて以來引領き、世界各地で行われる重要な國際會議には必ず代表者をオブザーヴァーとして出席させている。

一、商業および専門的職業を通じて社會に奉仕する機会につき理解を深めるため國際ロータリーは「SERVICE IS MY BUSINESS」と題する一四四頁の書物を發行し、已に八〇、〇〇〇部が英、西兩語で印刷頒布されている。この書物は商業および工業に於ける温かい人間關係を理解するためこの上なき名著として廣く實業家、教育家、研究所員等に愛用されている。日本語にも翻譯され「奉仕こそ吾がつとめ」として東京ロータリー・クラブによつて發行されている。

一、第四一回國際ロータリー年次大會は一九五〇年六月デトロイトに於て開催せられ、五一ヶ國の代表七、二〇〇人以上の會員と家族が出席した。一九五一年の國際大會は五月二七/三一日アトランティック・シティで開催される。

一三、第六〇地區一月中出席記錄

クラブ名	例會數	會員數	一月出席率	例會數	一二月出席率
濱松	四	三二	九八・五%	二	九一・四%
今治	四	三四	九四・九%	一	九〇・三%
小樽	四	三六	九三・八%	〇	八四・八%
釧路	四	二六	九三・三%	〇	九二・四%
豊橋	四	二六	九三・三%	〇	八三・七%
一宮	四	二四	九二・七%	一	八三・三%
山形	五	三三	九二・七%	〇	八九・五%
旭川	四	三二	九一・五%	〇	九〇・九%
西宮	四	二六	九〇・四%	〇	八八・五%
岡山	五	三一	九〇・三%	〇	九四・二%
札幌	四	四八	九〇・一%	〇	八九・八%
横浜	四	四七	八九・九%	〇	九二・五%
京都	五	七九	八八・六%	〇	九一・七%
函館	四	二八	八八・四%	〇	八七・八%
神戶	四	六九	八八・四%	〇	八六・八%
大津	四	二四	八七・九%	〇	
大阪	四	一〇一	八七・三%	〇	八四・四%
高知	五	二四	八六・七%	一	八四・〇%
仙台	五	四七	八四・七%	〇	八五・九%
東京北	四	三二	八四・四%	〇	八〇・三%
松山	四	三三	八三・四%	〇	七六・七%
四日市	四	二七	八三・三%	〇	八八・七%
新潟	四	二九	八二・八%	〇	八三・〇%
福井	四	二九	八二・六%	一	八〇・三%
第六〇地區一月中出席平均率八二・四%					
倉敷	四	二四	八二・三%	〇	八四・八%
名古屋	四	六五	八一・九%	〇	八九・三%

福廣	四	三三	八一・八%	〇	八四・六%
岐阜	四	三〇	八一・七%	〇	八四・六%
熊本	四	四一	八一・七%	〇	八一・一%
廣島	四	四〇	八一・四%	〇	八二・三%
東京	四	一九八	八一・四%	〇	八一・八%
小倉	四	二九	八一・一%	〇	七七・三%
門司	四	三八	八〇・九%	〇	八六・八%
洋	四	二五	八〇・九%	〇	八一・三%
東京南	四	三六	八〇・八%	〇	七八・〇%
高松	四	二八	八〇・五%	〇	八二・一%
部山	三	二〇	八〇・〇%	〇	七二・三%
金澤	五	三六	七九・八%	〇	七六・四%
盛岡	三	二三	七九・七%	〇	七二・九%
徳島	五	三〇	七九・三%	〇	八四・一%
福岡	四	五三	七八・七%	〇	九二・三%
静岡	四	三九	七七・七%	〇	八三・四%
長崎	四	三〇	七七・五%	〇	七七・七%
甲府	三	二六	七六・九%	〇	六五・四%
姫路	四	二三	七五・七%	〇	八〇・七%
明石	四	三五	七三・七%	〇	八二・六%
和歌山	四	三二	七三・六%	〇	1
室蘭	三	三二	六六・七%	〇	七五・〇%
合計	一、八八〇	八二・四%	六	八三・八%	

昨年九月八五・六%を最盛として一〇月八五・三%、十一月八四・二%、
 一二月八三・八%、一月八二・四%と全く気温と正比例して下降しているこ
 とは情ない限りであります。どうか一層の奮起を望みます。特に八〇%に達
 しない一一のクラブの特別な努力に期待を持っています。

(終)

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

幹事 殿



Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 60
TOMOTAKE TESHIMA
27 Shinanomachi, Yotsuya P.O., Tokyo, Japan



No. 9 50 CLUBS - 1977 MEMBERS MARCH 20 1951

昭和二十六年三月二〇日

国際ロータリー第六〇地區

ガヴァナー 手 島 知 健

第六〇地區

ロータリー・クラブ會長、幹事 殿

拜啓

一、ロータリー財團寄附金五百万圓を突破す

その後受領したロータリー財團への寄附金は

東京ロータリー	(一〇〇%)	新會員	一〇〇名	一〇〇名分	一〇〇名	三六、〇〇〇圓
姫路	(一〇〇%)		三二名	三二〇名分	一一五、二〇〇圓	
盛岡	(一〇〇%)		二四名	二四〇名分	八六、四〇〇圓	
山形	(一〇〇%)		三三名	三三〇名分	一一八、八〇〇圓	
豊橋	(一〇〇%)		二六名	二六〇名分	九三、六〇〇圓	
合計			一、二五〇名	四五〇名分	四五〇、〇〇〇圓	

姫路、盛岡、山形、豊橋の四つを加えて一〇〇%クラブは全地區で三四となりまりました。この結果今日までに頂いた三六クラブからの寄附金合計は五百万圓を突破して五、〇五三、二〇〇圓即ち米實に換算して一四、〇三六、七〇七圓となりまして、この素晴らしい成績は各クラブの不断の御協力の結果であります、厚く御禮を申し上げます。

ロータリー財團に對し米國カリフォルニア州ベーカーズフィールド・ロー

タリークラブの會員ブランド氏は二万弗、フリック氏は一万弗と天々單獨で寄附をされたことは、去る一月一六日の第七信で御知らせしておきました。最近のRI幹事通信によれば更に同クラブ會員ブランド・ジェビー (FRANK JEBBY)氏が一万弗の寄附を追加されたとのことです。第一五八地区の六〇クラブ全体が一〇〇%となつてゐる譯で、このペーカー・スフィールド・ロータリークラブだけについて云えば、會員一六九名で合計四一、九〇〇弗の寄附をされたのですから、一人一〇弗の割合で計算すると二、四七九%ということになるそうです。

なお前信に申上げておきましたロバート・ビュトー氏は二月一八日無事に横浜に着き目下東京で勉強しています。四月の大会で皆様にお目にかゝることを期待しています。

二、第六〇地区のロータリー・クラブは五〇となる

その後承認されたクラブは

○堺ロータリー・クラブ (チャーター番號七七〇六) 二月一六日承認、メンバー大坂ロータリー・クラブ、チャーター・メンバー二六名

會長 喜多源逸 幹事 六塚 正

事務所 堺市之三町大道 堺商工會議所内 (電二、一〇〇)

例 會 同 所 火曜日一・二・三〇

○水戸ロータリー・クラブ (チャーター番號七七二四) 三月一五日承認、ス

ボンサー東京ロータリー・クラブ、チャーター・メンバー二五名

會長 龜山 甚^{ジン} 幹事 石崎丈一

事務所 水戸市南三の丸一八ノ九 茨城縣連合商工會議所内 (電三)

例 會 水戸市仲町五一五 日本勧業銀行水戸支店內 (電一)

火曜日一・二・三〇

これで第六〇地区のクラブは五〇となりました。右の外長濱、呉、福島、佐世保に假ロータリー・クラブが結成され、國際ロータリーに加盟申請の手續中であります。近く承認されることを期待しています。

副同ロータリー・クラブ幹事清水一郎氏は病氣療養中のため三月一日より岩城長保氏就任、又門司ロータリー・クラブ幹事山本三郎氏は今回暫くへ帰勤のため退會、後任は中村徳三郎氏であります。

三、訃 音

旭川ロータリー・クラブ昭和九年設立當時の初代会長で現會員であつた岡田重次郎氏も去る三月一日逝去されました享年七十七、ロータリーの功績者を失ふことは誠に遺憾であります、謹で弔息を表します。

四、會 員 分 擔 金 (本部會費) の納入と大會費分擔金

國際ロータリー本部の經費を負擔するための會員分擔金 (本部會費) 一月一日納入の半年分に付ては、第六〇地區は各クラブの御協力により一月一杯に完納になりました。これについてシカゴ本部より、當然のことゝは云い乍ら二ヶ月、三ヶ月遅れる地區も同々あるが、第六〇地區のこの成績は全く賞讃に値する。フィスカル・エジエント小林征一氏の努力と各クラブの協力に深く感謝する旨の來狀がありました。こう云われると此次から遅れられませんか。是非この記録を保持することに勤めましょう。

各クラブの地區大會費分擔金 (會員一人當り五四〇圓) は繰て申上げた通り三月末日現在の會員數に對して納入を願うことになつています。御精算の上来る四月六日前後懇談會に御出席の役員の方に托して御納入を願います。

五、一九五一/五二年度 オフィシャル・ディレクトリー (OFFICIAL DIRECTORY, 1951-1952) 原稿のこと

繰て申上げておいた次年度役員 (七月一日就任) 選挙のことはそれぞれ三月中に決定を見るよう御配慮下さつていてと思ひます。その結果は出来るだけ速にガヴァナーへ御報告願います

次に、會長幹事が決定しましたら、一九五一/五二年度 オフィシャル・ディレクトリー 編纂用の原稿用紙 (幹事宛て本信に添付) に所要事項即ち

一、開會曜日、時刻、會場、

一、次年度會長の氏名、職業分類（シニア又はバスト・サーヴィス會員の
場合は前の職業分類併記のこと）、アドレス（會社又は關係先の）

一、次年度幹事 同前

一、會 員 數

一、幹事のアドレス以外の所、例えばクラブ事務所等を通信先にした場合
はそのアドレス

をなるべくタイプライターで記入して下さい。白と黄の二枚ありますが二枚。
ともガヴァナー地にお送り下さい。昨年は直接本部へ郵送して頂きましたが、
故障を防止、郵税を節約する意味で今回はガヴァナーの手許で纏めることに
いたしました。折角御協力を致します。

六、RI理事の候補者

中米及びアジア、例、ニュージーランド、南阿および他のグループに
入っていない地方リジョンよりのRI理事候補者を左記の方法により選出することに
RI理事會が極めてました。

一、毎年、上記地方リジョンの各デイストリクトのコンフェレンスに於て地區内クラブよ
りそのガヴァナーに申出のありたる候補者の内より一名を選ぶこと。
二、これらの候補者はRI幹事より理事會に提出せられ、指名の資ガイダンス料に
供せられる。

なお、この方法によつて選ばれた一九五二/五三年の理事候補者は、一九
五二年一月に開催されるRI理事會に間に合うようRI幹事に申出を要する。
従つて若し第六〇地區より候補者を出さんとすれば、四月の大會で定める必
要がある譯になります。

七、一九五一/五二年度ガヴァナー選出について

來る四月七、八兩日東京にて開かれる地區大會に於て最も重要な行事は
一九五一/五二年度ガヴァナーの選出であります。ガヴァナーの資格につい

ては本部より御受取になつてゐる「THE DISRICT GOVERNOR-HIS STATUS, QUALIFICATIONS AND DUTIES」(PAPER NO. 2051) という刷物で御承知下さつてゐる通り

一、クラブの署名ある正會は、バスターヴァイス會員又はシニア會員であつて正會員である場合はその職業分限に對し経験のないもの

二、ガヴァナーの任事に當てる時問と労力を凝注し得るもの

三、自己のクラブの敬愛と信譽を一身に集めてゐるもの

四、クラブの會長又は幹事、或はその双方を勤め又委員として働らいたことのあるもの

五、處つかの地ダイストリクト・コンフェレンス 大會アニュアル・コンベンション に参加したるもの(國際 大會)

に出席したことは必要條件ではないが望ましい)

六、ロータリー・クラブ結成の經驗を有するか又はクラブ結成の方法についての知識を有するものなること

七、特別の注意を必要とするようなクラブを助けた經驗を有するもの

八、R.I.の國際設計をおよびR.I.の主義と傳統に忠實であるべきこと

而して本年五月一九日より二六日までニューヨーク州レーキ・ブラシッドで開催されるR.I.のインターナショナル・アッセンブリー に全期間を逾じて出席することが絶対必要とされている

右の條件を具備する方があればどのクラブからでも推薦されて結成でありまして、その内より一名を地區大會で選挙する。その指ノミネート名ネームされた者が所請ガヴァナー・ノミネー(GOVERNOR NOMINEE)となり、五月二七日より三一日までアトランティック・シティで開催される國際大會で正式に選挙され、始めてガヴァナーとして國際ロータリーの役員となる譯であります。

次回のガヴァナーは出来るだけ關西地方から選出されることになりたいと思つて、大阪ロータリー・クラブにお話をおきましたところ、同クラブの初代會長であり、その後ロータリーの仕事に様々の貢獻をされた星野行則氏を全會一致で推薦されました。

星野氏は一八七〇年生れ、加島銀行事務取締役やジエネラル・モーターズ

日本支社顧問などを勤められ、經濟使節團、商工會議所代表等で海外にも度
度出られ、カナ文字會に過去三十餘年専念せられ、國語審議會の委員でもあ
りました。高論であることかどうかと感念したのでありますが、身心ともに
健全でガヴァナーの仕事は大丈夫勤まるという大阪クラブの保證があります
ので、その他の點では何ら申分のない立派な候補者であると存じています。

八、公式訪問とチャーター・ナイトとインターシティ・フォーラム

予年の通り二月二六／七日倉敷、二月二八／三月一日福井、三月八日盛岡、
三月一〇日山形、三月一一／一二日郡山の各クラブを公式訪問しました。何
れも熱心に興のロータリー・クラブの姿を見出すべく努力されたことは私の
欣慶に堪えないところであります。公式訪問の機会に盛岡、山形兩クラブか
らロータリー財函に對する一〇〇%の御寄附がありましたことは感戴に堪え
ぬところであります。篤くお禮を申し上げます。その他のクラブの公式訪問は
四月の地區大會后に行います。何れ日時は申上げますが準備はなさつておい
て下さい。

チャーター・ナイトは三月一七日豊橋クラブで行われ、會員の家族の方々
繰出の玄人も反ばぬサーヴィス振りに、三百人に近い來客は皆感戴して、そ
の郷土色豊かな催しに新春一日の清興を満喫しました。誠にロータリーにふ
さわしい會合でありました。

インターシティ・フォーラムは之れ亦已報の通り

二月一七日熱海で催された続横ロータリー・クラブ主催の東部七クラブの
會合には合計四五名の出席を見、四月六日東京大會前夜懇談會提出議案その
他について、四時間半に亘り熱心な討論が行われた。議長水谷長次郎氏、デ
イスカツション・リーダーは柳瀬省吾、小林雅一、半井清、石原係左衛門の
西氏、非常に有益な會合であつた。

二月一九日名古屋での地元クラブ主催の中部インターシティ・フォーラム
は参加クラブ七、出席者三八名、議長飯野逸平氏、「國運を中心としたアン
ダスタンディングによる平和運動」について名古屋ロータリアンで同様に名

古屋ユネスコ協力會長の游沼精藏博士の講演を聴き、デイモカッソンは佐伯卯四郎、安野謙次、熊澤龍太郎、宮嶋勅三郎の四氏リーダーとなり利四時間の有意義な會合であつた。

大阪にて二月二四日開催された地元クラブ主催のインターシティ・ジュネラル・フォーラムは参加したる近畿九クラブの七〇名の會員を以て一〇時三〇分より七時間に亘る長時間渡れも見せず、星野行勲氏の「ロータリー運動の進展」と題する講演を拝みてその前後に討議が行われ、松風憲二、泉本順三、執行作彌、谷口三樹三郎の四氏のリーダーにより所定の時間に尙不足を感ずる程の熱誠振りであつた。この種の會合を度重ねることによりロータリーの理解を深めること妙なからずと感じた。

三月二四日徳島に於て四國五クラブのインターシティ・フォーラムを備される筈。ガヴァナーも出席の予定であります。

九、R.I.理事會議事報告

去る一月のR.I.理事會ではアーサー・ラギー會長の懇切な而も詭率的な指揮の下に種々の問題が収上げられた。その内我々ロータリー・クラブの立場から肝要と忠はれる諸點は

一、米國、カナダ、英國及びアイルランド以外の地方より一九五一/五二年度のR.I.理事として左記諸氏が指名された

オランダ國ハートレム A・出・C・デグルト・ヴァン・エムンデン

フランス國アミアン ビエール・イーヴェル

普 港 ジョージ・マーデン

ドミニカ共和國 アルテュロ・リカールト

二、大 會 ンベンション に代表を出していないクラブのR.I.理事の選舉については不在役泉の形式により郵便で選舉を行うよう規程改正を立案すること

三、地 區 デイストリクト・コンフェレンス 會を毎年一〇月一日より翌年三月一五日の間に、
又、地 區 デイストリクト・アッセンブリー 會は國際大會に先ち開催すべしとの改正案をアト

ランティック大會に提出のこと。但し實行上支障ある場合はその時期の

變更を要求できることとする

四、決議委員は カウンシル オブ レジスレチア に提出される決議案かロータリー
プログラムに適合するものなりや否やの決定権を持つこと。但しクラブがその

決定に不服の場合は現任審議會に提訴しその三分の二の得票数によつて考
慮され得ることの議案をアトランティックシティ大會に提出すること

五、現任審議會制度に過激な變更を加えないこと

六、H.I. 會長候補者指名委員は委員の互選によつて選ばれることとし H.I. 理事會
の指名によらぬこととする以外現行の方法に變更を加えないこと

七、現在の各クラブの エームズ・アンド・オブジェクト・コミッティー を廢止する案を提出
すること

八、H.I. の綜合企畫委員制を廢止しその代りにプログラム計畫委員制を設ける
案を提出すること

九、ラテン語のロータリー・セツトとして提出されたものはすべて不備足
なり更に研究を重ねること

一〇、ロータリーの綱領を一つとし、現在の四綱領をこの一綱領の從屬的な
ものとする議案を提出すること

一一、一九五一/五二年度 奨學金としてロータリー財團の元本より二三五、
〇〇〇冊を支出すること

一二、ロータリー財團目的事業の達成を擴大するため一九五二年七月一日以
降 奨學金としてロータリー財團元本より三年間毎年二五〇、〇〇〇冊を支
出する案を一九五一年の國際大會に提出すること

一三、シニア會員の名稱及出席義務に關する變更案を考慮したるも結論を得
るに至らず、此に元會長會議の研究問題とすること

一四、國運旗の掲揚はロータリー旗、國旗等と同様各クラブの任意たるべき
こと。

一五、メキシコ市ロータリー・クラブの招待を受諾し一九五二年同市にて約
六、〇〇〇人の デレゲート・コンベンション を開催すること、その直前アトランテ

イック・シテイに於て インタナショナル・アッセンブリー を開催の予定

一六、ロンドン・ロータリー・クラブの招請を受諾し一九五三年五月二四日より二九日まで同市に国際大會を開催することとしたるも世評諍敵の情勢がこの約束の履行に支障なかるべきことを希望す。国際協賛會はこの大會に先ちレーキ・ブラシッドにて謝儀される

一七、佛語版ル・ロタリアン誌は一年超三〇、〇〇〇弗の損失となるを以てその發行を停止することに決定

一八、ロータリー刊行物、パンフレット等に變更を加え又アトランティック・シティー大會の記録を要約版とし、これによつて八、〇〇〇弗を節減することを事務局長に命じた

一九、財政委員はR.I. 會員分擔金（I. パー・キャピタル・ストック）を一年一八富り五〇仙の増額を勸告し、その値上げはロータリー活動の増進に必要なることは異論なきところなるも、理事會としては之れを拒否し、ロータリー計は遂行上万止むを得ざれば剰除金の使用を承認することとした

二〇、インフレーション対策としてロータリー資金の三〇%を （コンモン・ストック） 普通道株に投資することを財政委員に許可することに定めた

二一、法王の命令について検討を重ね、理事會としてはラグー會長の聲明を以て、最明瞭に、正確に而も簡潔にロータリーの立場を説明したるものとして之れを承認し、更にロータリー雑誌に發表することを命じた

○理事の中には中共をロータリーとして認めるべきことを通告せられた回もあるが、R.I. としてはこの中央の行動を公式に認めざることに極めた

○同席上の談話として、共産勢力下にある朝鮮に於てロータリーは最感の敏と見做され、會員は裁判にかけられず直ちに所刑せられた。京城ロータリー・クラブ會員四六名の内一〇名は南鮮進駐の共産軍によつて所刑せられたとのこと。但し京城より更に南部に逃避したるロータリアンは、再びロータリーの機軸を動かさんが爲めR.I. にロータリー文獻の發送を要求したること深い感銘を受けた

右は第一六〇地區（ロスマンジェルズ地方）のガヴァナー・エド・ノーウツド氏の要請によりR.I. 理事ジョージ・ウイスター氏が報告したものの、摘譯である

一〇・カトリック教とロータリー・クラブ

二月一七日付第八信でお知らせしておいたローマ教皇の命令の内に、信者はカノンの規則六八四（Canon Law 684）に添うようことの記載がありましたが、その内容は（英譯）

"The faithful who enrol in societies organized, or at least recommended, by the Church are worthy of praise; but they should beware of entering secret, condemned, seditious or suspect societies, or such as strive to withdraw themselves from the vigilance of the Church."

ところで「カトリック信者は」(一)秘密団体、(二)非難された団体、(三)治安を妨害する団体、(四)疑わしき団体および信仰の邪魔になるような団体に属することなきように」という規則のようであります。その(一)に属するものはフリーメーソン、(二)は Independent Order of Good Templars, Odd Fellows, Sons of Temperance, Knights of Pythias を指し、(三)は急進社会黨、共產黨、無黨、無政府黨を指し、(四)はSillonをいうのだということが分かりましたから御参考までに。

一一・二月の出席記録

クラブ名	例會數	會員數	二月出席率	例會數	一月出席率
濱松	四	三二	九七・七%	三	九八・五%
横浜	四	四六	九六・八%	二	八九・九%
釧路	四	三一	九三・五%	〇	九三・三%
岐阜	四	三〇	九二・五%	〇	八一・七%
札幌	四	四八	九二・二%	〇	九〇・一%
滝川	四	二四	九〇・五%	〇	八六・七%
嵐山	四	二六	九〇・四%	一	九三・三%
京都	四	八五	八九・七%	〇	八一・四%
今治	四	三五	八九・一%	〇	九四・九%

神戶	四	六九	八八・五%	〇	八八・四%
小樽	四	三六	八八・二%	〇	九三・八%
四日市	四	二七	八七・八%	〇	八三・三%
一宮	四	二四	八七・五%	一	九二・七%
山形	四	三三	八七・一%	〇	九二・七%
西宮	四	二五	八七・〇%	〇	九〇・四%
倉敷	五	二四	八六・七%	〇	八二・三%
西館	四	二八	八六・六%	〇	八八・四%
東京	四	二〇三	八六・三%	〇	八一・四%
岡山	四	三一	八六・三%	〇	九〇・三%
廣島	四	四一	八五・四%	〇	八一・四%
東京北	三	三二	八四・四%	〇	八四・四%
大津	四	二七	八四・二%	〇	八七・九%
福岡	四	五六	八三・八%	〇	七八・七%

第六〇地區一月出席平均率 八三・二%

仙台	四	四七	八三・〇%	〇	八四・七%
東京南	四	三八	八二・九%	〇	八〇・八%
徳島	四	三二	八二・八%	〇	七九・三%
旭川	四	三二	八二・八%	〇	九一・五%
名古屋	四	六五	八二・七%	〇	八一・九%
郡山	四	二〇	八二・五%	〇	八〇・〇%
大阪	四	一〇一	八二・二%	〇	八七・三%
静岡	四	三九	八一・四%	〇	七七・七%
長崎	四	二九	八一・一%	〇	七七・五%
津	四	二九	八〇・二%	〇	八〇・九%
高松	四	二九	八〇・〇%	〇	八〇・五%
門司	四	三八	七九・六%	〇	八〇・九%
小倉	四	三〇	七九・五%	〇	八一・一%

姫路	四	三二	七九・四%	〇	七五・七%
新潟	四	三八	七九・〇%	〇	八二・八%
福井	四	二九	七八・五%	〇	八二・六%
盛岡	四	二四	七八・二%	〇	七九・七%
松山	四	三二	七六・七%	〇	八三・四%
信濃	四	三三	七六・五%	〇	八一・八%
甲府	四	二九	七六・五%	〇	七六・九%
熊本	四	四一	七五・六%	〇	八一・七%
金澤	四	三六	七五・〇%	〇	七九・八%
室蘭	四	三二	七二・七%	〇	六六・七%
和歌山	四	三五	七〇・七%	〇	七三・六%
明石	四	二三	六七・四%	〇	七三・七%
堺	二	二六	六五・四%	〇	一
合計		一九五二	八三・二%	七	八二・四%

いさゝかなりとも平均率の上昇を見たことは誠に結構であります。もう一息頑張りました。今月は初めて一つも催促せずに全部の出席報告が届きました。幹事さん難有う。どうかこの調子で今後もお願いいたします。まだハガキを使つて下さらないクラブがあります。MONTHLY ATTENDANCE CARD又はハガキで是非!

一二、「ロータリーの本」

何かのわり易いロータリーの本というようなのが欲しいという聲がありますか、今治ロータリー・クラブがそれに應えて今度、「ロータリーの本」を獨力で編纂、四月の大会までには是非出版して、各クラブに二、三部宛て贈るとの話で、その熱誠と好意に深く感激している次第であります。私は原稿を一讀した丈けで何もお手傳ができませんでしたが、ロータリアンは勿論、そうでない方にも興味ある讀物と考えます。今治ロータリー・クラブでは御希望があれば増刷して貳貳(百二、三十圓位かと思ひます)で御頒けす

る用意があるとのことですから、折角御利用をお願いいたします。

一三、お詫び

どこかのクラブから青い入會申込のカードを送つて欲しいという書面を頂きましたがこれを紛失しました。申訳ありません。お心當りの回は堪ねてお申越下さい。

(終)

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 60
TOMOTAKE TESHIMA
27 Shinanomachi, Yotsuya P.O., Tokyo, Japan



No.10

54 CLUBS & 2118 MEMBERS

APRIL 20, 1951

昭和二六年四月二〇日（第一〇信）

ロータリー・インタナショナル第六〇地區

ガヴァナー 手 島 知 健

第六〇地區

ロータリー・クラブ會長、幹事 殿

拜 啓

一、一九五〇年第六〇地區大會

諸種の悪條件を克服して一九五一年度地區大會は四月六日の前夜懇談會を皮切りに、七日八日の大會を無事に終了したことは、主催地東京の三クラブの御努力の結果であつて誠に感銘に堪えないところであります。前夜懇談會の出席者は二〇四名で午後六時より九時迄多數の議題につき最も熱心に討議された。殆んどすべてのクラブが代表され、その議事の一部は大會の決議事項となつたが、大會に於ける前夜懇談會の占める重要性が更に明瞭となつたと思ふ。

大會の登録は地區内五四のクラブより會員九二二名家族五五四名の外に未結成のクラブよりのオブザーヴァー一名を加えて合計一四七七名、誠に日本にロータリーが創つて以來の大人數であり、そのお世話だけでも非常な苦心であつたことは想像に餘るところであります。上野精養軒に於ける大會第一

日は心憎き霖雨の中にも不拘、格別の混亂を見ずして登壇を完了し、又日本工業倶楽部に於ける大會第二日は會場の狹隘等のことありしも兩日とも殆んど全員が定時に集合し、緊張程に議事に参加され、その間聊かも倦怠の色を見せなかつたことは、誠にロータリーに於てのみ見られ得る光景であつたと考えます。この盛況を國際ロータリーの代表として誰か海外より來られ、親しく感激を分ち、日本のロータリーの眞剣味を見聞して貰いたかつたと思ふのは私ばかりではなかつたでしょう。

大會第一日のクライマックスはロータリー財團獎學生としてアメリカより來日中のロバート・ビュート君の巧みな日本語での挨拶、又今年アメリカへ留學する中村貞子嬢の流暢な英語の挨拶との二つでありました。晚餐に先立つ余興としてNHKの放送でお馴染の三木鶴郎とその冗談音楽劇の熱演には折柄御座席の三笠宮および同妃殿下も會員、家族と一緒に大に笑い與せられました。第二日の自由討議と研究部會は時間の割當が不足しなかつたら更に一層の効果を擧げたことと思われる。

私は全國より參會された方々が一段とロータリーを身に着けて各自のクラブへ歸られたこと、確信しています。第二日のプログラムの最後を飾る絢爛たる歌舞伎座の観劇を終えた午後十時半、始めて地區大會に出席して、ロータリー精神の發露と和氣あいたる雰圍氣に感銘を深くした地方の或る新クラブの會長は、翌日の晝自分のクラブの例會のあることを想い起し、何としてもこの感激を一刻も速かに會員に親しく傳えることが、ロータリアンとしての誇りであり自分の責任でもあると感じた彼は、急遽豫定を變更し翌日より皇居拜觀や近郊回遊の計劃を犠牲にして、タキシを飛ばし東京驛に馳け付け、終列車に身を托して歸郷したという挿話は少なからずガヴァナーを感歎せしめた。

大會後の行事としての皇居拜觀、天機奉伺は好天氣に恵まれ、大内山の翠巒の間に今を盛と咲き誇つた櫻花を賞でつゝ官内廳の特別の歡待を受け、折柄御歸館途上の兩陛下より御會釋を賜つた事は我々の忘れ得ぬ感激であろう。又前日グラント・ハイツに進駐軍將校の家庭を訪れた家族方も、その設備や

環境以外に我々に欠けていかなるものを感得して歸られたこと、確信する。ゴルフ競技、市内遊覧、東踊観覧、近郊回遊など夫々の計劃もこの二日に亘る大會の緊張を緩和するに充分であつたこと、と思う。

私はこの地區大會が傑出した成功であつたことを疑わず、その構想と實現に協力し、喜んで「株の下の力持ち」になつた諸君の一人一人に重ねて厚く御禮を申し上げます。

二、一九五一—五二年度第六〇地區ガヴァナー・ノミネー

獻て申上げている通り地區大會の主要なる事務の一つは次年度のガヴァナー・ノミネーを選出することであり、而して前信に御披露しました候補者、大阪の星野行則君が満場一致で選任されたことは誠に大慶至極であります。同君は大阪ロータリー・クラブのバスター・サーグイス會員でありまして、一九二二年に初めてそのクラブが結成されたときの會長、即ちチャーター・プレジデントであり、爾來大阪ロータリー・クラブで各種の役員を勤められた功勞者で、ロータリーのヴェテランであります。大會の席上でその勇姿に接し、その抱負を聽かれた方々は、一八七〇年生れの高齡者であるとは信じ難むるほどに矍鑠として壯者を凌ぐものがあるのを知つて心強く感ぜられたことと思う。私はこの有力なる後繼者を選擧された皆様に敬意を表し感謝を捧げるものであります。レーキ・ブラシッドの國際協議會に出席し、更にアナターの職を勤めて下さることは誠に御苦勞であります。どうか皆様の御協力と御支援によつて一段と我がロータリーの飛躍に貢献せられることを期待いたします。

三、一年間の出席率の公表と表彰

昨年三月一日より本年二月末日迄満一年間の出席率を計算した結果、三月一日以前に承認された二五クラブに就ては左記上段の通りとなりました。尙その後に承認された二四クラブの二月末までの成績は下段の通りであります。

一、濱松	ロータリー クラブ	九三・七%	一、釧路	ロータリー クラブ	九二・六%
二、小樽	"	九二・六%	二、山形	"	九〇・二%
三、横濱	"	九二・四%	三、豊橋	"	八八・九%
四、岡山	"	九〇・〇%	四、東京北	"	八七・五%
五、札幌	"	八九・七%	五、大津	"	八六・一%
六、西宮	"	八九・七%	六、静岡	"	八四・八%
七、京都	"	八九・六%	七、旭川	"	八三・二%
八、今治	"	八八・八%	八、姫路	"	八二・九%
九、一宮	"	八七・七%	九、倉敷	"	八一・六%
一〇、函館	"	八七・四%	一〇、津	"	八〇・九%
一一、徳島	"	八五・七%	一一、福井	"	八〇・五%
一二、高知	"	八五・五%	一二、高松	"	八〇・三%
一三、仙台	"	八五・五%	一三、東京南	"	七九・七%
一四、神戸	"	八五・三%	一四、帯廣	"	七九・二%
一五、新潟	"	八四・八%	一五、松山	"	七八・九%
一六、岐阜	"	八四・四%	一六、金澤	"	七八・二%
一七、名古屋	"	八四・四%	一七、郡山	"	七七・七%
一八、大阪	"	八四・三%	一八、甲府	"	七七・七%
一九、四日市	"	八四・一%	一九、長崎	"	七七・二%
二〇、広島	"	八二・八%	二〇、盛岡	"	七六・〇%
二一、東京	"	八〇・八%	二一、明石	"	七四・六%
二二、小倉	"	八〇・〇%	二二、和歌山	"	七二・一%
二三、福岡	"	七九・九%	二三、室蘭	"	七一・五%
二四、熊本	"	七八・八%	二四、堺	"	六四・五%
二五、門司	"	七七・二%			

右の内最優秀なる成績を収められた濱松ロータリー・クラブに對しては地区大會の席上表彰が行われました。どうか次の大會に於ては満一年以上になるクラブが多数殖えますから大に奮起してトロフィーを獲得せられる様希望します。

四、一九五一年國際大會と代表委任狀

各クラブの代表委任狀 (CREDENTIAL CERTIFICATE) は来る五月二七—三一日アトランティック・シテイにて開催される國際大會への出席者が持参する必要がありす。已に各クラブの出席代表に手交されましたらそれで結構であります。そうでなければ私の手許へ至急お送り下さい。尙今日迄に私が受けました二三クラブ (福井、福岡、岐阜、姫路、廣島、一宮、高知、熊本、釧路、松山、門司、盛岡、長崎、西宮、備前、岡山、小樽、大津、仙台、豊橋、和歌山、山形、横濱) の委任狀は、四月二九日渡米豫定の東京ロタリー・クラブ前會長小林雅一君に托します。委任狀は大會出席の絶対條件ではありませんが、持つていけば選舉代表 (VOTING DELEGATE) といふことになつて會長その他の役員の選舉に加はるゝことが出来るのです。委任狀なしにアトランティック・シテイに着かれた方は小林君 (宿はロタリー) の大會本部で尋ねれば分ります。を訪ねてお打合せ下さい。今后受取ります委任狀は五月一三日出發の予定の星野ガヴァナー・ノーマニーに托することにいたします。

各クラブにこの委任狀の書式が送られた以外にホテル豫約請求のカード等は發行されていません。従つて大會に出席御希望の方は直接

GERALD C. KEELER, CONVENTION MANAGER,
ROTARY INTERNATIONAL, HADDON HALL,
ATLANTIC CITY, N. J., U. S. A.

に書面を以て人数、姓名、性別及小兒同伴の場合はその年齢、到着日取、出發日取、所要室数等を御返信下さい。

本年の大會に新しい試みとしてお馴染のハイミー・キャノン氏、アンガス・ミンチェル氏等五人の元又は現 RJ 役員が主となつて "VOCATIONAL SERVICE PANELS" というのが行われることになつています。「パネル」の意味ははつきりしませんが、SERIES OF 5 LARGE PANELS, IMMEDIATELY FOLLOWED

BY 85 VOCATIONAL CRAFT ASSEMBLIES" となりますから職業奉仕に關する討論會のようなものではないでしようか。この大會には星野、小林兩君を始め

相當多數の出席者がある見込ですから大に心強く感じてゐる次第です。
尙一九五二年はメキシコ・シテイで又一九五三年はロンドンで何れも五月に國際大會が開催される筈であります。

五、ガヴァナリス・レターの高

ガヴァナリス・レターを會員全部に讀んで戴くことは誠に望ましいこととあります。去る四月六日地區大會前夜懇談會での申合で、ガヴァナリス・レターの寫を各會員に分配したい御希望のクラブは、已にこの寫を作つて會員に分配して居られる大阪ロータリー・クラブの御好意により、希望部數を申込まれ、ば早速來月より實行して貰えることになりました。各クラブとしてはそれぞれ部數を明示して大阪ロータリー・クラブ幹事露口四郎君まで御申出で下さい。

印刷費（目下の處一部五圓位のこと）および送料は請求により直接御拂込みを願います。尙好意でやつて下さることとありますから送金を滞らしたりして迷惑をかけないよう線めお願いしておきます。

各クラブより必ず申込んで下さい。黙つていても當然送つて貰えるようにお考違ひがあるといけなと思つて爲念申上げます。

六、第六〇地區のロータリー・クラブ

前信以後國際ロータリーに加盟を承諾されたクラブは左の四つでありまして、之れで當地區内のロータリー・クラブは五四となりました。昨年七月一日以降の總括は復活七、新設一四合計二一クラブであります。

○福島ロータリー・クラブ（チャーター番號七七三四）三月二三日承認

スポンサー 東京及仙台ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 二九名

會長 岩 永 幾太郎 幹 事 安 藤 賢 吾

事務所 福島市大町五八 ナカゴウ 中合百貨店內（電・一二〇）

例 會 木曜日一・二・三〇 福島市上町五九 ウツマチ 福島電鐵ホーム

○長濱ロータリー・クラブ（チャーター番號七七三五）三月二三日承認

スポンサー 京都ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 二五名

會長 三浦 潔 幹事 中川 一夫

事務所 長濱市神戸町八^{イッパドテヨウ} 長濱商工會議所内（電二五六）

例会 月曜日一二・三〇 同 所

○佐世保ロータリー・クラブ（チャーター番號七七四五）三月三〇日承認

スポンサー 福岡及長崎ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 二三名

會長 田中 丸善^{セン} 幹事 小出 憲一

事務所 佐世保市榮町五〇 佐世保玉屋内（電四一五一）

例会 水曜日一二・三〇 佐世保榮町五三 玉屋レストラン

○呉ロータリー・クラブ（チャーター番號七七五一）四月四日承認

スポンサー 広島ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 二七名

會長 笠^{フツ} 潤一郎 幹事 新^{シン} 原 鐵次郎

事務所 呉市中通九丁目 呉市信用組合内（電三一九〇）

例会 木曜日一二・三〇 呉市中通八丁目 光^{ヒカリ} 燕^{ツツ}

呉市は広島ロータリー・クラブの地域でありましたが定款變更をして呉クラブに割譲したものであります。右の外大分と川崎と長岡に假ロータリー・クラブが結成され目下國際ロータリーに加盟方手続中であります。

門司ロータリー・クラブの事務所は門司市榮町二丁目門司商工會議所内

（電二三八〇）に移轉しました。

尙從來新クラブに對してはチャーター傳達の際壁掛用特別印刷のロータリー四綱領と共に「A MESSAGE OF WELCOME」即ち歡迎の辭と題する小冊子を贈呈していましたが右は殘部が無くなり増刷の計畫もないので差上げられないことになりました。就ては今後スポンサー・クラブ乃至隣接の都市のクラブよりチャーター・メンバーに對し贈物をするような場合は「ADVENTURE

IN SERVICE " (一部五〇仙) を利用されることをお勧めするよう本部から
來信がありました。

三月二七日現在世界のロータリー・クラブは七二七〇、會員三四六、〇〇
〇名、七月一日以來の新クラブは一九三、その内一九卽約一〇%がわが第六
〇地區の分であります。

七、一九五一—五二年度クラブ役員

先般各クラブで選舉されました次年度役員の内、會長および幹事に對して
は左の文獻が本部より送られます。

〇會長あての分

" MR. PRESIDENT: 1951-52 IS YOUR YEAR "

この内にはハン

レット第八號 " YOUR YEAR " 一部を委員指針が二部入っています。一部
は會長用で綴じてあり他はハーン・ソーンで各委員長に分配されるように
なっています。

〇幹事あての分

パンレット第九號 " MANUAL OF INFORMATION FOR CLUB SECRETARY "

パンパー第二二二號 " KEEPING CLUB RECORDS "

パンパー第一二五號 (E H) " A BUDGET FOR YOUR CLUB "

" LIST OF AVAILABIE PROGRAM PAPERS "

" MONTHLY ATTENDANCE RECORD CARDS " 一年分一綴 (毎月ゼザアナリーに
送る出席報告用書式)

現任幹事に申し上げます。右の書類が到着したら直ちに次年度會長および幹
事に手交することを忘れぬ様願います。尙右の書類の内パンフレット第八號
は「ロータリー・クラブ會長必携」として又第九號は「ロータリー・クラブ
幹事提要」として邦譯が出版されています御利用下さい。御用の向はガザア
ナリー又は地區資金委員柏原孫左衛門氏 (東京都中央區京橋一丁目四番地柏原
洋紙店) へ御申越下さい。

八、DATA FOR 1951-52 OFFICIAL DIRECTORY

この役員名簿原稿は本館を認めている時までには左記のクラブから未だ到着していません。至急お送り下さい。

福井、室蘭、徳島、津、四日市

尙前年度役員が重任した場合でも会員数など前回分に比べて異動がある譯でありますから全然異動のない場合でもこの原稿は必ず御送り下さい。

追て一九五一—五二年度會長と幹事の氏名を明かにする爲め四月一日現在で第六〇地區ロータリー・クラブ名簿を作り、去る四月六日の大會前夜懇談會で各クラブに一部ずつ差上げましたが、誤謬がありましたので訂正の上幹事宛本信に添付お送りします。茲に差上げた分を直しておいて下さい。但し右會長幹事は何れも来る七月一日就任します故、六月末日迄は従前の名簿を御利用下さい。

九、チャーター・ナイトと公式訪問とインターステイト・フォーラム

左の通り公式訪問を決定しました

四月二五日 / 二六日	豊橋
四月三〇日 / 五月一日	松山
五月二日	明石
五月一三日	和歌山
五月二七日	長濱

チャーター・ナイトは左の通り各クラブで計畫されています。

五月七日 大津。同八日 堺。同一〇日 福井。同一二日 和歌山。
同二六日 長濱。

徳島クラブ主催の四國インターステイト・フォーラムは去る三月二六日午後二時より四國五クラブの参加を得て開催され、約四時間半に亘り活潑なる意見の交換が行われ、参加者約三五名、ロータリー全般の問題を討議しました。特に地元クラブ會員諸君の啓發に資するところが多かつたと思う。

一〇、少年週間

少年週間即ち BOYS & GIRLS WEEK は米國及びカナダに於ては昨年
から NATIONAL BOYS AND GIRLS WEEK COMMITTEE (全國少年週間委
員)なるものがあつてその行事として行われたのでありますが、その委員は
已に解散しました爲め、今年は國際ロータリーの仕事としてこれを受け継ぎ、
各ロータリー・クラブを通じ四月二十八日より五月五日までの間にこの「少年
週間」を行うことになつています。

社會奉仕が主として次の時代を脊負うべき青少年男女を對象とすることが
強く主張されている折柄でもあり又五月五日は我國の小供の日でもあるので
各ロータリー・クラブがこの週間に適當な行事を企てられることを希望いた
します。

一一、訃音

神戸ロータリー・クラブ一九四九―五〇年度會長鈴木岩藏氏は四月四日逝
去されました。神戸クラブのチャーター・メンバーであり旁々惜しいロータ
リアンを失いました。誠に惋惜痛悼に堪えません。謹で弔意を表します。

一二、フィスカル・エジエントの銀行口座

第六〇地區フィスカル・エジエントは東京都中央區銀座西五丁目三番地、
内外編物株式會社 小林雅一氏であることは御承知の通りであり、^{バンクヤビタ}會
員分擔金その他すべての送金は同氏宛てに願つていますが、銀行振替勘定を利用す
る向は千代田銀行本店又は帝國銀行有樂町支店の何れも小林雅一氏勘定に振
込まれることが御便宜と思ひます。但し別に書面で小林氏に拂込の通知をさ
れることは必要であります。

一三、「會員資格と職業分類」(パンフレット一七號邦譯)

右冊子の第三〇―三一頁「新會員の推薦及び選舉手續に於ける十四段階」
の内第七、八、一一、一二の各項が訂正されたことは爰にガヴァナース・レ

ターで御通知した通りであります。この訂正の貼込が出来ております故各クラブ及びその会員がお持ち合せになつてゐる右パンフレットの部数を御通知下さればお送りします。御申越し下さい。(こゝに添付したのは貴クラブ備付の分に貼込んで下さい)。

一四、クラブ会員異動について

各クラブの会員の異動即ち入會、退會、職業分類の変更又は會員資格の変更などはそれぞれ所定の書式によつて直接シカゴ本部へその都度通告をすることになつてゐます。恐らくどのクラブも實行していただけることと思ひます。本部では世界中の七二〇〇有餘のクラブの會員を常に UP-TO-DATE になつてゐるようカード式に整理されてゐます。従つて此通知を怠ることは本部の整理を不可能にする譯でありますから、必ず異動報告を即時發送するよう又その記入は明瞭に願ひます。日本人の名とか地名とかは我々には判讀出来る場合が多いが本部にはそれは望めませぬ。御協力をお願いします。

同時にガヴァナーは各クラブの會員名簿をこれ亦 UP-TO-DATE に保つことが肝要であります。そのためにはローマ字綴り丈けでなく、漢字の氏名、町名、電話番号は勿論職業分類、關係先及役名等詳細に知つていなければならぬ譯でありますから、毎月末出席報告をする際の月中の異動の明細をも總めてガヴァナーに提出するようお願いいたします。各クラブ特に大クラブ幹事殿の御協力を望みます。

一五、ローイ・パーマー記念奨學生

シカゴを中心に北イリノイス州の六六のクラブを包括する R.I. 第二一三地區より申出でられたローイ・パーマー記念奨學金を受け、ノースウエスターン大學に一年間留學でゐることになる、日本學生ロータリー使節の候補者を詮衡しました結果、東京ロータリー・クラブ吉田會長の推薦された慶應義塾大學本年度卒業生鈴木忠雄君(二一才)を推挙することになりました。同君は東京ロータリー・クラブ會員鈴木三千代君の令息で、偶々ロータリアンの子

息がこの選に入つたことは偶然とは申乍ら誠に嬉しいことでありませう。勿論第二一三地區委員に於ても此推薦に異存はないと思ひますが目下連絡中でありませう。どうか忠雄君が目下出度この奨學金を受けて渡米し、使命を全うしてロータリーの爲め又日本のために大に活躍して下さいことを期待します。同時にこの詮衡委員として御協力下さつた方々に此機会に厚くお禮を申し上げます。

一六、ロータリー財團寄附金

第九信報告後に受領したロータリー財團寄附金は

岐阜	ロータリー	(一〇〇%)	追加	四名分	四〇弗	一四、四〇〇圓
京都	クラブ	(一〇〇%)	追加	一八名分	一八〇弗	六四、八〇〇圓
松山	"	"		一六名分	一六〇弗	五七、六〇〇圓
東京	"	(一〇〇%)	追加	五名分	五〇弗	一八、〇〇〇圓
旭川	"	(一〇〇%)	追加	五名分	五〇弗	一八、〇〇〇圓
合						四八〇弗一七二、八〇〇圓

であります。引續き各クラブよりの熱心な御協力に對しては深く感謝していただきます。今日までの寄附金合計は五、二二六、〇〇〇圓米貨にして一四、五六、六七仙に當ります。

一七、第六〇地區三分出席記録

ロータリー	例會數	會員數	三月出席率	例會數	二月出席率
濱松	四	三二	九八・五%	三	九七・七%
京都	三	八五	九二・五%	〇	八九・七%
豊橋	五	二六	九〇・〇%	〇	九〇・四%
水戸	二	二五	九〇・〇%	〇	
小樽	四	三五	八九・五%	〇	八八・二%
高知	四	二四	八九・五%	一	九〇・五%

山形	三	三二	八一・三%	〇	八七・一%
福井	五	二九	八一・四%	〇	七八・五%
廣島	四	四五	八一・六%	〇	八五・四%
名古屋	四	六四	八二・一%	〇	八二・七%
第六〇地區三月出席平均率八二・九%					
金澤	四	三八	八二・九%	〇	七五・〇%
大阪	五	一〇一	八三・〇%	〇	八二・二%
帶廣	三	三三	八三・八%	〇	七六・五%
旭川	五	三一	八三・九%	〇	八二・八%
長濱	一	二五	八四・〇%	〇	八二・八%
四日市	五	二八	八四・二%	〇	八七・八%
函館	五	二八	八四・三%	〇	八六・六%
倉敷	四	二四	八四・四%	〇	八六・七%
徳島	三	三五	八四・八%	〇	八二・八%
岡山	三	三一	八七・一%	〇	八六・三%
東京	三	二〇八	八七・一%	〇	八六・三%
岐阜	五	三〇	八七・三%	〇	九二・五%
神戶	五	六九	八七・六%	〇	八八・五%
今治	五	三五	八八・〇%	一	八九・一%
東京北	五	三五	八八・一%	〇	八四・四%
西宮	四	二六	八八・五%	〇	八七・〇%
高松	五	三〇	八九・〇%	〇	八〇・〇%
釧路	五	三一	八九・〇%	〇	九三・五%
仙台	四	四八	八九・〇%	〇	八三・〇%
札幌	三	四九	八九・一%	〇	九二・二%
一宮	五	二四	八九・二%	一	八七・五%
橫濱	四	四六	八九・二%	〇	九六・八%
明石	三	二六	八九・四%	〇	六七・四%

福岡	三	五九	八〇・八%	〇	八三・八%
門司	五	三七	八〇・八%	〇	七九・六%
小倉	五	三〇	八〇・七%	〇	七九・五%
甲府	五	二九	八〇・七%	〇	七六・五%
新潟	四	三九	八〇・一%	〇	七九・〇%
長崎	五	二九	八〇・〇%	〇	八一・四%
東京南	五	四〇	七九・七%	〇	八二・九%
津	五	三四	七九・〇%	〇	八〇・二%
姫路	四	三二	七八・一%	〇	七九・四%
熊本	五	四三	七七・三%	〇	七五・六%
盛岡	五	二四	七六・七%	〇	七八・二%
松山	四	三二	七六・六%	〇	七六・七%
郡山	五	二〇	七六・〇%	〇	八二・五%
和歌山	四	三五	七三・六%	〇	七〇・七%
大津	四	三二	七三・四%	〇	八四・二%
静岡	四	三八	七一・七%	〇	八一・四%
室蘭	五	三一	六五・四%	〇	七二・七%
堺	四	二五	六五・〇%	〇	六五・四%
福島	一	三一	六四・五%	〇	—
合計	二、〇六八	八二・九%	六	八三・二%	

二月より更に〇・三%も下つたことは遺憾であります。七五%以下のクラ
 ブが六つもあつては中々平均率は上りません。大に奮起しましょう。

(終)

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 60
TOMOTAKE TESHIMA

27 Shinanomachi, Yotsuya P.O., Tokyo, Japan



No. 11

57 CLUBS & 2219 MEMBERS

MAY 22, 1951

昭和二六年五月二二日（第一一信）

ロータリー・インタナショナル第六〇地区

ガヴァナー 手 島 知 健

第六〇地区

ロータリー・クラブ会長、幹事 殿

拜 啓

一、ロータリークラブの近況

第一〇信以後承認されたロータリー・クラブは下記の三つで当地区内に今日五七のクラブがあることになりました。現在世界のロータリー・クラブは七、二九七、昨年七月一日以降の新クラブは二二四、その内一國で最も多く増加したのは米國を除けば日本の二四である。之れに次でカナダの一五であることはRI會長アーサー・ラグビーに對する同國民の讚^{トリビュート} 辭といえらると五月九日付の本都通信に出ていました。当地区内では五月六月中に少くとも三つ（宇治山田、千葉、富山）或はそれ以上のクラブが更に結成承認される見込であります。

○大分ロータリー・クラブ（チャーターナンバー七七七六）四月二三日承認
スポンサー大阪ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー二三名

會長 後藤 三郎 幹事 首藤 定

事務所 大分市中央通 櫻町クラブ内

例会 同所 木曜日 一二・三〇

○川崎ロータリー・クラブ(チャーター番號七七六九)四月二三日承認

スポンサー横濱ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー二四名

會長 根本 茂 幹事 畑石 輝治

事務所 川崎市堀川町七 川崎商工會議所内(電 二四七〇一七二)

例会 同所 木曜日 一二・三〇

○長岡ロータリー・クラブ(チャーター番號七七七三)四月二七日承認

スポンサー東京及新潟ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー二五名

會長 駒形 十吉 幹事 小林 友一郎

事務所 長岡市城^{シヨウナイチヨウ}内 町二ノ七五〇 小林合名會社内

(電 五七三)

例会 長岡市大手道二丁目 長岡商工會議所(電 七九)

一二・三〇

尚徳島ロータリー・クラブの例会場は東新町春秋苑(從來の場所)であります。長濱ロータリー・クラブの電話番號は五月一日より代表一、一五〇に、又東京ロータリー・クラブの電話は六月一日頃より和田倉(2)三、八八八に變更になります。

二、チャーター・ナイトと公式訪問とインターシティ・フォーラム

チャーター傳達式はその后五月七日大津、五月八日堺、五月一二日和歌山の各クラブに於て何れも盛大に行われました。それぞれ會員及び家族線掛りで心からなる款待振りを示され、大津の琵琶湖一周といふ、堺の工芸見學といふ、和歌山の名勝回遊といふ、その他心を籠めての余興を加えて來會者を搞らいたることは誠に近頃美わしき會合であつた。各クラブともチャーター!

傳達の日を記念してロータリー財團に寄附をなされ、何れも一〇〇%クラブ
 となられたことは感激に堪えないところであります。今後のチャイター披露
 會は大体左の日取で行われる豫定

五月二十六日(土)	長濱
同 二八日(月)	福井
六月 一日(金)	郡山
同 二日(土)	福島
同 四日(月)	水戸
同 七日(木)	長岡
同 一五日(金)	室蘭
同 一七日(日)	帯廣
同 一九日(火)	釧路

予定の通り四月二五日―六日は豊橋、四月三〇―五月一日は松山、五月二
 日明石の各クラブを公式訪問した外、五月九―一〇日は大津、五月十一日は
 堺、五月一三日は和歌山の各クラブをも訪問しました。何れも熱心にロータ
 リーの在り方に付長時間に亘つて研究を續けられ、將來の活動に期待を持た
 れた事に感銘しました。唯今予定している公式訪問は

五月二七日	長濱
六月 八日	長岡
同 一四日	室蘭
同 二一日	釧路
同 二二日	帯廣

であります。この各クラブは CLUB REVIEW FOR GOVERNORS VISIT
 と委員長の報告を用意しておいて下さい。

インタシテイ・フォーラムは六月二三日(土)札幌ロータリー・クラブ主
 催で北海道七クラブの又六月二四日(日)仙台ロータリー・クラブ主催で東
 北七クラブの會合が開かれる豫定で何れもガヴァナーが出席いたします。

三、ロータリー財團寄附金

その後受領したロータリー財團への寄附金は左の通りであります

東京ロータリー	(一〇〇%)	追加一名分	一〇弗	三、六〇〇圓
四日市		第三四分	七五弗	二七、〇〇〇圓
明石		第一四分	一一五弗	四一、四〇〇圓
大津	(一〇〇%)	三四名分	三四〇弗	一一二、四〇〇圓
堺	(一〇〇%)	二五名分	二五〇弗	九〇、〇〇〇圓
和歌山	(一〇〇%)	三八名分	三八〇弗	一三六、八〇〇圓

合計

一、一七〇弗四二一、二〇〇圓

今日までの寄附金合計は五、六四七、二〇〇圓で之れを米貨に換算して一五、六八六弗六七仙となり、第六〇地区二二一九人のロータリアンの七割強が出捐して下さっている計算になります。御協力に對して重ねて厚く御禮を申上げます。

四、「良民の力」

京都ロータリー・クラブは青少年への奉仕として「良民の力」と題する二四頁のパンフレットを發行して配布されたそうで、各クラブにも一部ずつ寄贈されました。非常に有益な企てだと思います。若し各クラブで御希望があれば印刷費一部二〇圓でお頒けしますとのことです。直接京都ロータリー・クラブ幹事へ御申込み下さい。

五、國際大會委任狀 (CREDENTIAL CERTIFICATE)

私の手許に到着した委任狀二七通は總て小林雅一君と星野ガブアナー・ノミニーに托送しました。各クラブから出席される方々に直接手交されたクラブも相當あると思いますが尙外に不用意に遺失又は破棄せられた向もあるように思われます。代表者が國際大會に出席されないクラブではこの委任狀の提出が必要です。國際ロータリー細則第二條會員の失格の第一項に「加盟クラブが國際ロータリー大會に相當の理由なくして代表を出席せし

めなかつた場合、理事會はそのクラブを失格させることが出来る」とありまして國際大會にクラブが代表されることは、個人會員が各クラブに出席することと同じように重要視している譯でありますから大切に取扱われることを切望します。

六、「ロータリー問答」GETTING ACQUAINTED WITH ROTARY.

PAMPHLET NO. 38 の邦譯

豫て御案内しておきました「ロータリー問答」は漸く印刷が出来て出版の運びになりました。各クラブ備付用として一部宛進呈いたします。御覽の上御用の部数をガヴァナー又は東京都中央區京橋一ノ四柏原洋紙店柏原孫左衛門氏へお申越し下さい。印刷費送料共一部五〇圓。御承知の通りロータリーに關する質疑應答集でありまして、役員、委員は勿論各會員の一讀を必要とする文獻であります。精々御利用下さい。

七、第六〇地區會員名簿追補訂正版（四月現在）

大へん延引しましたがこの程漸く印刷が出来上りましたので各クラブへは京都の森田二郎君より直接お送りしました。代價は追補訂正版一部送料共一八〇圓、八月版の名簿と併せて一組三八〇圓であります。代金はなるべく速に京都市中京區麩屋町通二條下ル森田二郎氏へ御送金を願います。

八、地區協議會 DISTRICT ASSEMBLY

星野ガヴァナー・ノムニーは去る五月一三日發の豫定のところ飛行機遅延のため一五日午前三時羽田發空路渡米されました。未だ通信はありませんが已にレーキ・ブラシッドのインタナショナル・アッセンブリー會に元氣に出席して居られることであると思ひます。恒例のデイスリクトアッセンブリー會の日取を極めないで行かれましたので皆様に豫め準備を願うことが出来ませんが、七月二八、二九兩日京都洛陽ホテルで（冷房設備があるので）開かれる計程のようであります。御承知の通り地區協議會は最も重要な會合でありまして新年度の各クラブ會長、幹事は必ず出席することを要求されている譯でありますから他の用

事を繰合せて一應この兩日をあけて置いて下さい。星野ガヴァナー・ノミネー
ーが六月中旬歸朝され次第日取を決定して通知されることと思ひます。尙副
會長、委員長等も收容力のある限り出来るだけ出席されることが望まされて
います。

九、敬 弔

廣島ロータリー・クラブ一九五一―五二年度副會長藤野七藏氏は去る四月
二五日急逝されました。惜しいローターアンを又一人失い誠に痛悼に堪えま
せん。遂かにその冥福を祈ります。

一〇、四月六日前夜懇談會申合事項について

(A) 地区を二分劃する件

大會の決議になつてゐるこの件については各クラブより次の情報を頂く必
要があります

(一) 目下結成準備中の新クラブ所在都市およびその時期

(二) 將來クラブ結成可能と思はれる都市名、致および時期の見込

將來といつても遠い將來のことは分りませんが爰一年先位までの見込を立
て、頂ければ結構であります。遅くも六月一〇日頃までに御返事を願ひます。
それによつて案を立て星野ガヴァナー・ノミネーとも協議の上國際ロータリ
ー本部に提案したいと思ひます。御協力をお願いします。返信は會長宛本信
添付の端書を御用下さい。

(B) 地区大會開催地によつてデレグレート・コンフェレンス(代表者大會)に
よる件

これに付ては本部に問合せました結果「國際ロータリーでは毎年會員代表者
クラブが大コンベンションに代表されべきことを規程してゐるだけである。代表者
家族とかその他一般の會員の出席を許すとか禁ずるとかいう規定はない。RI
細則には毎年各地区の大コンフェレンス會が催され、その大會に出席した正會員、バ
ストサーヴィス會員、シニア會員は、ガヴァナー・ノミネーの選舉以外の

ての事項に付ては、誰でも議決に加われることを規定していません。この規定より推論すれば、出来るだけ多くのロタリアンが出席することを豫期しているものであつて、大会は決して「制限付」又は「代表者のみの會合」ではあり得ない譯であります。一方ニューヨーク・シカゴ・アトランティック・シテイの如きホテルの收容力が充分ある都市以外、宿舍の心配なく會合を催し得る所は恐らくあるまい。多くの地區大會はこの理由から多かれ少なかれ出席人員に制限を付けざるを得まい。現に東京に於ける今年の第六〇地區大會も稍之れに類するものといえる。然しこれは決して「代表者」者「大會」という意味ではない。従つて地區大會に出席希望者の全部又は大部分を收容出来ないということだけでも、地區分割の考慮を必要とする原因ともなり得る譯である。故に「代表者のみの地區大會」に對してはRI理事會は越らく賛成の表現をしないで「返答であります。將來とも出来るだけ多數の出席ができるように盡力することは勿論であるが宿舍とか會場の都合上或る數以上收容不能の故を以てクラブの協力を求めることは出来得ることであろう。この意味に於て六大都市以外の土地で地區大會の開催は可能であるが「代表者のみの地區大會」の構想は不可である。と御承知願います。

(C) 地區が分割された場合の連合地區大會開催の可否について

之れは前夜懇談會の議題としては出ていませんでしたが提案説明で發言された中にありましたので一應本部の意向を訊しましたところ「RI細則第一一條第四項にRI理事會の承認を得て二又はそれ以上の地區が「連合地區大會」を開催出来る規定がありますが、かかる連合大會は理事會として決して奨励していませんのみならず、二年以上引續きこの種の會合を催すことには著しく消極的態度を取るであろう。連合大會を催すような強い要盟や意向のあることは寧ろ地區そのものの設定が正しくなかつたどの意見も起る譯である」との返答を得た。従つて將來二又はそれ以上の地區に區分された場合は地區大會は個々に開催し、何か特別の場合の外往年の第七〇、七一、七十二區當時の如き連合大會の開催は拒否すべきであります。

(D) チャーター・ナイト及他のクラブの會合には出席者の正確なる数と氏名を通知し、申込と同時に會費を前納してホスト・クラブに迷惑をかけるようにする件

之れは席上全員一致賛成されたものであるから主催者側より申出なくとも(申出しにくい場合もありますから)參加申込のクラブで進んで實行して第六〇地區の美しい慣習としたいと思います。尙申込は必ず幹事を道じてすること、個人的の申込はしないことにされたいと思います。各クラブの協力と自制を希望します。

(E) ディストリクト・ファンド 地 區 資 金 及 大 會 分 擔 金 の 徴 收 方 法 改 定 の 件

これも席上満場一致で決定されたものでありまして、今年七月一日以降毎半期會員一人當金五百圓ずつ即ち年額壹千圓を七月一日と一月一日現在員數に對し各クラブより ディストリクト・ファンド・コミッティー 地 區 資 金 委 員 に納入すること。その内一第五〇仙即ち五四〇圓は大會費用分擔金に當て残額は地區資金とすること、御承知願います。

(F) 出席競争と出席規定の件

出席規定の原則はアツタンダンス・ルールにある通り、但し從來の慣習の内(一)各クラブに通知して會員が任意に出席でき得る會合、即ちチャーター・ナイトとかインターシティー・フォーラムの如きものは地區大會、地區協議會等に準じて出席のクレディットを與える。(二)家族會、委員會等は他のクラブから任意に出席できる種類でもないし、公知でもないからこの種の會合はメーキ・アツプとしない。この二つの點と會員數によつてクラブの等級をつけないこと以外は アツタンダンス・コンテスト 出 席 競 争 の 規 定 道 り に や る こ と 。 コ ンテストは原則として大會の前月發表までの一年間完全に記録あるものに於て行う。優勝クラブには大會に於て持ち廻りのトロフィーを授與する。三回連続して優勝したクラブはトロフィーを取り切りにすること。

(G) 國定祝日に當る例會は休止すること。一月二日三日は祝日並みに扱うこと

これは當地區内一般に適用する例會休止の日であつて別に會員又は他クラ

ブに通知を要しないこと。地方的の祭日その他アツテンダンス・ルールに規定する理由による例會の休止、日取又は時刻の變更は前以て會員及び地區内各クラブに通知すること、尙祝日の例會を繰上げ又は繰下げ開催の場合も通知を出すこと。

(H) ガヴァナリス・レターの寫と第六〇地區の機關誌の件

ガヴァナリス・レター寫の件に關する打合は前信に申述べて置きました通り出来る丈け會員全部に渡る様にすること、及び大阪クラブの御好意により希望の向へは毎月所娶部數印刷の上實費を以て頒布を願うこと。又第六〇地區の機關誌發行のことはガヴァナーに於て研究してなるべく實現につとめること。

(I) 第六〇地區名簿發行のこと

已に前項に申述べてあるが、外に前夜懇談會には提案されなかつたが岐阜ロータリー・クラブの會場監督五百木一雄君の意見が同クラブの會報に出ている。即ち各クラブで調製する會員名簿は第六〇地區の名簿同様四六版で大体同じ形式で印刷出来るものか、それを送つて貰えば、重ねて整理も出来るし追加繰込みも出来る。というので誠に適切な意見と思う。各クラブが協力されれば實行可能であるし又こうなれば席上お話の出たルースローフ繰込式の名簿作製も意義があると思ひます。次項の書式規格統一の問題と同時にその委員で討議して頂きたいと思ひます。

(J) ロータリー・クラブで使用する書式規格統一の件

福岡の松田幹事よりの提案でありましたが非常に有益な仕事だと思ひますので、不取敢委員會で之れを検討し、その報告によりガヴァナーから各クラブに推薦することにしたと思ひます。就ては甚だ御面倒であります。が次の七名の諸君にロータリー・クラブ書式規格臨時委員を御願ひし、委員長には提案者である松田昌平君を煩したいと思ひます。どうか至急御協議をお願ひします。

入 交 太兵衛 君 (高 知) 國 分 賢 一 君 (東 京)
松 田 昌 平 君 (福 岡) 岡 本 信 三 君 (函 館)

佐々木 孝三郎 君 (仙台) 露 口 四 郎 君 (大阪)
 吉 田 忠 君 (京都)

(五) ロータリー・ソングの新作を公募する件

これも亦満場一致で賛成された案であります。就ては歌詞丈けを不取敢募
 集するか、曲譜も同時に募るか、懸募者はロータリアンに限るか、懸賞に關
 する條件如何等をきめるために左記五名の方にロータリー・ソング新作公募
 に関する臨時委員をお願いしたいと思ひます。その御意見によつてガデア
 ナーより公表することにいたしましたましよう。尙提案者堀内清君に御面倒乍ら委
 員長をお願いします。

萩 原 英 一 君 (東京) 堀 内 清 君 (京都)
 田 中 金之助 君 (東京) 津 田 勝五郎 君 (大阪)
 矢 野 一 郎 君 (東京)

(L) 職業分類の邦譯統一の件

これは議案として出ていりませんが席上この御要求を受けましたが、
 職業分類は各クラブにて適宜邦譯し又は英語に關係なく作られていりるものも
 ある譯で、従つてその統一は色々困難な事情もあると思ひますが、一應研究
 して見ます。就ては各クラブより左記の情報を至急ガデアナー宛御提出下さ
 い。お急ぎ下さい

會員氏名、關係先と其地位、その關係先の主たる事業、職業分類(日本語
 の)、職業分類(シヤゴ本部へ報告された通りの英語の大、小職業分類)
 を各クラブで一表に作製の上。

一一、第六〇地區四月分出席記録

ロータリー クラブ	例會數	會員數	四月出席率	例會數	三月出席率
濱 松	三	三三	九三・九%	〇	九八・五%
札 幌	四	四九	九二・四%	〇	八九・一%
函 館	四	二九	九二・三%	一	八四・三%
豊 橋	四	二五	九二・〇%	一	九〇・〇%

長濱	水戸	熊本	今治	新潟	岡山	第六〇地區四月出席平均率	高松	明石	名古屋	大津	徳島	仙台	大阪	岐阜	一宮	四日市	山形	神戸	高知	西宮	東京	東京北	釧路	東京南	小樽	横濱	京都	
五	四	四	四	四	四		四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	五	四	四	四	四	四	四
二六	二五	四一	三四	三九	三一		三〇	二六	六四	三四	三六	五〇	一〇七	三〇	二四	二七	三四	六七	二四	二六	二一	三八	三一	四一	三四	四四	八六	
八〇・六%	八一・〇%	八一・一%	八一・二%	八一・四%	八一・五%	八一・六%	八一・七%	八二・七%	八三・二%	八三・五%	八四・〇%	八四・一%	八四・七%	八五・〇%	八五・四%	八五・五%	八六・一%	八七・四%	八七・五%	八七・五%	八八・三%	八九・一%	八九・五%	九〇・二%	九〇・五%	九一・〇%	九一・六%	
〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
八四・〇%	九〇・〇%	七七・三%	八八・〇%	八〇・一%	八七・一%		八九・〇%	八九・四%	八二・一%	七三・四%	八四・八%	八九・〇%	八三・〇%	八七・三%	八九・二%	八四・二%	八一・三%	八七・六%	八九・五%	八八・五%	八七・一%	八八・一%	八九・〇%	七九・七%	八九・五%	八九・二%	九二・五%	

第五

四四二

門司	四	三七	八〇・四%	〇	八〇・八%
佐世保	四	二三	八〇・二%	〇	八二・九%
金澤	三	四〇	八〇・〇%	〇	八一・六%
廣島	四	四四	七九・八%	〇	八〇・八%
福岡	四	五九	七九・七%	〇	八〇・〇%
長崎	四	二八	七九・五%	〇	八三・九%
旭川	四	三七	七九・一%	〇	七六・七%
盛岡	四	二八	七九・〇%	〇	七一・七%
静岡	四	三八	七八・九%	〇	八三・八%
帶廣	四	三三	七七・一%	〇	七七・一%
倉敷	四	二四	七七・一%	〇	八一・四%
姫路	四	三一	七七・〇%	〇	七九・〇%
小倉	四	三一	七六・六%	〇	八〇・七%
福井	四	三〇	七六・五%	〇	八〇・七%
津	四	三六	七六・四%	〇	八〇・七%
吳	三	二七	七五・三%	〇	八〇・七%
甲府	四	二九	七三・三%	〇	七六・〇%
郡山	三	二〇	七三・三%	〇	七六・六%
松山	四	三一	七二・六%	〇	七三・六%
和歌山	四	三七	七〇・九%	〇	六四・五%
福島	四	三二	六八・八%	〇	六五・四%
室蘭	四	三〇	六〇・八%	〇	六五・〇%
堺	四	二六	五七・三%	〇	八二・九%
合計		二、一四七	八一・六%	二	

六〇%台又は其以下のクラブは大に奮起を要します。そのスポンサー・クラブはこれらを善導する重大な責任があることをお忘れなく、激励の手を差伸べて下さい。新クラブを斯様な状態におくことはスポンサー・クラブの恥辱でもあります。

幹事殿にお願いいたします。五月分の出席報告は特別に早い目に御送り下さい。又六月分の出席報告はガダアナ！更迭後になりますけれども矢張り私あてにお送り下さい。六月分まで私の手許で整理して引継ぐことにいたします。御協力を願います。

(終)

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 60
TOMOTAKE TESHIMA
27 Shinanomachi, Yotsuya P.O., Tokyo, Japan



No. 12

61 CLUB-2317 MEMBERS

JUNE 12th, 1951

昭和二六年六月一二日 (第一二頁)

ロータリー・インタナショナル第六〇地区

ガヴァナー 手 島 知 健

第六〇地区

ロータリー・クラブ会長。幹事 殿

一 昨年三月國際ロータリー復歸の朗報を得ました時に私は偶まロータリー復歸協会の會長を勤めていました關係上、國際ロータリー本部より特派されたジョージ・R・ミーンズ氏の手傳をいたしましたことに始まり、その後一九四九年七月一日より引續き二年間がガヴァナーに御推舉を蒙り、不敏を身を以て永い間乍不及お世話役を勤める光榮を有しましたことは終生忘れることの出来ない感激であります。全國のロータリアン諸君の同情と協力と親切と激励を得まして今日まで曲りなりにその職を汚して來たのですが、自分の不行届千万であつたことを顧みて悔恨たるものがあります、爰に皆様の御寛容を希う次第であります。

この間ロータリーがわが第六〇地区に於て顕著なる發達を遂げ世界のロー

タリーに異常な感銘を與えていることは、我邦の實業家及び専門家が奉仕の理想に燃え、それらの人々の間に自然に盛り上つたロイヤリ精神の發露によるもので、或種の他の團體に於けるが如く政府の指導や官邊の援助に依頼するところなく、この短時日の間に今日の盛況を見るに至つたことに對し誇りを感じずるものであります。

私の任期は來る七月一日を以て終了し同日以後星野行則君が引繼いで下さるので仕事の上で何も憂うところはありませぬ。唯、諸君が私に給わりましたと同様な同情と親切と熱意を等しく同君に給わり、相共に將來のロイヤリーの發展に協力せられることをお願するのみであります。今最終のガダナニス・レターを書くに當つて聊か御禮と御挨拶を申し上げます。

一、國際協議會と國際大會

去る五月一九日より二六日まで一週間レーキプタシッドで催された
シヨナル・アツセンブリ
際 協 議 會 には四一ヶ國より六二〇名の參集を得 毎日午前正九時

より終日開催され多大の感銘を以てこの有意義な會合は幕を閉じたといふ
ことであります。星野君も終始元氣克く熱心に參加されたさうでありますか
ら吾々はその感激を親しく承ることを大に期待しています。

アトランテイタ。セタイに於ける
コングレンション
際 大 會 は五月二七日より三一日ま
で四六ヶ國を代表する八、八一三人の會員及び家族が出席して盛大に開催さ
れ、予定の通りフランク・スベーン氏をRI會長に選舉したる外一九五一
五二年度RI役員を決定し、諸種の議案を審議したさうであります。何れ詳し
いことは星野君その他出席の方々から親しく報告を受けることを期待しま
すが、最も我々に關係の深い決議を示せば、一五年以上正會員であつた者は
シユア會員となれること（從來は二〇年）に決定し、二、地區大會の日取變
更案は撤回して更にRI理事會に於て研究を重ねることに極りましたさうです。
従つて今秋一一月の候に地區大會開催の腹案は本年度は實行不能となつた譯
で、矢張り明春四月頃開かれることゝなるでしよう。

二、第六〇地区のロータリー・クラブ

前信報告以后に承認された當地区内のロータリー・クラブは左の四つであります。

○宇治山田ロータリー・クラブ（チャーター番號七七九六）五月二四日承認

スポンサー 東京及び津ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 二六名

會長 乾 碩也 幹事 小川 三左衛門

事務所 宇治山田市岩淵町二一〇 宇治山田商工會議所内

（電 一一九〇）

例會 同 所 火曜日一二・三〇

○千葉ロータリー・クラブ（チャーター番號七八〇三）五月三〇日承認

スポンサー 東京ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 二一名

會長 古 莊 四郎彦 幹事 齋 藤 武

事務所 千葉市造町 千葉銀行秘書課内（電 二一〇〇）

例會 同 千葉市長洲町 千葉新聞會館（二四〇） 月曜日一二・三〇

○半田ロータリー・クラブ（チャーター番號七八〇九）六月六日承認

スポンサー 名古屋ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 二三名

會長 伊 東 郁 二 幹事 中 埜 政 一

事務所 半田市字名切八 半田商工會議所内（電 三一〇）

例會 同 所 木曜日一二・三〇

○富山ロータリー・クラブ（チャーター番號七八一〇）六月六日承認

スポンサー 東京及び大阪ロータリー・クラブ

チャーター・メンバー 二二名

會長 山 岡 昌 作 幹事 馬 瀨 金太郎

事務所 富山市櫻橋道一（富山電氣ビル内）富山社交俱樂部内

例會 同 所 火曜日一二・三〇

この外に岡崎に假ロータリー・クラブが六月五日結成せられました唯今RI

加盟申請中であります。毎週水曜日東海銀行岡崎支店で一二・三〇から例會を開いています。これが承認されれば第六〇地区に於けるクラブは六二となり、一九五〇年七月一日以降承認されたクラブは復活七、新設二二、合計二九となり昨年度の二六の記録を破つたことになります。この二年間を通じて毎二週間に一つ以上のクラブが出来た譯であります。

京都ロータリー・クラブの事務所は六月一日より例會場である下京區鹽小路新町角ホテル・ラタロー内へ又々移轉しました。又新潟ロータリー・クラブの事務所は七月一日以降上大川前通七番町新潟商工會議所内に移轉します。本信に添付して一九五一―五二年度各クラブ役員一覧表と本日現在の第六〇地区ロータリー・クラブ名簿をお送りします。星野來年度マガダナは米國より歸られた上事務所を決定されると思ひますが當分の内大阪市南區心齋橋筋一丁目大丸内大阪ロータリー・クラブ氣付で御通信下さい。

三、ロータリー財團寄附金六百万圓に垂んとす

長 濱	ロータリー財團への寄附金は引續き着々増加してあります即ち	二六名分	二六〇弗〇〇	九三、六〇〇圓
福 井	(一〇〇%)	追加 三〇名分	三〇〇弗〇〇	一〇八、〇〇〇圓
京 京	(一〇〇%)	追加 三名分	三〇弗〇〇	一〇、八〇〇圓
水 戸		第一回分	一三八弗八九	五〇、〇〇〇圓
總 本		第二回分	一〇〇弗〇〇	三六、〇〇〇圓
名古屋	(一〇〇%)	追加 六名分	六〇弗〇〇	二一、六〇〇圓
合 計				八八八弗八九 三二〇、〇〇〇圓

今日までの寄附金合計は五、九六七、二〇〇圓その米貨一六五七五弗五六仙であつて、第六〇地区ロータリーアンニ、三〇〇人の七二%以上が各一〇弗宛贈金された割合になります誠に心強い協力振りであります。尙六月下旬に今後受領の分を加えて各クラブの贈金高と會員現在數に對する割合を一表に作製して御送りし御参考に供する豫定であります。

四、「ロータリー・クラブ結成指針」

編て印結束してまきました PAMPHLET No. 10-B "ORGANIZING A

ROTARY CLUB" の邦訳「ロータリー・クラブ結成指針」が近日出来ませす。一

部宛備付用としてお送りいたします。新クラブの結成に付ては是非この書を熱讀した上で手續を造めることにお願ひします。

新クラブ結成に先つてその都市の調査を行うこと。スポンサー。クラブと
スポンサー。メンバー。代表。表はガヴァナーが指定するものであることその他大切

な條項がありますが、これらの準備智識なくして新クラブ結成にたずさはることは慎しむべきであります。是非この書を座右に勤める所以であります。印刷費送料共一部五〇圓。

五、公式訪問とチャーター・ナイトとインターンタイ・フォーラム

チャーター・傳遞式は五月二六日長濱、同二八日福井、六月一日郡山、同日福島、同四日水戸、同七日長岡で何れも厳肅に、順序よく、和やかに且つ郷土色豊かに行われました。何れも會員諸君は晝夜兼行、案を立て想を練り、苦心の跡の鮮やかに見えることは感激の至りで、加うるに家族の方々細出で心より歡待せられたることは參會者の異口同音に賞讃措かざるところでありました。又長濱、福井、水戸の各クラブがロータリー財團に寄附金を贈られたことはこのチャーター・傳遞の日を記念するに相應わしい企であつたと感謝してあります。尙本月は已報の北海道三クラブの外に三〇日には宇治山田クラブのチャーター・ナイトが計劃されています。

線定の通り五月二七日には長濱、八日には長岡のクラブを公式訪問しました。何れも長時間に亘り熱心にロータリーのあり方に付て研究されたことを喜んでいきます。尙室蘭、釧路、帯廣の三クラブには已報の通り公式訪問の線定であります。

前信申上げた東北七クラブのインターンタイ・フォーラムは時間の都合で二五日（月）となるかもしれませんが是非多數の御參加を希望します。

六、少年週間の行事

去る四月二八日より五月五日までの少年週間 (BOYS AND GIRLS WEEK) に付ては適當の行事を各クラブに於て行われることを四月二〇日付ガヴァナース・レター第一〇信で懇懇しておきました。

然るにシカゴ本部より右少年週間にどういふ行事が行われたか知らせて欲しい又この少年週間に付て何か参考になるサゼンションがあれば同時に伺いたいという來信がありました。

就ては直接本部宛に報告をして頂きました節は寫をお送り下さい。又私の手許へ御追信下されば懇めて本部へ報告いたします。至急御便りを願います。

七、ロータリー・ソング新作公募のこと

前信にてお願いしておいた五人の委員の外に東京北ロータリー・クラブの國中規矩士君を追加し、結局六人の委員にお願いすることになりました。來る七月の地區協議會以前に募集の案が立ちますよう希望します。

八、ロータリー・クラブで使用する書式規格統一の件

これ亦前信にてお願いしておきました。が前項同様來る七月の地區協議會に何か成案が出れば非常に結構だと思ひます。尙この委員會で第六〇地區ロータリーアン名簿の件も同時に取り上げて審議して下さい。お願いいたします。

九、役員更迭について

七月一日を以て現クラブ役員は新に選舉された役員と更迭するのでありますが、それに先立ち六月三〇日までには會長、幹事のなすべき事項のうち特に注意すべきものは――

「會長必携 YOUR YEAR」の第三四頁に「最後の任務」として次の通り指示されています。

「六月に入るとクラブ資金に對し會計検査を行う必要があり、又クラブの狀態についての年次報告の準備をせねばなりません。

理事會及びクラブ協議會には、新役員、新委員に引渡すについてクラブが

最上の状態にあるかどうかを見極めさせる必要があります。六月中の例会に於て会長はその一年間のクラブの活動及び業績について稍詳細に亘る報告を行います。六月の最後の例会に於て新役員を紹介するのであります。

又「幹事提呈 ROYALTY CLUB SECRETARY」の第五七項以下の指示に従つて「年次報告の準備をする」こと。「会長を補佐して年度最後の例会の開催を計畫する」こと。「会長を助けてクラブ沿革史の準備をする」こと等の外、第六〇項には次の通り幹事の仕事を指示されています。

「年度の終了と共に幹事はあらゆる綴込み書類、記録、クラブ圖書、備品等をすべて後任者に引継ぐと共に、後任幹事が自分より更にうまく仕事の出来るよう幹事としての色々な職務について十分な情報を與えておかわばなりません。」

引継ぎは完全に出來ますよう會長、幹事をお願いします。

一〇、名譽會員

クラブ定款第四條第二項(C)の規定に従つて、「名譽會員は選舉せられた日の次の七月一日に自動的に失格する。但し理事會は任意、其決議に依つて、年々その資格を繼續することが出来る。名譽會員はクラブの地域外に移住し又は其の地域と密接なる縁故を有しなくなつた場合と雖も、理事會は其の資格を繼續させることができる」ことになっています。引継ぎ推薦せんとする方に付ては、七月第一例会日に理事會を開催してこの點を考慮し適當の處置をとられたい。

一一、新年度委員會の構成

標準クラブ細則第七條及び第八條が改正せられ綜合企劃委員と會務委員が無くなつた結果新年度の各クラブの委員は左の通りとなります。

- 一、 社會奉仕委員
- 二、 國際奉仕委員
- 三、 職業奉仕委員

右委員は何れも理事の内より會長が指名する委員長と二人以上の他の會員

を以て組織される。

会長は別に理事の一名をすべての ^{クラブ・サーヴィス} 会務活動 に對する責任者に指名する。この理事は次の會務關係委員及びその他必要に應じ任命せられる委員の活動を監督統合する

- 一、職業分類委員
- 二、税 陸 委 員
- 三、雜 誌 委 員
- 四、會 員 詮 衡 委 員
- 五、プ ロ グ ラ ム 委 員
- 六、一 般 情 報 委 員
- 七、ロータリー情報委員

この内、職業分類委員と雜誌委員は何れも會員三名を以て組織し、毎年一名宛は三年の任期を以て任命される。

この改正細則に従つて新年度會長は委員會を構成されねばなりません。追て改正條文の翻譯は近く印刷の上お送りします。

一二、第六〇地區五月分出席記録

何とかして全部の報告を纏めたいと思つて電信で督促などいたしました。結局不成功に終りました。本日出發北海道に参ります。二六日頃歸京の上で改めて本信の補遺を發行することに致しませう。

尙前狀中上げおきました通り六月分の出席報告はマガアナイ更迭后になりますが矢張り私あてにお送り下さい。私の手許で整理した上で引継ぎます。

(終)

A R E P O R T

to the Members of the 213th District of Rotary on Our International Student Project

1950 - 1951

As you scan this pamphlet, District 213 of Rotary International will be well in its seventh year of the International Student Project which, unique in its inception, has gained world-wide recognition in Rotary circles.

For the first time in the history of this undertaking, that the more than 4,000 Rotarians in our district have made possible by their generous contributions through the past several years, we now are privileged to sponsor two scholarship students; one pursuing graduate studies at Northwestern University, and another from within our district doing special work in a German University.

Our guest student in the district this year is Diego Calle, 24, of Medellin, Colombia, South America, who entered Northwestern in September, and was scheduled to begin his visitations to the various clubs in the district early in December.

Diego, son of Mr. and Mrs. Conrado Calle, is the eldest of ten children. Educated in the public schools of his home community, he is a graduate of the University of Antioquia at Medellin where he majored in economics. Since leaving school last November, he has been engaged in organizing the accounting system of the Medellin municipal government and has also served in a similar capacity for private corporations. He is doing postgraduate work in economics at Northwestern.

Our student now studying abroad is Carl Geffert of Harvey, who is a graduate of Thornton High School and the University of Virginia. After receiving his B.A. degree at Virginia in August, 1949, Carl spent another year at Virginia doing graduate work in the Germanic languages. He now is in residence at Philipps University at Marburg-on-the-Lahn in Germany, where he is engaged in research in Germanic philology (dialects). Carl is the son of the Rev. Rudolf L. Geffert, pastor of Trinity Lutheran Church in Harvey. He is a veteran of World War II and served abroad, including Germany, with the American Occupation forces as an interpreter, with the rating of sergeant T-4. He is pointing for a Doctor of Philosophy degree for which he will later write his dissertation, based upon his research studies, at some American university.

Further expansion of the International Student Project now is insured through the recently established Roy Palmer Memorial Fund, by means of which it is expected that our district will invite a Japanese student to study in the United States next school year.

This fund, as all Rotarians in the district should know, had its inception last spring shortly after the tragic death of District Governor Roy Palmer in an airplane accident. The project to provide a special scholarship for a Japanese student was devised as a fitting memorial to Governor Roy because of the great friendship that had sprung up between himself and Rotary Governor Tomotake Teshima of Japan during the International Assembly both attended at Lake Placid in June, 1949. They became fast friends through a correspondence maintained during Governor Roy's term of office and until the time of his death. It was thought by leaders in District 213 that Governor Roy would have wanted just such a scholarship project to extend this bond of friendship to all Rotarians in the Districts he and Governor Tomotake represented.

Going into the seventh year of the International Student Project we continue to concentrate upon students from South America as guests in our district. Six of the seven students to visit us thus far came from widely separated areas of Latin America, a single exception was the appearance of Philip Foster, our student guest from London.

The project has now progressed to the point where we can begin to perceive the unmistakable values inherent in this worthy venture in international goodwill and friendship. The good results thus far achieved are best interpreted through the correspondence your committee is receiving at frequent intervals from the young men who have come to us through the years not only to broaden their knowledge as students at one of our great institutions of learning, but to obtain lasting impressions of the American way of life as typified in the very heart of the United States.

We know you will want to share with us the expressions of sincere appreciation and gratitude from these young men who are now "out on their own" in their homelands, rapidly assuming places of distinction and influence in their communities and countries, and daily bringing to their fellowmen the benefits of the enriching experience enjoyed while living among friends in North America.

Considered in the order of their appearance in our district, we pass along to you some brief comments about what "Our boys" are doing today and regarding some of the things in which they are especially interested.

Carlos Macchi, of Argentina, the first student guest to come to our district, is firmly established as labor relations director for Philips Products, at Fapasa, a suburb of Buenos Aires, largest manufacturers of light bulbs and radio equipment in South America, employing 2,500 workers.

The concern has its most important contacts, outside South America, in Europe and Canada. He is a member of the board of the Argentine Institute of Personnel Management, an indication of the high position of responsibility he holds in his chosen field of endeavor. In this latter capacity he has traveled extensively in other countries, more especially Brazil.

Carlos and Beba are the proud parents of two fine children, Carlos, Jr., 22 months old, and Ines, who joined the family circle on June 25 of this year.

His very fine position with the Philips company, coupled with the fact that he is the head of a splendid family, causes Carlos to say: "everything (with us) is happiness and optimism."

Carlos is about to occupy a new home with his growing family in a fine residential district in Acausso, where he promises Rotary visitors the "finest room service in Acausso!"

Carlos' genial and dynamic personality and his ability to readily adapt himself to our language (plus Americanese) and customs when a student here, endeared him to every Rotarian in the district. These exceptional character traits apparently stand him in good stead as he occupies a place of increasing influence in his homeland. We know he is a real ambassador of Rotary.

Rafael Errazuriz, our second student guest, who has been associated with a law firm in Santiago, Chili, in recent years -- going from law clerk to a full partnership -- is soon to engage in a mining business with his father-in-law. Yes, Rafael is married to Doty, and they now have Rafael, Jr. ("Rafa Chico") born September 14, last, as the third member of their household.

"I hope," says Rafael, "that Rafa Jr., in his time, will be understood . . . in a world where people, regardless of their own nationalities, will be more closely in touch and nearer in their mutual understanding. Will that generation comprehend that we, the fathers, did something to create that world of good fellowship?" And again: "I can't help it, but still I'm an optimist. It's true we are perhaps approaching a new war, and that by itself does not speak of good understanding and good fellowship. But out of it, and after the destruction of those forces that menace the freedom of the world, I believe our own ideals will spread through the continents."

Helio Penna e Costa, our third student guest, has been a very busy man down Brazil way during the years since he completed his scholarship with us.

Returning to his home in Rio de Janeiro, he resumed the practice of law and, soon after his arrival, made a speaking tour of 20 Rotary clubs in that area in fulfillment of that part of his scholarship agreement. He made the visits in less than two months.

Helio next joined his father in law practice as a corporate attorney for the most important bank in Brazil. Meanwhile he was engaged to write special articles about the United States and international relations for two of his country's leading newspapers.

Last year he opened his own law office in partnership with a friend, specializing in civil and commercial law, and as he says, "doing quite well."

"Only recently," he says, "I decided to enter a very tough examination to become one of Rio's District Attorneys, as D.A.'s in Brazil are not elected, but nominated upon approval. . . . I've been studying very hard and expect to be called before the examining committee within a few weeks." Helio's letter was dated October 5, so that it is quite possible he is now an accepted District Attorney. Every Rotarian in the district will hope that he has been successful in achieving his new ambition.

Helio will be married next May to Miss Marilia Sao Paulo, daughter of a prominent Brazilian lawyer. As he puts it: "We expect to bond our lives for good in May (no divorces in Brazil)."

Yes, Helio, who maintains a close touch with Rotary in Brazil, is a true ambassador of our great international fellowship to his home country of Brazil.

Francisco Ponce de Leon of Uruguay, the fourth student from South America, is residing in the United States and, more specifically, in Chicago, where he is associated with John Sexton and Company, wholesale foods, as a chemical engineer. Frank, as many Rotarians will recall, climaxed his period of study at Northwestern University, by taking a beautiful Chicago girl as his bride.

Let him tell something about himself!

"After my marriage to Mariel," he says, "I took a fine position with John Sexton and Company. . . . They in turn sent me to Loyola University at night to study bacteriology. I can assure you that my schedule was rough -- working nine hours a day in a laboratory and then attending classes until 9 and 10 o'clock every night. On top of this an accident occurred in the laboratory whereby I broke my foot and was laid up for some months.

"I have been up to my neck in work -- you know working in industry in the U.S. is rugged -- and I already have been getting my share of it in the last year and a half."

Some day, soon, it is expected that Frank will be counted among the outstanding businessmen of his country. He is very appreciative of what Rotary in our district has done to broaden his experiences and typifies the hard-working characteristics of the young men who have come to visit us.

For Philip (Phil) Foster, our student guest from England, life has taken on an entirely unique pattern. Unlike the lads from South America, who settled into their chosen careers with considerable ease, Phil returned to England a year ago only to face a long period of military training under his country's conscription scheme.

Net result for Phil has been that he almost immediately went into basic training, later to attend officers training school from which he recently emerged as a Royal Air Force Pilot Officer (second lieutenant in U.S.A.). Here Phil has conducted himself with distinction, having been accorded various high honors. Now a fullfledged officer, he is looking forward to overseas duty in the not too distant future. Philosophically minded Phil takes this interruption to his civilian-life ambitions with good grace in the knowledge that he is lending his talents to secure the defenses of his country and democracy in this critical time in world affairs.

The prayers and best wishes of every Rotarian in District 213 go with Phil as he serves his country. We will expect great things from him when at some later time he devotes his good services to other fields of endeavor in times of peace.

The last student guest to conclude his scholarship studies with us will have returned to his native Peru when this pamphlet reaches your hands.

He is, of course, Vladislao Falla of Lima, affectionately known to all of us as "Lalo. Lalo made a sort of Cook's Tour of his homeward journey, traveling by way of eastern United States and Canada before shipping out from New York.

In expressing his sincere thanks to all Rotarians in the 213th District for the privilege of studying under the scholarship plan, and the many kindnesses accorded him on his visits in the district, Falla pays a glowing tribute to Roy Palmer, who was governor of the district during most of his stay in this vicinity.

Says Falla: "It comes to my memory that one of the most sorrowful episodes I have experienced during my stay in the United States was the death of Dr. Roy A. Falmer. He was one of the most admirable persons I have ever known. He specially attended three of the meetings to listen to me: in Peru (Ill.), in Dwight, and in Marseilles. . . I met him only five times personally, but he was one of my best friends. . . I am glad to know of the scholarship you have established as a memorial to Dr. Palmer. He spoke to me once about the Rotarians of Japan and how he admired their efforts in contributing to the Paul Harris Foundation."

We hope to be hearing many good things about Lalla after he again becomes established in his homeland and tells the Rotarians in Peru about his experiences in the United States.

Holiday Greetings

It occurs to your International Student Project Committee that Rotarians in our district will want to send holiday greeting to our student guest "alummi." Here are their addresses:

C A R L O

CARLOS MACCHI

Juan J. Dias 661-A

San Isidro, FCNGBM

Argentina

RAFEAL ERRAZURIZ

Calle San Francisco de Asis 0354

El Golf

Santiago, Chile

HELIO PERINA e COSTA

R. Euriclides de Matos 10

(Laranjeiras)

Rio de Janeiro, Brazil

FRANCISCO PONCE de LEON

6336 N. Claremont Ave.

Chicago 45, Illinois

PHILIP FOSTER, Pilot Officer

Officers Mess

Royal Air Force

Wittering

Northants, England

ULADISAO FALL

Montezuma 974

Callao, Peru

Club Visitation Program

As previously indicated, Diego Calle, our current student guest, from Medellin, Colombia, is beginning his round of speaking engagements in the 213th District this December.

Continuing the custom established a few years ago, Diego will be required to visit only half the clubs in the district, since calling upon each of the 66 clubs would impose too great a burden upon him and interfere seriously with his study schedule at Northwestern University.

In order that every Rotarian in the district may have an opportunity to greet and hear Diego during the course of his stay with us, the committee suggests that his visits be arranged, wherever possible, so that members of two or more clubs in any given area in the district might hear him at inter-city meetings.

In accordance with the present plan, this year's student guest will not be scheduled for regular appearances at any club visited by the student guest during the past club year.

The committee further urges that clubs to be visited by the student guests at such meetings as "Ladies Nights" so that the Rotary-Anns and other members of Rotary families may have the privilege and pleasure of greeting the student guest. Such a practice has become very popular with several clubs in the past few years. We urge you to try this plan!

Summary

The 213th District is deeply indebted to Northwestern University for its continuing whole-hearted cooperation in the International Student Project. No enterprise of this nature could enjoy true success unless the co-operating institution which provides the academic opportunities is in complete harmony with the project. The active interest and unfailing help accorded the plan by university officials through the past several years is ample proof that they are in complete accord with our objective of furthering international good will and understanding in this student guest program. We feel certain that, like Northwestern, other great universities in the country will wish to participate in similar forward-looking International Service activities.

What our previous student guests are accomplishing, together with their kind expressions of appreciation, should leave no doubt in any Rotarian's mind as to the efficacy of our District International Student Project. Indeed, this thoroughly practical and positive venture in International Service has attracted attention far beyond the confines of our district. Inquiries from District governors in all parts of the country continue to come to our attention as Rotarians everywhere seek to stimulate similar activity in advancing the Fourth Object of Rotary.

As has been stated before, we in the 213th District know of no district project that has brought so much satisfaction to so many Rotarians as the International Student Program. We are convinced that this project constitutes a practical application of the Fourth Object of Rotary. We are further convinced that, as the idea gains momentum it will develop limitless possibilities in the furtherance of Rotary's unceasing efforts to foster international understanding and good will among the peoples of all nations in the interest of enduring peace.

Every club in our district, save one, made a financial contribution last year to this project. Your committee hopes to again, this year, receive this generous support by every club in the district with a minimum contribution of \$1.50 for each member. Particularly is such a contribution per member imperative if we are to continue with our plan launched this year, to send out a student from this district to engage in a year of postgraduate study in another country.

To reiterate, the seeds sown in the past six years already are yielding a harvest as the young men we have entertained and subsequently sent back to their homelands assume their places of distinction and influence in the public, business and cultural spheres of their native lands.

INTERNATIONAL STUDENT PROJECT COMMITTEE

OTTO SCHWEINBERGER, Governor
Moline, Illinois
LLOYD HOLLISTER, Chairman
Wilmette, Illinois
WILLIAM H. BEAN
Geneseo, Illinois
WESLEY L. BROWN
Wilmette, Illinois
LEONARD L. DIETZ
Aurora, Illinois
EDWARD FISNER
Rockford, Illinois

OVID W. ESHBACH
Evanston, Illinois
H. REID HORNER
Freeport, Illinois
MARSHALL P. MALISCH
Henry, Illinois
HERMAN MOORE
Belvidere, Illinois
H. WAYNE WALKER
Chicago, Illinois

213TH DISTRICT INTERNATIONAL STUDENT PROJECT
Financial Report Year Ending June 30, 1950

RECEIPTS FROM CLUBS

MEMBERS 7-;-49

82 Aurora	\$ 79.00	56 Maywood	\$ 79.50
23 Batavia	20.00	151 Moline	230.00
64 Belvidere	110.50	41 Morris	63.00
26 Blue Island	25.00	51 Morrison	52.00
15 Braidwood	20.00	41 Naperville.....	54.00
20 Byron	31.50	39 North Chicago	55.50
664 Chicago	655.00	112 Oak Park	233.00
85 Chicago Heights	85.00	22 Oglesby	24.00
53 Chicero	81.00	44 Oregon	44.00
24 Deerfield-Northbrook	50.00	57 Ottawa	77.00
49 DeKalb	69.00	28 Peotone	29.00
37 Dixon	40.00	45 Peru	69.00
32 Dwight	33.00	25 Plano	25.00
59 East Moline	82.50	32 Polo	46.50
62 Elgin.....	91.50	46 Rochelle	69.00
21 Erie	34.50	52 Rock Falls	76.50
104 Evanston	154.50	139 Rock Island	200.00
114 Freeport	100.00	151 Rockford	175.00
18 Geneseo	22.00	55 St. Charles	56.00
52 Glen Ellyn	53.00	34 Sandwich	40.50
35 Glencoe	54.00	50 Savanna	50.00
32 Glenview	35.00	34 Skokie	33.00
45 Harvard	40.00	38 Spring Valley	39.00
25 Harvey	26.00	67 Sterling	96.30
27 Henry	26.00	56 Streator	60.00
58 Highland Park	60.00	42 Sycamore	73.50
43 Homewood	40.00	21 Varna	21.00
137 Joliet	137.00	24 Walnut	37.50
65 Kankakee	97.50	107 Waukegan	25.00
31 Lacon	30.00	67 Wilmette	150.00
44 LaSalle	NONE	30 Wilmington	29.00
26 Manteno	26.00	68 Winnetka	100.00
47 Marseilles	41.00	32 Princeton	35.00
Total Receipts (66 Clubs, 4,076 Members)			\$4,897.30

RECEIPTS AND DISBURSEMENTS

Balance July 1, 1949	\$4,221.04	
Receipts from Clubs	4,897.30	\$9,118.34
Disbursements:		
Transportation - To London	390.00	
Transportation - From Peru	505.75	
Transportation - Visiting Clubs	15.70	
Student Subsistence	1,800.00	
Telephone and Telegraph	80.82	
Postage	25.21	
Printing	120.80	
Committee Meeting Expenses	74.52	
		<u>3,012.80</u>
		\$ 6,105.54
Reserve for return transportation to Peru		600.00
		\$ 5,505.54

Lloyd Hollister
1232 Central Avenue
Wilmette, Illinois

Governor Tomotake Teshima
Rotary International District No. 60
27 Shinanomachi
Yotsuya P.O.
Tokyo, Japan

Dear Governor Tomo:

You no doubt are aware of the fact that Roy Palmer, Governor of District 213, Rotary International, 1949-1950, lost his life in an airplane accident May 30, 1950. The Rotarians of this district were deeply shocked by Governor Roy's untimely death and have set up a Memorial in his honor. This Memorial is in the form of a scholarship for a Japanese student.

The scholarship will provide for transportation for the student from Japan to Chicago and return. It will also provide for his tuition for a calendar year of graduate study at Northwestern University in Evanston, Illinois (suburb of Chicago). There will also be an adequate subsistence allowance. In other words, the student should not be required to spend any of his own funds in order to take advantage of this scholarship.

It is with great pleasure that we extend to you, as Governor of the 60th District, an official invitation to select a student from your district to receive this Roy Palmer Memorial Scholarship and to meet and associate with the Rotarians of this district.

There are certain qualifications and requirements for the student, which we suggest, as follows:

1. The student must be of the male sex, unmarried, and not over 25 years old. He must have an excellent reading and speaking knowledge of the English language. This is most important, and we suggest that the student be required to pass a rigid examination on this subject.
2. He must be eligible as a graduate student, having completed at least four years of University work. His record of academic work must be outstanding. The fields of study available for the student will be limited to Economics, History, Education, Sociology, and Political Science. He should be here in time for registration, September 24, 1951.

December 14, 1950

3. The student must agree to live in one of the University dormitories, sharing a room with an American student.
4. The first semester at the University must include a course in public speaking.
5. He must secure clearance through the United States Department of State.
6. He must visit 66 clubs in this District and be prepared to tell the members of these clubs something about his country. These visits can be made during his school year, as time will permit.
7. In selecting the student you should choose one who is qualified to represent your country as an ambassador of good will to the students of the University and to the Rotarians of this District.
8. He must return to his country shortly after the school year and, upon his return, the student must visit the clubs in your District and tell your members some of the things he has learned about us. We hope that your District will take care of the necessary expenses for the visits to your clubs.

It may be of interest to you, Tomo, to know why the committee selected a Japanese student to be the recipient of this Roy Palmer Memorial Scholarship. When Governor Roy was making his official visits to the clubs in this district he spoke about his friendship with you. It seems that you became acquainted at the International Assembly, and this acquaintance rapidly developed into a true friendship. Roy admired you greatly and, consequently, the committee felt that Roy, if he were here, would certainly approve of a scholarship for a Japanese student. The Rotarians of this district are all tremendously impressed with the possibility of this scholarship greatly improving the understanding between the Rotarians of this district and the Rotarians of your district.

Governor Tomotake Teshima

-3-

December 14, 1950

Last week I had the privilege of meeting Dr. Kinji Shimizu, President of the Nagoya Institute of Technology Gokiso-Cho, Showa-ku, Nagoya. He attended a meeting of the Wilmette Rotary Club as a guest of Dr. Ovid Eshbach, Dean of the Technological Institute of Northwestern University. After the meeting we talked at some length about the Roy Palmer Memorial Scholarship, and Dr. Shimizu was extremely interested. He advised me that if it were possible for him to be of any service to you in information about Northwestern University or the selection of the student, he hoped that you would feel free to communicate with him.

I send to you the greetings of Governor Otto Schweinberger and the Rotarians of this district, as well as my own personal greetings.

Rotarily yours,

Lloyd Hollister, Chairman
International Student
Project Committee
District No. 213

LH:JH

Governor Otto Schweinberger
Rotary International District No. 213
1604 Seventh Street
Moline, Illinois
U.S.A.

The 213th District of Rotary International (Northern Illinois--and formerly the 147th District) has entered upon its sixth year as sponsor of an International Student Project.

So significant has been this International Service enterprise that it long since attracted the attention of Rotary International; this to the extent that the program of the 213th District has served somewhat as a pattern for the Rotary Foundation Fellowship Project, which now encompasses the world and promises to become Rotary's most practical and significant exemplification of its Fourth Object--"The advancement of International understanding, good will, and peace...."

This program of the 213th District should not be construed as supplanting nor in any sense competing with the Foundation Fellowship Project. Rather, it compliments the more extensive movement inaugurated a few years ago by Rotary International, and to which the clubs in this district are heartily contributing. The 213th District project does, however, give our clubs and the individual Rotarians a feeling of being "closer to the picture" in this phase of International Service, and the merit of this localized program has been recognized by Rotary International.

The International Student Project of the 213th District, moreover, has since been adopted in essence by other districts in Rotary International and has caused Rotarians in still other districts to become curious to learn more about how the project functions and the degree of success it has attained. This memorandum indicates some of the salient features of the plan so that others who may contemplate similar activity on a District level will have the benefit of these facts and suggestions.

It should be stated at the very outset that no other project ever devised in the 213th District has so effectively unified the interests of the 66 clubs in the district as this International Student Program. This common objective, as might well be expected, has effected a more closely-knit district organization and developed a splendid community of interest and spirit, the salutary consequences of which would be difficult to measure.

The project had its inception when the 213th District extended the first invitation to the district in South America having the largest membership in Rotary, which was Argentina. In successive years have followed invitations to send to this area student guests from Chile, Brazil, Uruguay, and England. The student guest for the 1949-50 Rotary year will come from Peru.

How does this plan work?

The Student Guest Project is financed by contributions from all the individual clubs in the district. The response in this regard from year to year has been increasingly more encouraging, a definite indication of the constantly growing popularity of the project with the clubs and individual Rotarians.

The cost of the project is about \$3,500 a year; the suggested contribution of one dollar a year per Rotarian amply covers the expense in this district. Under the plan an account is set up at the university the student attends (Northwestern University at Evanston, Illinois, in this instance), from which he can draw \$150 per month to cover his living expenses. All of the student's transportation costs from and to his own country are paid by our District.

At the inception of the program, and until this past year, the Student Guest was required, in addition to his graduate studies at the university, to visit and address each club in the district. However, when it became apparent early this past year that visits to every club in the district placed an unreasonable demand upon the student's time, this part of the program was altered to require visits to only half of the clubs in the district; however, this procedure was modified, with the result that the club visitations as scheduled actually became visits and talks at inter-city meetings. In most instances grouped-club meetings developed at the invitation of the originally scheduled club, with the net result that every club in the district has the opportunity, one way or another, to greet and hear the student guest.

The grouped-club idea became so popular, in fact, that it encouraged an unprecedented number of inter-city meetings in this district with what favorable re-

sults can well be appreciated. Thus, while the Student Guest now makes fewer visits in the course of his year at the university, he nevertheless continues to meet the large majority of the Rotarians in the district, and has more time for his program of graduate study, which is, of course, an important part of the project.

When the student guest makes his visits to the clubs in the district, his transportation, in most instances, is furnished by Rotarians in clubs located near the university. This is done on a volunteer basis at the call of the Student Project Committee. Interestingly enough, the number of such volunteers has increased each year, since we have found that our individual Rotarians have come to take a very personal interest in the student guest and, moreover, consider such activity as affording them an opportunity to render a personal service in the interest of the International Student Project.

Success of the International Student Project rests largely in the work of the District Committee assigned to that specific task by the District Governor. So detailed and pressing has this assignment become that, at the District Conference in May, 1949, it was voted by the delegates to increase the size of the Student Project Committee from seven to nine members.

The chairman of the District Committee, who naturally assumes the heaviest burden of responsibility, should be, our experience has dictated, a member of a club located in or near the city where the university to be attended is situated. There is much detail to be handled, particularly in arranging visits to the various clubs in the district; in consultations with the student on personal and academic problems; in assisting the student to become aware as speedily as possible of customs and procedures in his new surroundings, which are quite conceivably different from those of his homeland; and, above all, in making certain that the student guest develops such contacts as will help him to readily adjust himself as quickly as possible to a happy and profitable experience in his new environment.

The 213th District, based upon our experience over the past five years, owes a debt of gratitude to Northwestern University for its continued whole-hearted cooperation. No project of this nature could enjoy true success unless the cooperating institution which provides the educational

opportunity is in complete harmony with the movement. We feel certain that, like Northwestern University, other universities in the country will wish to be a part of this forward-looking International Service activity. Our student guests, to date, have come away from their studies at Northwestern with the feeling that they were really "alumni" of this great American institution of learning, and not merely "foreign" observers of the American educational scene. They have gained a real impression of American college and student life.

There are certain qualifications and responsibilities to be met by the Student Guest under the plan devised by the 213th District:

- a) The student must be of the male sex, unmarried, and not over 25 years old. He must have an excellent reading and speaking knowledge of the English language.
- b) He must meet eligibility requirements as a graduate student, having completed at least four years of undergraduate university work.
- c) He must agree to live in one of the university dormitories, sharing a room with an American (U.S.A.) student.
- d) He first semester at the university must include a course in public speaking.
- e) He must visit 33 of the 66 clubs in this district and be prepared to tell the members of those clubs something about his country; if away on club visits for an extended period, he should be the guest, whenever possible, in the home of a Rotarian.
- f) After returning to his own country, the student must visit the clubs in his home district and tell the Rotarians there about some of the things he has learned about the people in the United States.

We in the 213th District know of no district project that has brought so much satisfaction to so many Rotarians as has the International Student Program. We are convinced that this project is a practical application of the Fourth Object of Rotary. In commending it or a similar activity to other districts, we are further convinced that, as the idea gains momentum, it will develop limitless possibilities--along with the growing Rotary Fellowship Program--in the furtherance of Rotary's unceasing efforts to foster international understanding and good will among the peoples of all nations in the interest of enduring peace.

第六十地區ロータリークラブ名簿
(一九五一・六・十二現在)

國際ロータリー第六十地區 オツアナ 手島 知 健

東京都新宿區信濃町二十七番地
電話 四谷 (35) 〇八三六番

クラブ	チャーター 承認年月日	開會日 開始時間	開會場	事務所	一九五一・一九五二年度 會長	幹事
東京	昭和三十九年四月九日	水曜日 三・三〇	千代田區丸の内一ノ二 日本工業倶楽部	千代田區丸の内丸ビル七五七 (電) 和口合 (0)三八八八)	柏原 孫左衛門 (副) 井口軍次郎	四分 辰一 井口軍次郎
京都	昭和三十九年四月九日	水曜日 三・三〇	京都驛前 ホテル・ラクヨー	京都市下京區鹽小路新町角 ホテル・ラクヨー内	堀内 清 (副) 竹上藤一郎	吉田 忠 露口 四郎
大阪	昭和三十九年四月九日	金曜日 三・三〇	南區心齋橋筋一丁目 株式会社 大丸	南區心齋橋筋一丁目株式会社 大丸内 (電) 南 (5) 一三一)	永井 幸太郎 露口 四郎	露口 四郎 平島 健二郎 (副) 末次左衛門
神戸	昭和三十九年四月九日	水曜日 三・三〇	生田區海岸通一ノ一六 神戸商工會議所會議室	生田區海岸通一ノ一六神戸商 工會議所内 (電) 元南 (4) 三三八七 (摩)	澤田 清兵衛 (副) 末次左衛門	平島 健二郎 盛田 秀平
名古屋	昭和三十九年四月九日	火曜日 三・三〇	東區横代官町二七 ホテル・トキワ別館	中區仲ノ町一ノ六名古屋觀光 ホテル内 (電) 本局 (2) 三一三六	佐伯 卯四郎 盛田 秀平	盛田 秀平
福岡	昭和三十九年四月九日	水曜日 三・三〇	天神町一七 岩田屋百貨店七階	天神町一七岩田屋デパート 庶務課内 (電) 西 (2) 一三〇、四〇七〇)	君島 武男 (副) 中野 喜一郎	松田 昌平 中野 喜一郎
札幌	昭和三十九年四月九日	水曜日 三・三〇	南一條西二丁目 今井百貨店	南一條西二丁目今井百貨店內 (電) 二〇五〇)	小嶋 介次郎 大竹 敬太郎	大竹 敬太郎
横濱	昭和三十九年四月九日	火曜日 三・三〇	中區本町五丁目 第一銀行横濱支店三階	中區本町五丁目 第一銀行横濱支店內	柳瀬 省吾 岩田 誠	岩田 誠
西宮	昭和三十九年四月九日	火曜日 三・三〇	六藏寺町一〇一 西宮商工會議所	六藏寺町三 吉田 誠 一方 (電) 一〇三)	安倍 弟二 吉田 誠一	吉田 誠一
今治	昭和三十九年四月九日	水曜日 三・三〇	元町 四國瓦葺合社	元町 四國瓦葺合社内 (電) 七二〇一七二二)	三藤 香吉 瀧 一陽	瀧 一陽
高知	昭和三十九年四月九日	火曜日 三・三〇	中島町一一四 高知縣商工會議所	中島町一一四高知縣商工會議 所内 (電) 一一〇)	山本 健吉 (副) 渡川 金兵衛	入交 太兵衛 渡川 金兵衛

徳島	岡山	小樽	函館	熊本	新潟	四日市	岐阜	一宮	小倉	円司	仙臺	
NO. 3842 8-23-49	NO. 3524 8-23-49	NO. 3659 9-16-49	NO. 3747 9-16-49	NO. 5018 10-24-49	NO. 5244 11-8-49	NO. 3911 11-21-49	NO. 3844 12-8-49	NO. 7410 12-31-49	NO. 7413 1-12-50	NO. 3725 1-12-50	NO. 4266 1-30-50	
水曜日 11:30	火曜日 11:30	水曜日 11:30	火曜日 11:30	木曜日 11:30	火曜日 11:30	木曜日 11:30	金曜日 11:30	土曜日 11:30	土曜日 11:30	木曜日 11:30	火曜日 11:30	
東新町 春秋苑	基町一 廣島瓦斯ビル二階	下之町天満屋百貨店	稻穂町五丁目 相生町 北海ホテル	相生町 五島軒	横紺屋町一〇 熊本商工会議所	西堀道八番町 イタリヤ軒	江口町 四日市商工会議所	長良川畔 長良川ホテル	本町通五ノ一九 迎湯館ホテル	寶町三三 井筒屋百貨店	元清瀬町 門司商工倶楽部	ブラザー軒
南佐古町七ノ七 宮本誠友方	基町一三廣島商工会議所内 (電西(3)一、一七八、一、四六〇) 下之町天満屋百貨店內 (電六一一)	稻穂町八丁目(今井内) (電四三〇〇)	相生町二 五島軒内	横紺屋町一〇熊本商工会議所 内(電二二〇〇)	上大川前通七 新潟商工会議所内	江口町 四日市商工会議 所内(電三四)	長良川畔、長良川ホテル 内(電四一一〇)	上本町通四ノ二七、一官商 工会議所内(電七二九)	大阪町十丁目大澤商會社 内(電(5)〇二二二)	榮町二丁目門司商工会議所 内(電二三八〇)	大町五ノ一八九藤崎百貨店 内(電四三〇〇)	
天羽壽郎 宮本誠友	黒川 巖 (副) 藤井徳兵衛 金行悦三	八木日出雄 木村口次	清水一雄 (副) 坂口榮之助 北山 勇	堤 清次郎 (副) 若山徳次郎 岡本信三	大久保弘治 中村 秀	小林力三 新津謙雄	安部新吉郎 坂口分二	岡本太右衛門 (副) 遠藤健三 五百木一雄	豊島半七 (副) 田中鐵三郎 酒井惣市	中村爲嗣 和氣正芳	大野静馬 中村徳三郎	一力次郎 (前) 佐々木孝三郎 藤崎三郎助

東京南	東京北	山形	盛岡	長崎	甲府	静岡	旭川	金澤	津	姫路	高松	濱松		
NO. 3023 2-6-150	NO. 4389 3-9-150	NO. 7587 8-5-150	NO. 4978 7-25-150	NO. 4056 6-9-150	NO. 7515 5-5-150	NO. 5867 4-20-150	NO. 3744 3-29-150	NO. 3841 3-20-150	NO. 7464 3-15-150	NO. 7463 3-15-150	NO. 4389 3-9-150	NO. 3023 2-6-150		
水曜日	水曜日	水曜日	水曜日	水曜日	水曜日	水曜日	水曜日	水曜日	水曜日	水曜日	水曜日	水曜日		
築町	濱松銀行協会	内町五三 三越百貨店	本町六八 姫路商工会議所	丸ノ内百五ビル四階	東洋軒	西町一番丁一八 金澤商工会議所	旭川北海ホテル	追手町二五九 静岡縣經營者協會	柳町七三 山梨縣商工会議所内	外滑町五ノ二 觀光ホテル	肴町 川徳デパート	花小路 宇蔵館 (電 二〇〇六)	台東區上野廣小路一 松坂屋上野店	港區赤坂山下 山王會館
中澤町二五〇 日本樂器會社内 (電 一九〇〇)	内町五三 三越高松支店 (電 四四三一)	本町六八 姫路商工会議所内 (電 二九〇〇)	丸ノ内百五ビル四階 津銀行協會内 (電 九九九)	西町一番丁一八 金澤商工会議所内 (電 五八〇三)	常盤通一丁目 旭川商工会議所内 (電 四七一五)	追手町二五九ノ一 静岡縣經營者協會内	柳町七三 山梨縣商工会議所内 (電 二五五四、三三〇〇)	築町 株式會社十八銀行内 (電 四四五〇)	肴町 川徳デパート内 (電 一五一〇)	旅館町一〇四六 山形商工会議所内 (電 二〇一七、三九一一)	台東區上野廣小路一 松坂屋東京本部内 (電 下谷 83) 一、二六	港區赤坂溜池三一 安全ビル (電 赤坂 83) 二五二一)		
谷口健康	大村健次	細溪宗次郎	西山幸雄	關 徹	岩淵增藏	兒玉桂三	藤本峰吉	金森徳次郎	清瀬二郎	副中谷保平				
川喜田俊二	松浦十三日	池田外作	大西 功	岩城長保	武田孝三	山口 勝	佐藤武夫							

豊橋	電話 7599 8-26-50	水曜日 三・三〇	花田町石塚四二番橋 貿易商工館 (電三二四)	花田町石塚四二番橋貿易商工 館内 (電三二四)	神野太郎	白井順一郎
刈谷	電話 4092 10-21-50	水曜日 三・三〇	鋼路商工會議所内 常盤タリル	北大通一ノ二鋼路商工會議 所内 (電二六一、四八七)	清水源作	三原正二
倉敷	電話 7618 10-71-50	水曜日 三・三〇	旭町六九〇 二三會館	旭町六九〇、二三會館内 (電二七〇)	山崎直治	青木虎夫
郡山	電話 8992 10-30-50	金曜日 三・三〇	郡山商工會議所	大町一〇九橋本合名會社内 (電二五、六九)	福内和介	渡邊兼吉
明石	電話 7644 11-24-50	水曜日 三・三〇	東本町四八神戸銀行 明石支店 (電五六)	大藏町一ノ二七米澤醤油 合名會社内 (電四一七)	矢野松三郎	米澤由次郎
福井	電話 7644 12-14-50	水曜日 三・三〇	佐佳枝中町三四 福井人組會館	佐佳枝中町三四 福井人組會館	市橋保治郎	酒井伊三男
松山	電話 4362 12-81-50	火曜日 三・三〇	三番町 愛媛縣銀行協會	三番町 愛媛縣銀行協會 (電六〇七)	末光千代太郎	松野一郎
室蘭	電話 4070 12-15-50	水曜日 三・三〇	大町 ニユ一・ブラザ一	大町ニユ一・ブラザ一内 (電六〇五)	香春三樹次	水田 正
和歌山	電話 4289 12-28-50	火曜日 三・三〇	西汀町一 和歌山商工會議所	西汀町一和歌山商工會議 所内 (電一、二二、二二二)	前田辰之助	島村安茂
帯廣	電話 3820 12-28-50	水曜日 三・三〇	西三條南十一丁目三三 平原莊ホテル	西三條南十一丁目三三 平原莊ホテル	宮本來治	相澤正美
大津	電話 7666 11-21-51	火曜日 三・三〇	上小唐崎町 大津商工會議所	上小唐崎町 大津商工會議所内	北川 昇	中村 義一
堺	電話 7706 11-16-54	火曜日 三・三〇	市之町大道 堺商工會議所	市之町大道 堺商工會議所内 (電二〇〇)	菅多源逸	泉 喜春衛
水戸	電話 8224 57-14-51	火曜日 三・三〇	仲町五一五日本勸業銀 行水戸支店 (電一・二)	南三の丸一八ノ九義藏運合 商工會議所内 (電三・七六九)	龜山 甚之	石崎 衣一

岡崎	富山	宇田	千葉	宇治田	長岡	川崎	大分	吳	佐世保	長濱	福島																				
NO. 7734 5-23-51 NO. 7735 5-23-51 NO. 7745 5-30-51 NO. 7751 4-4-51 NO. 7767 4-23-51 NO. 7769 4-23-51 NO. 7773 4-24-51 NO. 7796 5-24-51 NO. 7803 5-30-51 NO. 7809 6-6-51 NO. 7810 6-6-51 NO.	水曜日 11.30	水曜日 11.30	水曜日 11.30	水曜日 11.30	水曜日 11.30	水曜日 11.30	水曜日 11.30	水曜日 11.30	水曜日 11.30	水曜日 11.30	水曜日 11.30																				
東海銀行岡崎支店	速尺町	富山社交俱樂部	櫻橋通一	半田商工會議所	名切八	千葉新聞會館(電二四〇)	長洲町	宇治山田商工會議所	岩淵町一〇	長岡商工會議所(電七九)	大手通二丁目	川崎商工會議所	堀川町七	中央通	櫻町クラブ	堀川町七	川崎商工會議所	城內町二ノ七五〇	小林合	名會社內(電五七三)	岩淵町一〇	宇治山田商工會議所內(電一九〇・一五五六)	油町	千葉銀行秘書課內(電二一〇〇)	字名切八	半田商工會議所內(電三一一)	櫻橋通一	富山電氣ビル	富山社交俱樂部內	速尺町	東海銀行岡崎支店內(電二一〇)
大町五八	中合百貨店內(電二二〇)	神戶町八	長濱商工會議所內(電二五六)	榮町五〇	株式會社佐世保	玉屋內(電四一五一)	中道九丁目	吳市信用組合內(電三一九〇)	中央通	櫻町クラブ內	堀川町七	川崎商工會議所內(電二四七〇・七二)	城內町二ノ七五〇	小林合	名會社內(電五七三)	岩淵町一〇	宇治山田商工會議所內(電一九〇・一五五六)	油町	千葉銀行秘書課內(電二一〇〇)	字名切八	半田商工會議所內(電三一一)	櫻橋通一	富山電氣ビル	富山社交俱樂部內	速尺町	東海銀行岡崎支店內(電二一〇)					
岩永鏡太郎	安藤賢吾	三浦 潔	中川一夫	田中丸善重	小出勉一	笠 潤一郎	新原鏡次郎	後藤三郎	首藤 定	根本 茂	畑石輝治	駒込十吉	小林友一郎	乾 碩也	小川三左衛門	古莊四郎彦	齋藤 武	伊東郁二	中塾政一	山田昌作	馬瀬金太郎	深田三太夫	早川勇治								

第六十地區ロータリークラブ名簿
(一九五一年・五現在)

國際ロータリー第六十地區ガザナー
手島 知 健
東京都新宿區信濃町二十七番地
電話 四谷 (39) 〇八三六番

ロータリー クラブ	チャーター 年 月 日	例 會 日	例 會 場	事 務 所	會 長	幹 事
東京	昭和三十八年八月九日	水曜日	千代田區丸の内一ノ二 日本工業俱樂部	千代田區丸の内丸ビル七五七 (電 丸ノ内 (38) 四八八八)	吉田初次郎	西分 貫一
京都	昭和三十八年八月九日	水曜日	京都市東區 洛陽ホテル	左京區田中大樓町九應州科學 研究所内(電吉田)三三六〇(西六)	鳥養利三郎	山田啓之助
大阪	昭和三十八年八月九日	金曜日	南區心齋橋筋一丁目 株式會社 大 丸	南區心齋橋筋一丁目株式會社 大丸内(電 河筋)一三一)	北澤敏二郎	藤口四郎
神戸	昭和三十八年八月九日	水曜日	生田區海岸通一ノ一六 神戸商工會議所會議室	生田區海岸通一ノ一六神戸商 工會議所内(電元町)二六八七(電)	直木太一郎	平島三郎
名古屋	昭和三十八年八月九日	火曜日	東區横代町二七 ホテル・トキワ別館	東區仲ノ町一ノ六名古屋觀光 ホテル内(電本局)三三三六)	飯野進平	井上行平
福岡	昭和三十八年八月九日	水曜日	天神町一七 岩田屋百貨店七階	天神町一七岩田屋デパート 庶務課内(電西)二二〇、四〇七(副・中牟田喜一郎)	山崎正次	松田昌平
札幌	昭和三十八年八月九日	水曜日	南一深西二丁目 中井百貨店	南一深西二丁目中井百貨店內 (電 二〇五〇)	福山富三郎	青木三蔵
横濱	昭和三十八年八月九日	火曜日	中區本町五丁目 第一銀行横濱支店三階	神奈川區三浦東町四五 伊藤多度作方	水谷美次郎	伊藤多度作
西宮	昭和三十八年八月九日	火曜日	六浦寺町一〇一 西宮商工會事務所	西宮町三 吉田誠一方 (電 一〇三三)	備 嘉一	吉田誠一
今治	昭和三十八年八月九日	木曜日	元町 四國瓦斯會社	元町 四國瓦斯會社内 (電 七二〇一七二二)	木原 茂福	一 勝
高知	昭和三十八年八月九日	火曜日	中島町一一四 高知縣商工會議所	中島町一一四高知縣商工會議 所内(電 一一〇)	山本 豊吉	入交太兵衛

一九五〇—一九五一年度

徳島	廣島	岡山	小樽	函館	熊本	新潟	四日市	岐阜	一宮	小倉	門司
NO. 3842	NO. 3524	NO. 3678	NO. 3659	NO. 3747	NO. 5018	NO. 5244	NO. 5911	NO. 5844	NO. 7410	NO. 7413	NO. 3725
8-23-49	8-25-49	9-25-49	9-10-49	9-16-49	10-24-49	11-3-49	11-21-49	12-9-49	12-31-49	1-12-50	1-12-50
水曜日	火曜日	水曜日	火曜日	水曜日	水曜日	火曜日	水曜日	金曜日	土曜日	土曜日	水曜日
III. 〇〇	III. 〇〇	III. 〇〇	III. 〇〇	III. 〇〇	III. 〇〇	III. 〇〇	III. 〇〇	III. 〇〇	III. 〇〇	III. 〇〇	III. 〇〇
泉新町	井内電機興業會社	廣島瓦斯ビル二階	下之町天福屋百貨店	相模町五丁目	北海ホテル	西川町	五島軒	横浦屋町一〇	熊本商工會議所	西浦通八番町	イタリヤ軒
江田町	四日市商工會議所	長良川畔	長良川ホテル	本町通五ノ一九	迎湯館ホテル	費町三三	井筒屋百貨店	元清瀬町	門司商工俱樂部		
南佐古町七ノ七	宮本誠友方	基町一二廣島商工會議所内	(電西8) 一、一七八。一、四六〇	下之町天福屋百貨店內	(電 六六一)	相模町八丁目(今井内)	(電 四三〇〇)	西川町五島軒内	横浦屋町一〇熊本商工會議所 (電話 二二〇〇)	古町通六番町九五九	日本交通公社新潟支社内
江田町	四日市商工會議所内 (電話 三四)	長良川畔、長良川ホテル内 (電 四一一〇)	上本町通四ノ二七、一宮商工會議所内 (電 七二九)	大阪町十丁目大澤商會社内 (電 5) 〇二二二)	仲町門司商工會議所内 (電 二三八〇)						
百見勇之助	宮本誠友	黒川 (副。銀行説三)	田中文男	坂牛直太郎	坂口榮之助	渡邊隆四郎	岡本信三	藤井利七	中村秀	佐藤真一郎	藤澤龍太郎
依藤信之助	藤澤龍太郎	郷 (副。五百木一雄)	安野謙次	山本茂	中村爲彌	野口益彦	山本三郎				

仙臺	NO. 4266 1-30-50	火曜日 11.30	ブラザー軒	大町五ノ一八九藤崎百貨店 内(電 四三〇〇)	岡崎 兼松 佐々木 孝三郎
横松	NO. 5923 2-6-50	火曜日 11.30	栄町 横松銀行協會	中津町二五〇 日本乘壽會 社内(電 一九〇〇)	和久田 純一 大村 兼次
高松	NO. 4389 3-9-50	木曜日 11.30	内町五三 三越百貨店	内町五三 三越高松支店 (電 四四三一)	多田 雄正 俊 石原 俊士
姫路	NO. 7463 3-15-50	火曜日 11.30	本町六八 姫路商工會議所	本町六八 姫路商工會議所内 (電 二九〇〇)	稻井 總 松浦 十三日
津	NO. 7464 3-15-50	金曜日 11.30	丸ノ内百五ビル四階 東洋軒	丸ノ内百五ビル四階 津銀行協會内(電 九九九)	川喜 ^田 壯太郎 福田 太郎
金澤	NO. 3841 3-20-50	水曜日 11.10	西町一番丁一八 金澤商工會議所	西町一番丁一八 金澤商工會 議所内(電 五八〇三)	西川 外吉 吉田 次作
旭川	NO. 3744 3-29-50	金曜日 11.30	旭川北海ホテル	常盤通一丁目旭川商工會議 所内(電 四七一五)	小泉 恒吉 大西 功
靜岡	NO. 3867 4-20-50	月曜日 11.30	追手町二五九 靜岡縣經營者協會	追手町二五九ノ一 靜岡縣經營者協會内	小島 孫八 清水 一郎
甲府	NO. 7515 5-5-50	木曜日 11.30	柳町七三 山梨縣商工會議所	柳町七三 山梨縣商工會議所内 (電 二五五四、三三〇〇)	名取 忠彦 大塚 源一郎 (副。武田 幸三)
長崎	NO. 4056 6-9-50	木曜日 11.30	外浦町五ノ二 観光ホテル	薬町 株式会社十八銀行内 (電 四四五〇)	松田 一三 山口 勝
盛岡	NO. 4978 7-25-50	木曜日 11.30	肴町 川徳デパート	肴町 川徳デパート内 (電 一五一〇)	小泉 多三郎 坂倉 晴一
山形	NO. 7587 8-5-50	水曜日 11.30	花小路 千城館(電 二〇〇六)	旅籠町一〇四 六山形商工會議 所内(電 二〇一七、三九一一)	鈴木 重屹 岩淵 増藏
東京北	NO. 7590 8-12-50	木曜日 11.30	台東區上野廣小路一 松坂屋上野店	台東區上野廣小路一 松坂屋泉 京本部内(電 下谷 四二二六)	兒玉 延三 塚本 謙吉 (副。須賀 利雄)

東京南	NO. 7591 3-12-50	金曜日 11.00	裾島赤坂山王下 山王會館	裾島赤坂溜池三一安全ビル (電赤坂8)二五二二)	益森徳次郎 (副。梁瀬次郎)	中谷 栄
遠 高	NO. 7599 3-26-50	木曜日 11.00	花田町石塚四二番館 貿易商工館(電三二二四)	花田町石塚四二番館商工會 所内(電三二二二二三)	神野 太郎	白井順一郎
銅 山	NO. 4092 10-2-50	木曜日 11.00	別路商工會議所内 常盤タリル	大川町三別路商工會議所内 (電二六一、四八七)	長内 正石衛門	三原 正二
富 城	NO. 7618 10-7-50	木曜日 11.00	旭町六九〇 二三會館	旭町六九〇、二三會館内 (電 二七〇)	山崎 直治	青木 虎夫
部 山	NO. 3992 10-30-50	金曜日 11.00	越田町部山商工 會議所	大町一〇九橋本合名會社内 (電 二五、六九)		渡邊 乘吉
明 石	NO. 7641 11-27-50	水曜日 11.00	東本町四八神戶銀行 明石支店(電五六)	大藏町一ノ一二七米澤溜池 合名會社内(電四一七)	矢野 松三郎	米澤 由次郎
福 井	NO. 7647 12-4-50	木曜日 11.00	佐佳枝中町三四 福井人請會館	佐佳枝中町三四 福井人請會館	市橋 栄治郎	酒井 伊三男
松 山	NO. 4362 12-8-50	火曜日 11.00	三番町 愛媛縣銀行協會	三番町 愛媛縣銀行協會 (電 六〇七)	末光 千代太郎	松野 一郎
室 蘭	NO. 4070 12-15-50	木曜日 11.00	大町 ニュー・ブラザ	大町ニュー・ブラザ内 (電 六〇五)	菅春 三衛次	水田 正
和歌山	NO. 4289 12-28-50	火曜日 11.00	西汀町一 和歌山商工會議所	西汀町一和歌山商工會議 所内(電)	前田 成之助	島村 安彦
豐 廣	NO. 3820 12-28-50	水曜日 11.00	西三條南十一丁目三 三 平原庄ホテル	西三條南十一丁目三三 平原庄ホテル	宮本 未治	相沢 正美
大 津	NO. 7666 1-2-51	火曜日 11.00	上小唐崎町 大津商工會議所	上小唐崎町 大津商工會議所内	北川 井	中村 義一

The S E C O N D

H A L F

A Program Proposal From the President of
Rotary International

The year 1950! . . . the first half of the twentieth century is passing into history . . . a brief moment in the span of recorded time, yet packed with great portent for each one of us!

Should we not pause to take stock of what has happened--to consider how the mistakes of the past might have been avoided--and how we can build better in the second half?

Looking forward in 1900, who would have believed possible the world-shaking developments that were to come. Looking forward today, who can measure the challenges and the opportunities that will confront the second half of this marvelous, fantastic century.

Very few of us, I suppose, would dare to venture a guess. Yet it might be worth trying, especially if we shared our thoughts and hopes and took our stand on this promontory of existence together.

Even if our united gaze failed to pierce the misty future, we would still be strengthened by the effort to see our goals more clearly.

Accordingly, I propose to all Rotary clubs throughout the world that they plan a special program sometime during the first few weeks of 1950. In world-wide fellowship, let all Rotarians join together in a common determination to rededicate our efforts in making this THE CENTURY OF SERVICE.

PERCY HODGSON, President, Rotary International

For club program suggestions see following pages.

"Looking Both Ways from 1950"

A SUGGESTED PROGRAM OUTLINE

Let two speakers interpret the theme "Looking Both Ways from 1950" in terms of the Four Objects of Rotary--one speaker talking on "Looking Backward from 1950"; the other speaker on "Looking Forward from 1950."

Suggested outlines for these two talks follow, for the convenience of the speakers selected.

The Chairman:

- a) Introduces the program.
- b) "I am not afraid of Tomorrow for I have seen Yesterday and I love Today."
--William Allen White
- c) Reference to message by President Hodgson (page 1).
- d) Introduces first speaker, who will talk on:-

"LOOKING BACKWARD FROM 1950"

First Speaker:

1. Introduction:

"Only the man who questions the methods of the past takes the next step into the methods of the future."

--Alex M. Miller, Manager, Canadian Association
of Advertising Agencies

"The past is the only criterion by which we may anticipate the future."

--Rotarian Clayton Rand, Gulfport, Miss.

2. From the standpoint of CLUB SERVICE:

- a) In 1900, the Service Club, as we know it today, did not exist. The gregarious instincts of man were expressed more through the fraternal type of organization.
- b) in 1905, the first Rotary club was organized, with a membership based on the classification principle of one man from each type of business or profession.
- c) Trace briefly the growth and development of Rotary to its present status of approximately 7000 clubs, with 350,000 members, in 82 countries and geographical regions.
- d) Describe the ever-expanding fellowship and acquaintance features of Rotary membership and compare with 1900, when limitations on transportation and other facilities made these things more of a local matter. In areas where it might apply mention could be made of the old-time square dances, husking bees, house warmings, etc.
- e) Compare the Lyceums and Chautauquas of the early part of the century with the regular weekly forum of the Rotary club.

3. From the standpoint of VOCATIONAL SERVICE:

- a) Describe briefly the business conditions and practices at the beginning of the century.
 - Let the buyer beware.
 - Ruthless competition.
 - Sweatshop practices.
 - Child labor.
 - Monopolies.
 - Fraudulent advertising
- b) The growth and development of trade associations.
- c) Trace the early work of Rotary in helping to develop codes of correct practice.
- d) Describe Rotary's program in:-
 - Employer-Employee Relationships
 - Competitor Relationships
 - Buyer-Seller Relationships

(Much helpful information, especially on "c" and "d" will be found in "Service Is My Business," published by Rotary International, a copy of which is probably available from your club secretary.)

4. From the standpoint of COMMUNITY SERVICE:

- a) Describe briefly the physical and spiritual aspects of the community in 1900.
- b) Trace the improvements that have been made in the last 50 years.
- c) Mention any part that the local Rotary club may have had in such improvements.

5. From the standpoint of INTERNATIONAL SERVICE:

- a) Describe briefly the status of the world in 1900, and the relation of speaker's own nation to rest of world at that time. Fix the period in the minds of audience by mention of events or of persons prominent in public life in 1900.
- b) Contrast differences in transportation, communications, etc., which have resulted in a changed relationship between peoples of the world.
- c) Russian-Japanese war.
- d) World War I.
- e) League of Nations and its failure to preserve peace.
- f) World War II.
- g) The United Nations--the World's Second Chance.

6. Conclusion:

"We live in the present -- We dream of the future --- But we learn from the past. What is past is prologue to the future."

--Madame Chiang Kai-shek

The Chairman:

- a) "We can have the world we want if enough of us want it hard enough to work for it."
- b) The second speaker will outline some of the things that need to be done if we are to move toward that goal in the second half of the Twentieth Century.

"LOOKING FORWARD FROM 1950"

Second Speaker:

1. Introduction:

"Prediction of better times to come are futile unless accompanied by concrete effort."
--DeVere Allen

"Tomorrow may not be better than today, and may well be worse, but it has one unique attraction; it has not yet come."

--E.M. Forster in "Abinger Harvest"

2. From the standpoint of CLUB SERVICE:

- a) The growth of Rotary to present size and prestige is an asset only if we use to the full the potential strength of Rotary.
- b) Care must be exercised not to lose sight of original ideals of Rotary. Importance of the education of all Rotarians in the objects and responsibilities.
- c) Need to maintain the high standards of Rotary--adherence to classification principle--attendance--etc.
- d) Prospects for further extension of Rotary.

3. From the standpoint of VOCATIONAL SERVICE:

- a) Business has traveled a long road since 1900, but its very progress has created new problems that will challenge the ingenuity of man to find a solution:
 - Management and labor.
 - The fine line between government regulation and private enterprise.
 - Cartels versus freedom to trade.
 - Commercial Bribery.
- b) Fulfilling his trust, the individual Rotarian can make service the prime consideration in every decision and transaction--with labor--with customers--with suppliers--and with government.
- c) The Rotary principles of vocational service can, if practiced generally throughout the world, transform the Twentieth Century into an era of freedom and productive enterprise for the benefit of all.

4. From the standpoint of COMMUNITY SERVICE:

- a) Developments outlined by first speaker have magnified some problems:-
 - Juvenile delinquency.
 - Educational facilities.
 - City planning.
 - Good government.

Etc.

and have created others:-

- Housing.
- Traffic safety.
- Occupational information for youth.
- Etc.

5. From the standpoint of INTERNATIONAL SERVICE:

- a) The devastating effects of two world wars has been the major failure of the first half century. The second half MUST see progress toward a solution of the problem.
- b) The lesson of these follies was recognized in the United Nations Charter but nations are still far from taking the lesson to heart.
- c) By their Fourth Object, Rotarians are committed to the proposition that understanding and good will among the peoples of the world are the conditions for lasting peace. As individuals and through club action they can build support for the United Nations.
- d) Rotarians can help to train world-minded leaders through extension of the Rotary Foundation Fellowships.
- e) They can create and lead a movement of the peoples of the world to end forever the scourge of war by unleashing the constructive energies of mankind.

6. Conclusion:

"Let us march together with high courage and noble purpose, not merely to meet the new age, but to create it."

--Rotarian James Watchurst, Warrington, England

Additional Suggestions for Club Programs on: THE SECOND HALF

1. Clubs with a flair for the dramatic and humorous might invoke the aid of a "crystal ball" with voices of the Past and the Future conducting an eerie dialogue.
2. Or, select three members of diverse classifications to briefly discuss advances in their fields during past fifty years and problems of future. The physician, for example, to point out discoveries of new drugs, advances in post-operative care, and the problem of the prevention and cure of cancer. Likewise a manufacturer and a transportation member or an educator to cover their fields.
3. Or, a "round table" discussion of the above members (the club president is also present) who are meeting to discuss their successes, failures, and hopes for the future; their discussion is interrupted by the introduction of a new member who says he represents the firm of "The Future, Unlimited." Asked his classification, he mysteriously observes that the classification committee is still in a huddle to find the right terminology for the service performed by his firm. Explaining that as a new member, he is seeking information, he then proceeds to direct some questions to those seated around the table. For example, to the manufacturer: "Do we have a labor problem in our community--or are conditions between employer and employee generally satisfactory?" To the physician: "Do we have a health problem in our city? What is being done about it?" To the club president: "What is our club doing right here in our town to promote the ideal of the freedom of peoples everywhere and world peace?"